

湯浅兼道筆『源氏物語聞録』「夕顔」翻刻

日向一雅
湯浅幸代

凡例

- 一、底本は明治大学中央図書館蔵の湯浅兼道筆『源氏物語聞録』（中央貴重書庫092.475/H）を用いた。
- 一、本文は原態に忠実であることを旨としたが、文字の表記について、次のような操作を加えた。
 - 1 異体字は通行の字体に改めた。
 (例) 昼↓書 罌↓壺 寸↓時 畧↓略 虽↓雖 难↓難 槩↓概
 - 2 合字は分割して翻刻した
 右↓ヨリ メ↓シテ・シタ 下↓コト
 - 3 漢字に付された濁点は(・)で表した。
 - 4 振り仮名などの傍記は、右側のものを()、左側のものを()で括った。
 - 5 本文に傍記されている日付は(≧≦)で括った。なお丁数が一緒に記されている場合も同様に表記した。
 - 6 送り仮名は標準の文字サイズに改めた。ただし、返り点付きの漢字においては、文字サイズを小さいままとした。
 - 7 割り注は「」で括り、文字サイズを標準の大きさに改めた。なお、割り注内の改行は / で表した。
- 一、反復記号は、ゞ 々 / など、原態に近い形で翻刻した。また、濁点の付されたヲドリ字は / (ゞ) で表した。
- 一、堅点の表記は右側のものを「将*監」(二六才)、左側のものを「出来」(二二ウ頭注) のように表した。
- 一、見せ消ち・書き損じ等は、該当本文に二重抹消線を付し、傍書された訂正文字を()で括った。
- 一、抹消は●で表した。
- 一、字句の誤りと見られるものに「ママ」と傍記した。
- 一、写本の損傷により判読不能の文字は□で表した。
- 一、挿入記号は◇で表し、挿入文を()で括った。但し、「滝◇(ノ)・口ト」(六二才)と「御不自由◇(ナ)ヤラ」(七四ウ)は、写本に挿入記号はないが、挿入と解釈して表記した。
- 一、改行による空白を除く二文字以上の空白は「空白」で表した。
- 一、和歌の開始記号は「で表した。
- 一、本文中に見られた「の記号は『で表した。
- 一、頭注は(〜)で括り、各丁の本文の後に記した。なお、丁をまたぐものは、開始丁にまとめて掲載した。

※作業は以下のとおり担当した。

(翻刻) 湯浅 (修正) 日向

なお、二〇一六年度に、湯浅と関恭平(明治大学大学院博士後期課程・RA)で再修正を施した

翻刻

【二二〇】

《正月廿一日會》

夕顔

此卷ハ先空蟬ノ卷ノ豎ノ并也豎横ノギハ先日モ云也此卷ハ空蟬ハ五月此卷ハ六月故豎也此卷ハ抄ノ端ニモアル通詞ト哥トヲ以テ夕顔ト云名アル詞ハカノ白ク咲ルヲナンタ兒ト申シ侍ルトアリ哥ハ「心アテニソレカトゾ見ル白露ノ光ソヘタル夕兒ノ花」ヨリテコソソレカトモミメタソカレニホノ／＼ミツル花ノ夕兒此兩首トヲ以テ夕顔也此卷ニ夕顔ト名ヲ付婦人アル此一巻ハ夕顔ノ列傳也夕顔ノ一生ノ事ヲ書シキノ列傳ト同行也

○六条―◇(二丁ヲ)この家のかたはら カタハラ外ハカタワラトヨメドモ此卷ノ爰ニ限リカキハラトヨム也此六条ワタリノ御忍ヒアリキト云ガ即彼六条ノ御息所也初テ此ニ出タ也此卷ハ夕顔ノ列傳ナレドモ六条ノ御息処ノ事ニ処ニ出也是ハ夕顔力死スル事アルソレガ御息処ノ

（○カキハラノヨミ何ユヘト云理聞エネドモ習ウケヨト云心ニテシタルナラシム向タレヨミ初トモシレズヤ日家ノ習ナレバ先フルイ也）

【二二ウ】

ヲン靈(レウ)也ソレ云ハントテ六条ノ御息所マゼル也六条ガ御息所ノゴザル御殿ノバ処也六条ハ御息所ノ父ハ大臣也其家也ソレヘ源氏ノ通也此御息所ハ先坊(一)ト云テ源氏ノ兄御ハ桐壺延喜ニ比スル第二代ハ朱雀院悪后(アクキサキ)ノ子也是ヲモスルハ先坊ハ東宮アツテソレ死後東宮立前ノ死スルヲ先坊ト云也延喜ニモ先坊アル保明(ヤスアキラ)親王トテ延喜ノヲ子也ハ弟分ニ違テ書也桐壺ハスサク院次ニ源氏也実ハ延喜ノ子ナレドモ延喜ノ弟分ニス其先坊死シテ後家デアルソレニ源氏ケソウシテ通也葵上ノヲンリヤウモ此御息所也是ニハ齊宮(サイクウ)ト云女メゴアル前ノ先坊ニモ女メアル也是ハ後ニ嫁シテ後ノ事ナレドモ是ヲハ前ノナコリノ子ニシテ書チトカハル実ハ貞信(一)公ノ女メゴ也抄ニ委也初ナビキ難ヲナビカシソレ徃通事ナヒ故シウネキ人故ヲン靈ニモナルソレ程ニハ思召サネドモ折節行也ワタリハアタリ也アトワト五音通

（○本ノハ延喜ノ子ノ保明親王死シテ是ヲ先坊ト云ソレヨリ重明ヘ嫁シタ子出来是齊宮ニナルソレヲ源氏ニハ先坊ノ子デ齊宮ニナルソレ違テ書也ワザト書也前ノ様ニ書(カケ)ハアシイ故也）

（○源氏男女官職私考ハ壺井義知作也曰大貳トハ中臈ノ女房ノ呼名ナリ假令大宰府ノ大貳ニヨセテ只称スルノミ彼本府ニカ、ラヌ事也其本府ハ筑前国三笠郡ニアリテ西海道九国ニ嶋ノ管領別シテハ蕃国藩領ノ職タリ其官人帥(ソツ)貳監典(ゲンテン)以下アリ其内ノ大貳ノ号ヲカリタル名ナリメノトノコトハ桐壺ノ卷ニ記ス）

【二三オ】

スル故也内ハ禁裏也キンリヨリ退出シテ六条ヘ行中ヤドリ也ソコデ休息シテ

ユクニ非スソノナカニアル家ト云事也大貳ノメノトハ源氏ノヲチノ人也御乳
 (ヲチ)メノトトルハ神代卷ニ見ユ神代ヨリアル唐(カラ)ニ元ヨリアル天
 子ノ御(ヲ)子ハ親王宣下アレバ三人ナイハ二人也若一人死ハ上(カミ)ヨ
 リ下サレズ外戚ヨリ下サレテ乳母(ニウボ)二人三人アル十二迄附ソイアル
 十二ヨリハナレテ折々見舞様也是ハ源氏ノカミヨリ下サレルメノト夫(ヲツ
 ト)ノ官ガ大貳デ大貳ノ妻故大貳ノメノト、云大貳ノ妻ノメノト、云コト也
 古ハ煩(ハヅラヘ)ハ男女トモニ授戒シテ命ゴヒスルソレ故也禁中カラ六条
 迄行ソノナカニアル家故幸ユヘ病氣見マイ也御車―モトヨリ大門ハサシテア
 ル是先ヲミレバ日ノクレナレバサソウナフテモ大門ハサス也サシタリケレ
 バハサシテアリケレバ也テアタニツヅマル也人シテ―源氏ノ召ツレタ人ヲシ
 テ也惟光(コレミツ)ハ源氏ノ御家来貳ニノメノトノ子也源氏ヂツ

(○神代ノ乳母タレナルヤ曰終ニアル出見(デミノ)尊ノヲ子玉ヨリビメハ
 ヲバ也ヲバニウボニナル歟忘タリ)

(○源氏ハ親王宣下アル歟曰宣下ナヒ也ミコニナシ玉テモヨノ疑アシイ宣下
 アレバ東宮ニスルト人思ハン歟トテ無也)

(○尼ハ髪モソルヤ曰昔ハカミヲ切也今モ佛体シテト云ハ皆カミキル也ソル
 ニ非ス近衛殿ミルニカミ切也外ハシラズ近衛殿ノ御隠居是也近衛ノ准后(一)
 也今ノ近衛殿ノ祖父(ヂイ)位也元結カケネハ大事ナヒ也此大貳モソリハセ
 又也)

【二三ウ】

キンノ人也常住ヲヒザモトハナレヌ也此物語ハ作(ツクリ)物語故各見(ア
 ラハ)サヌ惟光(コレミツ)惟清(コレキヨ)名ヲ出ス宇治ニ二人アル貞則
 (サダノリ)為光(タメミツ)ト云アル何ゾ準抛(ジユンキヨ)アル歟也

源氏ノヲ通ガケニ惟光ヨブ也惟光出テクルウチニムツカシゲナル大路ノサマ
 ヲ見渡シ玉フ也下(シモ)京ノサマ故上京ノ様ニゲウギ正ナク立波ニナクム
 サノトシタ也大路ハヒロ小路也京ノ内裏大内裏ノ時ハ町ハバ大概十間也
 一条通ハ十丈二尺也朱雀門オホチハ禁中ノ御南面也二十八丈幅(ハバ)五
 十間位也車行通也東西ノオホミヤ通ハ十二丈アル富(トミ)ノ小路マテノ小
 路ハ小筋也大路ハ大道也甚ヒロウシタ也此家―コレト指ハ貳ニノメノトノ
 家也カタハラハ隣(トナリ)ト云様也惟光ガ隣ノ家ニヒガキハ家ノシトミヲ
 ヲヒ也壁(カベ)ナドクツレヌ様ニス船ニヲシロアル様ニソトヲカコウ也古
 ハソウシタ也下ハ檜垣(ヒガキ)デシトミシ上(カミ)ハ半ジトミツキアゲ
 戸也一間ノ口ヲ半分ハ明(アカ)ヌ様ニシテ上マナカハ

【二四オ】

ソトヘツキアゲル也半分シトム故ハジトミ◇(ト云)也前ニカウシヲロシテ
 トアル格(カウ)子(シ)ハ内ヘアゲルハジトミハソトヘアゲル格子ハ紙デ
 ハル障子ノカハリ戸ノカハリニ丈夫(一)ニスハジトミモ其様也ソトヘアゲ
 テアル故ニハジトミ四五キン斗アゲワタシテト云也スダレ―是ガヒガキト云
 物アタラシウシテトアルソレヲ承スダレナレドモ又涼(スバ)シク白スト云
 事也ハ六月ノ事也五月時分カラ夕顔是ヘ来テアルソノ為シツライニ夕顔待
 マウケニカウシタ也白ト云ハヨシスダレ伊予スダレノ類也スダレハ四月朔日
 衣更同日ニカケ更ル堂上ソノ通也青竹故青ヤカナハツ也青スダレハ俳諧デ
 モ夏ノキ也是ハ伊予ス也略シタ処故式ノミスデナヒ也オカシキ―源氏ノ
 御(ミ)車珍フカドニ立(タテ)アル故オカシキ―ノゾク也オカシキハホメ
 ル也ヒタイバカリ指アゲミル故ヒタイツキノスキカゲ也コレタ顔ノ召使婦
 人也タチサマヨフラン―ノゾク故アチヘ行コチヘユキ女ノ俳

（○ヒ垣ハ檜ノ皮ヲ以スルヤ曰ヤハリヒノ木也ウスクヘゲル者也今ハ無也ヒガキノ船ト云アル也ソレ程ケツカウナルニ非ス板ノハバニ二三寸ニシテ組ンダ者也ヒガキハザツト組也スキマ無ウスクベキ組タ者也ヒノキガサノ様也板ノハバニ二三寸ニシテ組シトミニシタ者也）

（○私考曰ハシトミハ半蔀ナリ物見ノハサマノ上ニ戸ヲワリテ外ヘツキアクルヤウニコシラヘタルヲハシトミト云和名抄周礼住蔀覆暖障光者也）

【二四ウ】

徊スルヤウス見エル処ヘユク女ノアル事也アナガチニ此高デミレバ中ニ階ト云様ニ平生ノ処ヨリ高シテカマヘト見ユ平生ノ心ニシテハ高フ見エルハアチガ中ニ階ニシテアル故高フ見エル也イカナル左様ニ風流ノヒ垣ハジトミスル上ヘヲカシキヒタイツキノ女アマタ見エル故ドウシタ者コ、ニツドウゾトヤウー上京アタリニコソ宜女ヲランコ、ハ五条下京也ソレニハジトミナド宜家デナヒニ女ヲ、クアル故ヤウスカハリ思召也御車一六条ヘノ忍アルキ故平生ヲノリ被成車ヨリイタウヤツシタマヘリ也ヤツスハアジロ車也檜（ヒノキ）クミアジロニスル源氏ノリ大臣ノルハ絲毛（イトゲ）ノ車ビロウゲノ車ト云上ヘ絲（イト）ヲカケルヲイト毛ノ車ト云也ビロウケハヒロウトヲカケル也ソレ見レバ大臣トシル也ソコラ忍ノ為ニアジロニノル也アジロハ婦人ヤ其外モノ

ル也此デモレキノ忍ヒアルキハアシダニノリ道具ヘシテ行様也先モノ

先ヲフハケイヒツ也先ヘシツノト往来非常ヲ傳也漢デハケイヒツ

（○下ツカタハ足モト也）

（○此アナガチ如何曰ソフハナイナランナレドモコチカラシイテ也）

（○アシロハ凡人モノルヤ曰車ハ六位以上ノ者ヨリノルコトナラヌ也本車ニ

シテカサリノ違也アシロコシハ如何曰コレハノリ物也ノリ物ハ略也公家ハノリ物ト云ズコシノト云也昔ヨリアル者也忍敷ニゲル也）

（○イトゲノ車入テモノリ玉フヤ乗物ハ昔ヨリアル今モ宮親王門跡皆ノル也略者也今ハ車無ナリアレドモノルコト無也乗ハ東宮初テノ行啓仙洞モ關東ノゴ免デ遊ニコザルニノル也妄ニ出事ナラヌ也）

【二五オ】

日本デハサキヲ逐ト云也是ハ非常ヲハライ先ヲ遂ハ変化ヲ防ト古ク書西宮ノ左大臣ノ◇（神泉苑アタリニテ）先ヲ遂ハ変化ノモノ頭ヒツコメ遂ザレバ頭出スト今昔（コンヂヤク）敷著聞（チヨモン）ニアル也多ヲフニ非ズ角（スミ）ノマワリカド杯デヲ、ノト大声ニ云テ遂也誰ヲ心打トケアル故ヲ顔ヲ車ノモノ見ヨリ出シテタ顔ノ家ノ体ノゾク也カドハ先程見エタ檜垣半蔀ノ脇二本ノ門アル◇（コノ）ヤトハシトミノ様ナルハ今ハナヒ也本門ハ前ノハジトミアルソレ半分ヲシアケルニ非ズ外ニシトミヲ付アルタテアケスルニ非ス是モアケテツ、ハリカイヲク今ハナヒ也古イ家ニハアル者也窓ノ様ニシテ下（シタ）ヨリツ、ハリカイヲク也下京ノヤウス也ツキアゲアルソレヲミ入レバ奥（ヲク）フカフ無也カリナザツトシタスマイ也源氏ノケツカウナ大厦ニアルヨクミレバ哀也イヅコハ古イ哥也抄ニモアル「世中ハヨノ中ハドコサイテ我ヤド、云コトナヒ行

（○西宮殿ノ事徒然草終ノ方ニテ聞録ニノス可考）

（○私考曰サキモ退セ給ハヌハ忍ノ御アルキ故也本式ハ隨身ノサキ声トテ隠（ランノ）声ヲ発シテサキ掃ス覺ヲ警蹕ト云今ノ世ニハ此儀絶タリ其警ハ戒、肅（イマシメツ、シム）ナリ蹕ハ行人ヲト、ムルナリト漢書師古力注ニ見エタリ又邪鬼ヲ追術トモ云ツベシ）

【二五ウ】

ツキ次第也是故玉ノ臺ト源氏ノ觀念大悟也玉ノ一哥二首也抄ハ一首引アル
 萬葉ニ「何センニ玉ノ臺モモノ思アツテハヤリニ立ヌ玉ノ臺モアンナワラ
 ヤモ同事ト思也ハ後撰ニ世ノ中ハトテモカクテモ同ジゴトミヤモワラヤモ
 ハテシナケレバトアル此同ジゴトナリハ此哥デ書是ハ哥三首入テアル是モ源
 氏ノ御觀念ナリキリカケダツモノキリカケト云者ヲチアカヌ物也或抄ニハ
 キリカケハ人ノ知ヌ六ヶ敷事ト書アルイカ様知レヌ事也キリカケト云字ノ心
 デミレバコヽラデ壁デ土ノ崩レヌ様ニシトム下ヨリ板ヲカケメンドリバナリ
 ニシテ付カケルソイデハ懸ノスル故切カケ也土カラスレバヒクイ故屋切
 (ヤギリ)トテヨソカラ見エヌ様ニ上(ウヘ)ヨリスル是ヲヤ切ト云也是内
 ハ見エヌ也夕顔ハ上(ウヘ)ヨリ高ハフニ非ス下カラ也門ヨリミ入故庭セン
 ザイウヘゴミ杯ヘヲイ(部生)ノカハリニメンドリバナ下ヨリシテユク也ソ
 レガ切カケ也ダツハ

〈○前ノヒ垣ハジトミノ外ニ本門アルソノ本門ヲカドハシトミノ様ナルト
 云ヤ此ツキアゲ戸ヲ本門トスルヤ曰然リ半部ハ中ニアリコレハ土ヨリ明者也
 古ヘニアル者也野テイ也大厦ニアルニ非也〉

〈○我ナランハ我家ナランヤ曰我モノナラン也問コトニ宿トアル故タゞ我
 ナラント云テヨキヤ曰然リヒツケウ我ヤドナラン也〉

〈○後撰世ノ中ハノ雜ノ部蟬(セミ)丸ノ哥也〉

〈◎或抄ハ尋流抄ニ見ユ作者不知徹書記敷ヲクニ名アリ先ハシレズ〉

【二六オ】
 メク也或一説ハ木ヲメンドリバナニシタ者テチヨツト家来杯タゞズム為(タメ)
 腰カケツヽ立ノ様ニスト云ソレヨリヤハリ家ニ常住シ付ニシテアル者也いと

あをやかなるト夕顔ノ草ノ体也コヽチ一夏故スゞシゲニ青々トシタ也白花ソ
 一ハ喜シイ形也花モ開ハ眉開也夕顔ノ花カイコノマユニ似タ故マユヒラケタル
 ト云也ヲチ方人ニモノ申スト云ハ是ハ古今ノ旋頭哥也一打渡スト云哥アル
 是ハ梅ヨム哥ナレドモ白キ花ユヘ源氏ノ取カヘ是ハ夕顔ノ事ヲ古今ノ哥デ吟
 ズル也白キ花咲ヲ尋シ為ニソノ哥ノ二ノ句ヲ被仰也ナニノ花ナレバトテ尋ナ
 サルキミ也独一ハ独ゴトナサレル也御隨身ハ源氏召使侍也隨身ニ本府ノ隨身
 御隨身ト云アル本府ノ隨身ハ将*監(、)将*曹(、)デ天子ヨリ被レ下大
 臣事也ハ源氏ハ中将故本府下サレズ御内ノ

〈○屋切ハヨソカラミコサヌ為ニスル是モ切カケニス下ヨリスルモアル也必
 竟板ベイ也ヘイノ上カラノ夕顔ハソノ様ニ升モノニ非ス〉

〈○△一説ハ尋流ノ説也ツヽ立也〉

〈○私考曰きりかけハ間垣也大和物語に切かけをなんせさせける其けつりく
 つにかきつけける哥に「まかきするひたのたくみのたつきをとのあなかしか
 ましなそや世中又江次第二切懸ト書以上略抄〉

〈○三丁ヲヨロボヒハ如何曰ヒヨロノシタ様ニマツイ付テアルノ也ケイキ
 故カク云也〉

【二六ウ】

隨身也ツイキテハ土(、)間ニツイ居ル也違方人ニモノ申スト被仰故
 隨身ガ花ノ事ヲ尋ト知リ早速夕顔也ト云也花ノ名ハ一夕顔ノ顔ニ付テ人メキ
 テト云ト抄ニ見ユソレニ非ス花ノ名ハ人メキテトハ清少納言枕草紙ニ夕顔ハ
 朝顔ニ似テ名ハナツカシケレドヽアル名ハヨイ也名ハ人間ラシケレドモ人ガ
 ラアシイト云ヲ是ヘカク花ノ名ハ花メキタレドヽ云事也人ハ人間ノ事ヲツイ

カク用也花ノ名ハ朝顔夕顔トツバケ云バヨイ様ナレドモカ様ニ怪イ処ニハヤク咲也怪ハ疑シイ也源氏ナド見付又故是ハ家歟何歟キタナヒ処ト云◇(コト)也人デモ怪シノシヅモ人ヤラ何ヤラシレヌ者也ゲニ―ゲニハ隨身云カウ怪ヲ承テ尤ナルホド隨身云通ノ此イト小家ガチニムツカシゲナルアタリハ下京デ小家ガカツテアル弁／＼トヤニコイ処也コノモカノモ―此面彼面(コノモカノモ) 処々ニ夕顔作テアル青カツラノ

〈○此面彼面歟曰アソコヤコ、ヤト云コト也〉

〈○抄ニハ五位以上ハ夕顔植ヌトアリ如何何ノ為ウヘザルヤ曰先五位以上也侍ハ先五位也六位モアレトモ先五位也〉

〈○サレトザレト違ヤ曰ザレハ今云風流ナ事也サレハサビタ事也家ハイヤシケレドモヤリ戸口ハ風流也〉

〈○一本ニハ白キ扇ノツマイタフコガシタルヲト云モアル者也半薮夕顔ト云謡ニハカウアルト云也源氏ニモソウ書(カク)アル也ツマクレナヒト云ハコカズト云ハドココカスヤ知レズツマノ字入ラデハ聞エヌ也此通ナレバタゞ香炊シメタル也〉

【二七オ】

体ハイヤシクアル也ムネ／＼ハキツト一ムネカマヘタ家ニ非スツマハ端(ハシ)ノ事也着(キル)モノデモツマハ端也花ノ契ヤ是迄源氏ノヲ詞也ゲニ小家カチナル処コハイマツハレルヲ源氏ノヲ心ニ口惜ノ花ノ契ヤト思召也ケツカウナ処ニ咲ズカウシタ処ニ咲ハ花ノ覺ノ浅マシイ也六位以上侍ノ家ヨリ以上ハ夕顔ハウヘヌト云也一フサ―花ヲ一フサ折テコイ也此―シトミノ様ニ上ヘツキアゲタ処ヨリ入テ折ナリサスカニ―元よりウルハシフナヒ家カド口ハサスガニ風流ニシテフルサレタハ風流也ヤリドハコ、ラニアル敷居ヲ以

ツキヤル折戸(ハヒラキカビラ也ヤリ戸ヨリ女出テ黄色ナルスゞシノヒトヘノハカマキル也一説ハキナルヒトへ着偕ハカマキルト也ヤハリキナルスゞシノヒトへバカマアル者也ツゞケ見テヨイ也オカシゲナルハウツクシゲナル也夕顔ヲ折ル隨身ヲ招(マネク)也貴人ノ家来ヲ招ニ非ス是ハ扇ノ縁デ招ト云也

〈○凡大門ハ必エビゼウ也今モソレ也クハンヌキノゼウナリ〉

〈○(四丁ヲ)ワザナリヤノヤ如何曰大ラカ也ナニ心モナキ也〉

〈○私考曰御隨身トハ行路ノ防禦ノ為ニ上(カミ)ヨリ給フル故ニ御(ミ)隨身トイヘリ云々〉

〈○同白キ扇ハ只白キナルベシイタウコカシタルトハ香ニタキシミタル心ナリトイヘリ〉

【二七ウ】

タゞ是ヘト云也隨身花折ニ内へ入ルヲシトミヨリ見ラル故花折ルアシ／＼ト云也白キ扇ノ―コガシタルハ両説アル俊成卿ノ女ハ火ヲ以テタキコガシ紙ノコゲルヲ云ト是正説也一説ハ白ヲ、ギツマグレナヒトヲ端ノ方紅(ヘニ)デソメルソレヲ白キ扇ノイタウコガシタルト云説アル両説也其時ハツマト云字ツケレバナラヌ也青表紙ノ通也一本ハツマノ字入モアル者也是ニ置上へ指上ラレヨ也折―夕顔ノクキハ毛ナドハムサ／＼トシタ者也是ニノセ上ヨトコメ扇出ス也花ヲ是ニノセテマイラセヨト云也惟ハドウモナルマイ程ニ是ニノセテトテニ心アル也隨身ハソレニノセ直ニ持テユキカネアルソコへ源氏ノ召ス惟光出テクル也惟光ニ取持(モツ)テモライテ上ル也此扇ニ夕顔ノ哥書アル也此デミズ病人見舞ニ行惟光ガ指上テ置云ハ表門ノエビゼウノカギ尋ルウチ伝フ

【二八才】

ト也イトーワガ事也イト便ナラズ願様ナヒトワビルスベイ方ナヒナリ願様ナヒ迷惑スルト也モノ、コノアタリハドナタト云事知レル人ナケレドモ也アヤメーハヨイヤラ悪イヤラ白ヤラ黒ヤラ別レヌ也錦(ニシキ)アヤデモアヤハ紋地ハメ也モンヤラ地ヤラワカラント云事也ハソレ程ニ非ズ貴人ヤ何カラ見分ラン也ワタリハアタリ也タレミシル者ナケレドモラウガハシキハランガハシイ也妄ガハシク貴人トテ礼義作法調フ者ナリ狼藉ガマシイ也タチハミ車立也狼セキスル迷惑スルト此トニ約ル也引入ー門ヨリ御車引入也惟光ーは大貳ノメノト病氣故子ドモヨリアル也惟光モトヨリ也兄ノ阿闍梨ハヒエノ山ノ僧ト先(サキ)デミユ是モミマイニクル也阿闍梨ハ僧官也モト梵(ボン)悟也翻譯スレバ正業(行)(ゲウ)也外ノ僧ノ行(義正也又規(軌)範)也トモ云ノリ、也婿(ムコ)ハ惟光ガ妹ムコ也

(○私考曰阿闍梨ハ梵語也是ヲ無煩惱ト翻訳ス云々)

【二八ウ】

女ハ參河ノ守ガ女房也一家ドモアツマリアル病者アル故也源氏ヲ見舞ヲ外ニハ又無事ノ様ニウレシガル也例ナヒ事也尼君モー尼君ハ大貳ノ乳母(メノト)也病人也是カラ詞也私ガ身ハ老衰ノナンノヤクニモ立ヌ身也ステガタクハ尼ニナリ世ヲステル也其子細ハタゞ外ノ事デハナイ唯如此ゴゼンニ居ル事ゼウジウナラヌ故也私ガ出家シテ世ヲステルヲ惜ニハ非如此ヲマヘニ出ヲ見マイスルコトナラン髪ハヘアレバ御殿ヘ相ツメ何ゾ御説義事ニモ出也年ヨリ家久者ヲルモ久ヲルト其家ノヲ目出度事ニナル一人デモナフナレバ家ノ目出度数ガヘル也ソレヲ苦フ思故出家スル事エウヨスル也忌コトノー出家ニナリ受戒スルシルシデヨミガヘル元ヨリシヌルベイ命ナレドモ受戒ノシルシデ

生カヘルソレ故ニヲ目ニカ、ルハウレシイ也モハヤ此上ハヲ出モナサル上故阿弥陀ー是デ望成就シタ故死シテモ成仏

【二九才】

セント也外ニ思ヒ残ス事ナヒ故快ヲフ生セント也ヨハゲニーナク也先ニモアル子ドモニハ命ヲシイト思テセウシガル也病中ヲコタリ難ト聞コシ書サシタ也心安ナフ氣遣シテ月日ヘタ也カク世ヲー日比病氣ヲコタラン様ニ聞ソレニヨリ出家シタヲ聞ハイト哀ニ残念也ヤハリ俗タイデヲキタイ也モハヤ出家シタ事故ソレハソレ也コノ上此猶ハ出家シテ目出度事ニハ出ラン子ドモ猶也テントウ也位ハ源氏ノヲ位也我今中将ナレドモ必竟昇進シテ行ソレ見付ラン子也偕ー偕コソト云ハ初ニ今ナンアミダート云ヲ承我位高ナルヲ見テ死シテコソ九品(ノ上品)ノ上生ニ生レント也此世ニー源氏ノヲ位昇進スルヲ見殘シテ残念ト思ハ一念ノサハリニナリ上品上生ニ生レラレマイ也我位ノ昇ルヲ見届死ハ上品ニ生ル、ト也此世ノ残念ナト思ハ悪キ也カタホナルヲー草紙ノ地ト云者作者ノ評番也カタホハカタクナ也マホ(マヲ)ト

【二九ウ】

ツイシテアル思様ニナヒ◇(養)ギミヲ指テ云也マホトハ帆(ホ)カラ出ル事也マホハ追風(ヲイテ)ニマツスグニ走也カタホハカタ帆ニ走也ソノ様ニ美ナラヌ人デモ乳母(メノト)、云者ハカタクナ、子デモ我大切ニスル人ナレバマホニ見直也頑愚ニヤハリソフ思也マシテ源氏ハ天下第一ノ美男諸藝通達ノ人ノメノトニテアレバ身ー我身乍モ源氏ノヲ乳母ニナルハ我身大(ノ事)ノ身ジヤト思也カタジケナフーモツタイナク思也ス、ロニー覺エズ涙ガチ也源氏ノソバハナレニクイ様ニ思也子トモー子ドモハ年ヨリ命惜ミ源氏如何思召ント笑シガル也ソムキヌルヨノーソムキニクイヨトハ子ガアルハ

カク也我出家シタライヤナ様ニ自(ミ)―眉ヒソメ悲也ソレヲ源氏ニミラル
 ヲ也ツキ―ハ兄弟ドモヨメドモ互ニス引袖引ツキアフキミ也笑止ナト云也
 メグハスハ我同土メグハスキミトス老人ニ對シテソノ様ニ云ナト云ト兩説也
 ドチラデモ也君ハ―是ヨリ源氏ノヲ詞也アハレト

【三〇オ】

思召ワレヲ思フベイ人打ステ死也母ニハ三歳祖母ハ若(ワカ)君六歳ニシテ
 死也我ヲハゴクムヲチノ人ヲ、クアル様ニアル左衛門ノ乳母兩人ノメノト也
 大貳ヨリ下(シモ)ノ人也大勢アル様ナレドモシタシク―其方ヨリ外ニ又ウ
 ヘコシテハナカリシ也ヒト、ナリテ―十二歳迄ハツキアレドモ十二歳ヨリ元
 服シテ御成人シテハツキヲラヌ也心―此方カラ心ノマ、ニ其方ミマイニクル
 事ナヒ也猶―此方カラミマフト云事ハナリニクイガ久アハネバ心細フナツカ
 シイ也サラヌ―伊勢物語ニアル哥也「世ノ中ニトナリヒラノ母ゴニヨシデ
 進ゼラル返哥ソレヲコ、ヘ取用サラヌハノガレラレヌ也ソレヲチノ人ニ對
 シテ養君故ヲヤ同前ニ思召故カウ被仰也ヲシノゴヒ―ハ涙ヲシノゴウ袖ノ匂
 モ処―大貳ノ家セバイ処デモ充(ミチ)ノソコラセバウ思程覺ヘル也ゲニ
 ―源氏ノヲシマルヲ見テ子ドモヲモ思ハゲニ思ハ祖母君ノ思モ尤也日本ノ第
 一ノ源氏ニ惜ルハ大抵ナラヌトハ、キミノスクセヨイ也皆涙コボスに

【三〇ウ】

修法―シユ法ナレバ濁ベキニ非ス又ヲ見マイノ上デナンゾヲキテ被仰(被仰)
 置也ヲ見マイ一通スミ其家ヲ出テ外ヘユクニ日暮(クレ)タ故ニシソクヲ召
 也彼扇ゴラウズル也初メゴランシテハヲミマイノセンウスウナル故コ、デ見
 ル也平生タキシメタ香也持タ人ガナツカシウ思也モヨウヨク哥カキアル也
 ○心アテニ―此哥聞エニクイ也抄ノ通ナレバ恒ニ源氏シカト見タト落著スレ

ドモソフデナヒハ先デ段々源氏シラン様スアル源氏ト名ノラズフク面デ顔カ
 クスヤウノ六条ヘトモナヒ門番ハイツクバウヲ見テヤウノ源氏ジヤトシ
 ル也抄ニ源氏ト推量シタトモアル又頭ノ中将トハ源氏ヨリ前心カヘシタ人
 也ソレハ一向猶アシイ也源氏ノ御隨身ニ遠方人ニモノ申スト尋テソコ折行
 ソノ答ノ心也ソレハ夕顔ノ花也露光ソヘタ夕顔ノ花トシルト也ソコハカトナ
 ク―

【三一オ】

サシツケヲ指カクシテ哥ノ書処モマギラハシテ風流ニ書也アテ―ウズ高フケ
 高フ見エル也イト―イト思ノ外ニカウシタ処ニ(コ)ンナ人アルカト思也
 夕顔ノ哥ニ非スタ顔ノ召使女ヨム也先デミユ惟光ニ―ドウシタ人ノスミカト
 尋也例ノ―例ノ御(ゴ)好色デ件ノ扇ニ付テ心稚ト思也左様トハ思ドモ也サ
 ハ申―我家ノヲ客故平生ハ直ニ云ヲ親ミナレドモソフ云ヌ也コノ―私モ此五
 日六日参リヲレドモ病者ノ為ニアツカイヨル也好色ノコトト思故ニヒンノ
 ト云也ハシタナケハフソウ応也源氏ベツタリト問ヲヒント(ト云)故不相
 応也ニクシト―我ヲ悪シト惟光思也思テアルナ也花ナレヤ花ナルヤ也思ヒテ
 アンナ也テアタニツヅマル也サレト―惟光ソウ云ドモ猶源氏ノ此扇ノ書サマ
 尋タイ也猶―其上隣ノコトヲヨクシル人アルカトヘ也入―入ハ我家也トナリ
 ノ夕顔ノ家ト云ハアシイ也大貳ノ家也楊名ノスケ―惟光

○五日六日ヲイツカムユカトヨムヤ曰然リ二三日ト書フツカミツカトヨム
 様也ツノジハ付字也此先ニ一二日ト書ヒトイフツカトヨムレイカ曰然リ

【三一ウ】

我家ヘ入テ宿(ヤド)モリ門番様ノ者ニ問也楊名―ト問聞テソノマ、源氏ヘ

行テ答ル詞也此家ハ楊名ノ助ト云官ノ人ヲル家也ヲトコハイナカヘ行妻バカリ内ニナル此楊名ノ助ノ妻ガ夕顔ノ乳兄弟也其兄弟楊名ノ助ヘヨメリシテアルソノ縁デ夕顔ココニ居ル也委コトハ手前ノケ来ドモシランソウナ也元夕顔ハ四ノ君ヨリ殺サント云故隠シテアル故下部シラヌ也偕ハ兄弟ドモ奉公シテ此哥ヨムナラント源氏シルデカン達ニヨミヲコスト思召ミヤ仕ヘ人ノモノナシヤレテ云ナラン御返答ナサルハアシイ也コ、ニドニアル也―イヘル哉ト
 ●●●(アラン)ト此トニヲ一ニ引クルメヲボセド也隔句ノ様也ケレドモサシ付源氏ヘ此様ニ哥ヲヨムヲニクウ思召ヌ也ハヤヲ心ニカ、ル也例ノカウシタ事ニハカルイ也楊名ノ助ガ源氏ノ三カノ傳受也ソレハ外ニ傳受アル事也楊名ノ助ハ名ヲアゲル助

〔三二一〕
 (○私考曰楊名ノ介コノ物語ノ中三ヶノ大事ノ一ツナルヨシ也但本義ハ縣召(アカタメシ)ノ除*目ニテ秘傳ニシ給ふコト、承リ又旧例ヲ見レハ楊名ノ椽目史生ナトモアリキ凡楊名ノ意ハ其任国ニ下ラサレハ公廨(クカイ)ニモアツカラサル名也此物語ニオトコハ井中ニマカリテトハ別ニ私用ノ為ニ他處ニ行ケンヤシラス云々)

ト云コト也必竟外官ノ事也阿波ノ守阿波ノ助ト云コト也実ノ守助ハ其国ヘ下リ所務ヲ上ヘ上ル也其国ヘ下ラヌ京ニアルヲ楊名ノ守楊名ノ助ト云也ソレナゼナレバ六十六人ノ外ナイハヅ也唯是ハ名バカリト云コト也何ノ為ニ出来ナレバ親王方ヲ后方年キウ年シヤクトテ春田舎(イナカ)ノ官任ズル時ニセウ一人●(下サル)上ヨリソレモライ召遣也又米デ給銀(キウギン)取遣也ソレヲ助ノ丞ノト云子細ハ田舎ヘ下リ守助勤レバ阿波ノモノナリ十萬石ナレバ上ヘ―上ゲアトヲ十六ニ割カミ―取也其シブン三フン取テ大臣ノ処ヘユ

キ奉公スソレイラネバ米デ取也楊名ノ守ト云又楊名ノ関白ト云モアル是程ノ事モ大事ト云事也サレドモ傳受ト云ハ外ニアル也職掌ナリ番(名)ヲ楊(アゲ)ルト云名バカリト云事バカリ傳受ニ非也

〔三二二〕
 (○此事前ニ記ス)
 (○カシニ心ナシ唯ナンメリ也マヘニサカシトアルソウジヤト云コト也)

七丁ヲ 正月廿六日會
 △御た、う―

サシテトハ心アテニト云哥ヲ指付テ源氏ヘ贈ル故サシテ也源氏ヲ志シテヲクル風流ナトヲ心ウツル也例ノ御好色也ハヤコ、デ見レル也平生ヲレキ、也知恵ト云恒ナラン生付ナレドモ好色ニハ重カラヌ也ハヤヲ心稚故也タ、ウ紙ハ古ヘモ今モ若イ殿上人或公達衆ハゼウジウフトコロニ入レアル也コダカ也サマ、折様アル古来ノ折様アリヌヲモノズキノ折様アル也先白ナレドモ風流ニ花ナドヲ持殿上人モアル也モノカキ菓(クダモノ)ナト包ム為也イタウハキツウ也手ノ風ヲカヘル也ヲノシト見エヌ為也ヨリテコソ―源氏ノ隨身ニ遠方人ニ―ト被仰ソノイラヘヲ隨身イヘドモアノ方カラモ心アテニソレカトゾミルト云日ノクレニ見レバ夕顔ト也夕顔ヲ抄ニハ源氏ヲ指トイヘドモアシイ也源氏ハ名ヲ隠シ顔

紙ハタ、ムカミ也大ナ紙也折様如何日即図アリ
 (○タ、ウ紙ハ小鷹(コタカ)ヲ用也哥書キ菓ヲモ包タメ也鼻紙ニ非タ、ウ

【三三才】

モ隠シ先迄シラサヌ也アチニモ疑段々セン義スル事アル故心アテニソレカト
 ゴミルハ源氏ヲ云ニ非ス心アテニ夕顔ト見ル也我家ニアルモノ故夕顔トシレ
 ドモ是哥ノ風流也ソレ故源氏ノ哥ニヨリテコソトハソコ元夕顔ト云ドモ手
 前ハ夕暮故ニヨリテ夕顔トミント也表一通ハソレ也ソコノ心ハヨリテ哥ヨム
 婦人ニナレソマント也夕ツカレデハハツキリトシレヌ故近ヨラン也好色フク
 ム也アリツル―夕顔ヲル隨身故アリツル也マダミヌ源氏也初テノ事ナレドモ
 イト―何分貴人トハアチニ思也見スグシステズサシ―ハ心アテニ―トアチラ
 カラソ、ノカスキミ也御―御返答ナク程フルハ大貳ノ乳母(メノト)ミマイ
 ニユキ返答ヒマドル也アチニハ御返答ナヒ故テモチブサタニ思ヲル也ハシタ
 ナキハ哥アリサツソク御返答アレバフソウ応ナラネドモ返事ナヒハフソウ応
 也ナマハスコシバカリ也◇(カクワザトメカシケレハトハ)キツトシテ返事
 アル故也アマエテ―

【三三ウ】

源氏ノ返答ニ俗ニ云アマヘテカツニノル也又哥アゲンナド女房達同士談合ス
 ル也シラウハ前ニモツキシラウトアル一人ニ非ス相手アツテツキシラウハツ
 キアヒテ袖引モスソ引アフ故女中ドウセウカウセウト談合スル也隨身ガ心ハ
 ヒツコイト思也返哥ニ返哥スルハ際限ナヒト思也マイルハ源氏ノ前ヘマイル
 也御先―源氏ヲ帰也ミ先ノ松ハコ、ノ挑灯ノ様也古ヨリ今迄キツトシタ時ハ
 テウチンナヒ也今モ公家ハテウチントボセトモ拜賀(、)ノモトリセチエモ
 ドリ様ノ時ハ松明(タイマツ)也大分持行也先ニモ持アトニモ持ミヂカウナ
 ル時ハアトカラ供ノ持ニトボシカヘ、持也古ハ松敷先年私在京ノ時ヲセチ
 エ拝ニ行ニ関白撰政モドルヲ見レハヨシ也能トボル者也ヨシヲ五寸マワリ六
 七寸マワリニシタ中(ナカ)デ取レバ九寸マワリモアラン是ヲ爰ノ合羽籠籠

(カツハカゴ)持様ニ持行ソレトボス也

【三四才】

ミ先ノ松ホノカニ先ヲフ聲モ静ナルハ六条アタリノ忍ビアルキ故也ハジトミ
 ―源氏ノヲ帰ノ車カラ夕顔居ルハジトミノ内ミレバ夜分故ツキ上ルシトミヲ
 ロス也ソノスキヨリ灯(トモシビ)ノ光ミエル螢ヨリサビシイ小家ノアハレ
 ナ体也本哥ハ古今也「夕サレハ―コレハギヤウニモヘル事云也螢ヨリ多光レ
 ドモ我コヒスル光人シラント也コ、ニ用カヘ少ナヒ事ニ云也御心―ハ最初ニ
 六条アタリノ御忍アルキトアルソノ御息処ノゴ処也大臣ノ女也大臣ノ家故キ
 ツトシタ家也ヲシナベタ処ニ似ズキツトシタ也心ニク、大家故サゾヤウスヨ
 カラント心ニクイ也打―御息処ノゴヤウス也御―ハ生付心フガイウズ高イイ
 ンギンニ妄ガハシイ事ナヒ人也キツトシタヲ人也ヲクブカイヲ人也アリツル
 ―夕顔ノ家ノ様ナサビタ家コ、元デハ思ヒ出事ナイ也ソコデ一夜ヲトマリナ
 サレツトメテ―ハ朝ノ事ヲカナ物

【三四ウ】

語ニハツトメテ、トアルナゼ云ナレバ禁中ニトノキスル天上人様ノ衆ハマ
 ワリ番作り清涼殿ニヨルヲリ朝モドル其ゴ奉公勤メ朝モドルヲ本ニシテドコ
 デモ朝ノ事ヲツトメテト云様ニナリアル也ユルリトシテヲ帰也朝ケノ―朝ヲ
 帰ナサルゴヤウスミルニゲニモ人メデルハツ也ウルハシイラン生付也ケウモ
 此―是ハ御息処ノ事ヲザラ、ト書ハモトヨリ夕顔ノ列傳夕顔ヲモニシテア
 ル故也ヲ帰ガケアサケニハジトミノ前通ルコト也キシカタハマヘカド也マヘ
 カドモヲ通ノアタリナレトモ唯一フシトハ彼心アテニト云哥ヲ扇ニカキヲ
 コスツイカリソメ事也ソレカラヲ心止リドウシタ者ヲルゾトヲ心ナヤマス也
 惟光―偕惟光ガ源氏ヲミマイノ後日比(、)スギ源氏ノ御処ヘクル也煩―母

ノ煩ガト角シカ／＼ナヒ也トシ角シミアツカイ難シアツカイ難義シテアル故
此間御処へモ参上セヌ也ナンドハミ玉イアツカイ

【三五才】

テヲミマイモウサント云心フクム也近―先一通久フ参上セヌ行云アゲサテ近
―ガ密談アル故今日モアル事也一通ソレデスマサテ密談アレバ近ヨル也扇ニ
哥書クセンギセヨト被仰付故ニ近ヨリ云也前渡也られし―カノ扇ノ又シノ事
ヲトヒ聞ケト被仰事也隣―モトヨリ惟光カ隣故也ヨビヨセセンギスレドモハ
ツキリト云ヌ也云ヌハヅハタ顔カクレテ居ルハ頭ノ中将ノオク方カラキビシ
ク云来故カクレテアル故タレモシランキツウ忍デタ顔ノ時ナレバアトノ月カ
ラ也物ハ心ナヒ也サツキノ比ライヨリ来テアル人ガ也其人―マイル人アルト
ミユレドモ家内ノ者モタレトシラヌ也時分―惟光ガ時分() 中垣ハトナリ
ナレバ中(ナカ)ニ隔カキ也カイマミハ垣(カキ)ノ間(マ)ヨリミルト云
事ナレドモ惟光垣(カキ)ニ目附ミルト云テハ幽玄ニナヒ也垣ノ間ヨリチラ
リチラリトミレバ也ケニ―主(アルジ)ノ女色好メル也◇(六丁ウ)女ナン
若クコトコノミテ

【三五ウ】

ト惟光ガ家来前ニ云故也シビラタツモノ―若キ女トモガスキカケガ垣ノヒマ
カラ見エルガシビラハ内裏ビナトテ對(ツイ)アルニ女中ノウシロノ方ニ白
イウスイ者アルアレ也一名ハモト云也ウハギ・モ・カラキヌトテ晴(ハレ)
也貴人へ仕ニキル也ソノモヲシビラトモ云キヌノ名也シビラダツ者トハ古ク
シハヨル様也白キウスモノ也紋ツク位階ニヨリ官位ニヨリ紋違アル也モトモ
シビラトモ云ソレ／＼同土ハキヌ也トカクキ人ノ前デキル也内ニ主人ハアル
故ニキルコレ我々同土ニ非ズ貴人ヲルソウナト云事惟光コレヨリミアラハス

也モメイタ者ヲキル也平生ノ事故サツハリトシタニ非ズフルイヲキル故シビ
ラメク者也カゴトハカリ―トハキツトシタギ式様ニ非ズ主人へノ礼義バカリ
故也カゴトハチツトバカリ也処ニヨリ違也「アツマヂノ道ノハテナルヒタチ
帯カゴトハカリモ逢ントゾ思拾遺ノ哥也少シバカリ也処ニヨリカコツケゴト
ニ云也又誓(チカイノ)

〔○私考曰シヒラハ褶ナリ男ハ袴ノ上ニキル女ハ上裙(ウハモ)ニ具シテ着
ル物也或略シテ褶ハカリモキルト也是モ女房ノホト／＼ニヨリテ其色替レリ
衣服令ニ見エタリ〕

〔○カゴトヲ少バカリト云ハカノ字ノ心如何曰シラス誓ナレハチカヒゴトノ
略也直ニチカヒコト、書処モアル者也カコツケヤレバ即カコツケコ()ト
也託也〕

【三六才】

コトヲモ云ドモカゴトバカリモアハントゾ思フト同コト也イツキカシヅク主
人アルト見エル也キノウ―キノウノタグレニタ日残ナフ皆ハジトミノナカへ
入也其サシコムニフミカク婦人アルソノ人ノ顔コトノ外宜也是即夕顔也物―
其婦人ノテイモトヨリモノ思ケシキニアルハ品(シナ)一定ノ卷ニ委アル頭
ノ中将ノ思ヒ者子迄アレドモ本妻ノ方カラソコニ居レハ殺ントアラ／＼シイ
事ヲ云ヤル故隠レアル子ノ事頭ノ中将ノ事思テ仕ル女中モ忍／＼ニナゲク也
必ナクニ非ス是ハスマヌ事トサ、メキヤム也シルクハ著(イチジルク)也
ナンゾ思ヒアルト思也源氏ノコデニツト笑ヒ終トドウシタ物ゾ知リタイ也是
ヨリ惟光ガ心デ源氏ノ事思ヒメグラス也源氏ノ御威勢ヲモカルベキ身也御―
元ヨリ天子ノヲ子也御威勢アルヲ方故カ嬾(様)ナ軽／＼シイ好色ハセヌハ
ヅナレドモヲ年十六也人―源氏ニメデナビカン人ナヒソソナ事

（○シルクハ何ノシルキヤ曰イチシルクミエタ也）
（○侍シカノカハ哉ナリ）

【三六ウ】

カタ／＼思ヒメグラシテミテハスキソレヲ以テ見テハスキハ好色ナリナサケナクハ無風流（ブフウリウ）也天子ノヲ子也ヲ形ハ美（ウルハ）シク人ハナビキテアレバ好色ナクハブ風流ナラント也サウ／＼ハサビシイ也ヨソカラミテモタラン様ナラント也人ノ一年ワカナレバ人ガ源氏程ニナビカヌ程ノ分際ヤウギ生付デサヘソウ応ノ手ニマワリソウナ程ノ事ハドレデモ色好シイ也モノヲトノトノ字ニ心アル也猶モノヲ御尤ナルゾト思ヒラル也●ラ惟光申上詞也モシモシ委細ノ委コトシレンカト見ウル事アラシカト存ジテハカナキ随分求テ無（ナヒ）事デモ云（イハヒ）デモ大事ナヒ事デモ云ヤル也フミナンド遣（ツカハス）也サツト遣ト雖是モ夕顔ノ中ノ官女ニ己ガ好色ノ事云ヤレドモ先ハナンデモナヒ事ヲ一通云ヤルトバカリシラレ必竟先デソノ事云也哥ノ返哥ナドスルトクハ早（ハヤイ）也口（クチ）バヤニ早々返哥ヲコス也イト中々見グルシイ

【三七オ】

悪イトハ見エヌ女アル也猶ソコデ源氏ノ猶其方又近フ云ヨリテ容（ヤウ）ス聞ク也尋ソレ尋ネ知ズバ残ヲクサビシク思ハン也カノ是ハ品定ノ中ニ上（カミ）ガ上下（カミシモ）カ下（シモ）ト云事アル源氏ハ高位デカウシタ下ノ事シラネドモ馬ノ守下ノ中ニモヨイガアラント云故ニ下ガ下ト思ヒステレドモソノナカニモ馬ノ守ハナシデハヨイガアルトシル故ニ若●シタ処デ宜ヲ見ツケハ猶面白カラント也カノムグラノヤドニト品定ニアル故コン

ナ処ニモヲル者ト思也サテ是カラ筆テンジテ隔句ノ様ニ空蟬ノ事入レタ也サテト是デ詞ヲコス故サテソウアツテソレハソフアツテ也空蟬カ事ハ空蟬ノ卷ニ委ミユサマ／＼源氏ノフミヤリ心尽ドモウケ引ヌ也コノヨノ此ヨデセ間デ源氏ノヲ心ニ叶ヌ人ナヒニコノヨノ人ニ空蟬ハ違也オイラカシカシナガラソレカラヲ心トマル也セ間ノ人ニ違故ヲ心トマル也オイラカナラハ

【三七ウ】

中河（）ノ一宿ニ源氏ニ早速シタガイ其後モナビカハ心ハ一タンムリニ空蟬ニ逢事也立帰アヒヨシナ事シタト思也オイラカニアラバソレデスマンガイトネタマシウアチ心強ニ負（マケ）テヤムガクチ惜也か様ノ此五条アタリノ夕顔カ宿（ヤド）タレヲルヤラシラヌ源氏ハ貴人ナリ恋スルトテ高イ人ヨリ外相手ニナサレヌニアリシ一簀木ノ品定ニムクラノ中（ナカ）ニヨキ人ミ付タラバトアルソレカラカウシタ処ニモウルハシイガアルト思●ニ心モトナク思也イトトハ下地サヘゴ好色ナルニイヨ／＼馬ノ守ガ品定ヲ聞テクマナクユキワタルヲ心ニナル也ウラモナク是ハ軒端ノ萩◇（ノコト）也軒バノ萩ハウラモナク打トケ空蟬ノ様ニ堅ハナヒ也源氏ノ文（フミ）デモ遣ガ遅トテ待テヲル也聞ツ聞ハ空蟬ニナラビ基（ゴ）デモ打テアル故也軒バノ萩ノ事ヲ心ニカハラヌニハ非ズ母脇カラ我ニ心カケラレヌ軒バノ萩ニモ又アノ通トジツト貞

【三八オ】

節ニ聞ヲルヲ恥ル心也空蟬ヲキハテラチアカズハ又軒バノ萩ヘモ文遣サント思召也伊与ノスケハ空蟬ガヲトコ也伊与ノ国ヘ任ニ行ナカ升也ヲヤコトモ源氏ノゴケ来故早速源氏ミ舞ニクル船一船ニノリ海路ナレバクロム也イトマツクロニモトヨリフトル人也心付ン様ニ見苦也サレドクロメドモサレド

也ソフシタ形ナレドモ年タケ●ネビタ也年モ少シヨク色クロミ船ヤツレスレドモ下作ナ人デナヒ故ニキヨクユヘヨシアル宜人也国―伊与ノ物語土地ノヤウス云也ユゲタ―伊与ニハ湯アルソノ湯ゲタハイクツアルドウ付ゾト尋タケレドアヒナクハ不相応也是ハナゼナレバ空蟬ノ卷ニ空蟬ト軒端ノ萩ト碁(コ)ウチフルゴウチハテ軒バノ萩十廿トカゾヘル処ニ伊予ノユゲタト云事アルソノコヲカゾヘルニヨリイヨノ湯ゲタモカゾヘルニアノ發明デハマギレアルマイト思召也ソレヲコ、デキツト

〔三九ウ〕
 (○タ、ナラズ―アリケルト云ハ源氏ノゴアイサツ歟曰上ノ舟ミチノト云ヨリ以下皆地也タ、ナラスハ大抵ナラヌヨキ也今唯モノデナヒト云是也ヨシヅクハヨシハ由也ユエン也ツクハキヨロツクノヒヨロツクノツク也由ノ方ヘツイテアル也フラツクナト同コト也)
 (○十丁ヲナリヤノヤ如何曰ステヤ也)

【三八ウ】
 思召出也(ハ)妻ニモ不義アリ女ニモフラチアル故ニ心ノ鬼ニヨリ正イ老人ニソウシタ事アルハマバユクハ目合シニクイ也源氏ノ心ノ鬼也湯ゲタハイクツト問ハレモナサレズヲ心ニ空蟬ノ事軒端ノ事サマ、也ソレカラマバユイ也物―実貞ナ伊与ノ介ヲヲソロシク思ハヲコマシクハ愚痴ガマシイ也アチニハシラヌ事ヲ心ノ中ニソフ思召ハウシロメタイハ氣遣也ウシロ見タイ様也ケニ―カウ云事ハ馬ノ守ガ品定ニモナケレドモ●(タン、)云事ナレバサヅカウシタ事モアラン人ノ妻ニ心カケルハナ、メナランフ届ト馬守云ナランソレヲ此へ思出也カタワハトハカタワナ頑愚ナ事也イトオシキハ◇(イヨ歟)紀ノカミガイトヲシイ也ツレナキ―ツレナク順ヌハネタマシケレド人―イヨノ守ガ妻故伊与ノカミガ為ニハ殊勝也娘―伊与ノカミ升レドモカリニ上ル也

女ボイヨヘツレカヘル也女ハ縁ニツケユク也是ハ何ガシノ少将ト云処へヨメリサス也、テトハ

【三九ウ】

ヒキキテ也將軍ノ將也將軍モ軍(イクサ)ヒキキル也引マワシテ自由ニスル也其心也―空蟬ツレユキ軒ハノ萩ハ縁ニツクト云ハ源氏ノ心イソガシイ也サハガシイ也アチコソ文(フミ)モヤリタイ也今―モード空蟬ニ逢事ナルマイカト空蟬ノ弟小君(、)ヲカタラウ也是カラ空蟬ノ心ノウチ也左様ニ小君ヲ以云ドサレドモ取持人ガ心ヲ合シテクレルサヘカロラカニ―源氏貴人ナレバソレトモカロ、シクマギレ忍ヒエゴザルマイ也マシテイヨノ守キツトシテアル内トノ人タレモ承知セヌ事也今サラニミグルシイ事デント貞節マモリ思ヒハナツ也サスカニ―貞節ニハ思ヒ切ドモ此方ガ思ヒ切ドモ源氏忘レ御ビンギナクバツラカラント空蟬一生是也云カヘナク残念ニアラント也サルヘキ―御返答モスベイバ処ニ於ハフツ、カニナヒ様ニ御返答申シナケノハ心ハ乱レヌキデアル故ナゲヤリ也ツライノ打トケル様ニナヒ故ニナゲヤリノ筆ヅカ
 (○十丁ウニゲナキコトニ思ヒテハ如何思ハウツセミ思ヤ曰ニゲナイハ似アハヌ也男持故ナリ)

【三九ウ】

イフミノ事也アヤシウ―怪クフシギナ程文体カハイラシイ也哀―ナンボ心強テモ源氏ノ哀トハ思召ベキケシキ也ツレナク―ツレナフムガウネタマシイ者ト思ドモイツ迄モ忘レ難ク思也今―軒バノ萩也主―トハカノ少将ノモトへ嫁シテ夫(ヲツト)持ヲ云也カハラス―男モツトモ源氏ノ方カラフミ遣バ相更ラズ打トケン氣性也トカク―ハ小将ノ方へ縁ニ付テモ源氏ゴ動テンセヌハイ

ツデモ従トシル故也秋―是カラ前ハ六月也秋ニモナリ七月ニモナル也秋ハサツバツ陰気デ心ヲナヤマス也「木ノマヨリモリクル月ノ影ミレバ心尽シテモノ思ヒスル也」コトドモト云中ニハ藤壺ノ事聞（聞）入り外ニハ軒ハノ荻空蟬夕顔ノ事モアル先藤壺ガヲモ也大殿―ソウシタヲ心遣アル故葵上ノ方ヘハタエマアル也アチニハウラメシウノミ思也ノミト云ガ字眼也是カラ又御息所ノ事也御息処ハカノ先坊（一）源氏ノ兄ゴヨリマヘノ東宮源氏ヨリ八ノ年ア二也

【四〇オ】

源氏ノサマ／＼被仰ドモナビキ難也ヲモムクハ源氏ノ方ヘヲモムク様ニナル也ヒキカヘ―ソレ程ナビキ難ヲムリニナビカシテソレ程ニヲ心カケルニ引カヘテ十分ニナヒ也源氏ノ前カド被仰様ニ毎晩コザラス也ナノメナラムハ十分ナラヌ也イト―御息処ノヲ為ハイトヲシイ也サレド―イトヲシイ事ナレドモソフハアレドモ源氏ノヨソデ御息処ノ事ヲ思召程ニハナヒ也マヘカドヲ逢ナサレヌマヘニ思召程ニハナヒ也惜事也ソレ程ニハナイ也初メ思召程ニナヒハドウシタ事ゾト思程御息処ノ方ヘハソ遠ナト云事也女―此御息処ノ御生付ハトカクモノヲ思召シメルハ―ヅニ思ヒツメルト引カヘス事ナラヌ―ヅナ御生付也オホシ―ハ執心ブカイ也シミツク也ヨハイモ源氏ヨリ八ノ姉（アネ）也カウシテ年モ過タト云事人ガモシ聞シニカクノ如ク源氏ノムガウツラウヨガレハ夜ガレル也カレルハハナレル也夜ヲカレ／＼ニシテコザラス也ヲ出ナサレヌ夜コトニ御息処ノモノ思也

【四〇ウ】

我ハ先坊ノ北ノマシ処デ若（ワカウ）テ後家ニナル宜カラヌ身也ソレニ源氏ニナビキコザラストサマ／＼思ヒ乱也霧―アル時源氏ノ御息処ノモトカララ

帰也朝ケノ霧フカイジブンニイタク―メツタニ強テヲカクレナサル処デモナヒ故朝ネスル也アマレ朝寝故ニ起ス也ソコヲナゴリヲシイ様ニスル也ネムタイニ起シテナト被仰ソコ出也中将―ハ御息処ノ召ツカフ女中也源氏ノ朝ヲ帰ニ付御息処ノ格子一マアケ御息処ノネマカラ源氏ノカヘルヲ見ヲクル心遣也御―几帳ニカケルカタビラ取ミエル様ニスヲ、ン―御息処ノヲツムリアゲテ源氏ヲ帰ヲ見ヲクル也前裁―其庭ニアルウヘゴミノ秋ナレバサマ／＼咲乱レ過―ハスギ難也源氏ノゴヤウスウルハシイ也廊下ノ方ヘツタイ行カノ中将ヲトモニ送り行也シランハ秋也時節相応ノモノ中将キテアル也秋初故ニウス物ノ紗ノロノト云袴（ハカマ）キルシラン色ノキヌ著（キ）

（○私考曰シラン色ハ面薄色裏青是ハ衣ノ色ニシテウスモノ、裳ハ別ナルヨシ也雅抄ニシラン色ハ常ニキル物ニアラス秋ノ初ニキル物也ト見エタリ）

【四一オ】

テサテウスモノ、裳（モ）ヲ著シタ也先程ノシビラ様也リツハニ中将キルウルハシクサワヤカニリツハナ様ス也ソコデ中将ノヤウスリツハナ故ニ源氏カヘリ見御息処ノ方カラミエヌ処ニ引スヘタ也打―元ヨリ主人アル故打トケスキツトシタテイ也髪ノ―髪ノサガリ様ガ也下髪（サゲガミ）也キレイナハイト思也目―ハ平生ハワルイコトヲ云サビシイテイ也コ、ハ見事也

○咲花―ソコデ中将引スヘ庭ニアル垣ノ草花アルソレヲ心ニ持咲花―ト御息処脇ヘシテ咲花ニ心残ルト云好色ノ名ハ包タケレドモ折―庭ノ朝顔ニカケ云ドモ中将ニ比シテタバハ過ニクイ也イカ、―ドウシタヲヨカラント中将ニ御相談也中将ハモノナレアル故早速御返答云也源氏ハ中将ノ心ヨセアルニモノナレタ故今朝ノ様ニ早くヲ帰アサ霧ノハレルモエヲ待ナサレズヲ帰ハ必竟御息処ノ方ヘハヲ心ウスイト我事ニハ氣ツカン様ニシテアル也公―我ダン

ナノ事也我

（○サカリバノハノ心如何曰ウツセミノ卷二記ス）

【四一ウ】

事ハ取ノケ主人ノ事ニシテ云也オカシコ、デ咲花ニト云哥ノ面ハ折ベシト云御息処ノ方ノ心遣也一、枝折献上スル也御前ニサムラウ奉公人也スガタ一アノ様ナホシイト云様ナ好マシイ童出也コトサラ一是ハ説々アル事ナレドモ源氏召使ワラハト云説アル又御息処ノ召使童女トモ云先女ヨイ也女ガ指貫キル事ナヒ事也ソレ故コトサラメクト云也ツイニ無ライ故ニコトサラメク也平生ハ此様ナ時ニハキル者ナラネドモ露フカヒ朝故長イ袴（ハカマ）キテハツユニヌル、也是ク、リバカマ也短（ミジカイ）也コレサラニワザト各別ニキタト云事也エニ一イカ様ウツクシイメノワラハ庭デ朝顔折ハエニ書タイナランサムライワラハノ事抄ニモ段々アルトカク女ヨイ事ソウ也男ハ源氏ツレクル也女ナレバ御息処ノ女也童女サシヌキル事ナヒ故ニヲトコト云也是モ岷江ノ別勘ニ云天子ノ行（ギヤウ）ケイ行幸（ガウ）ナト云時ハ長イ袴キラレヌ

（○私考曰サフラヒ童是ハ女ニハ非ス近侍セル男童也彼物ノ怪（ケ）ノ処ニイヘル上童ト同シ）
（○同サシヌキハ奴袴（サシヌキ）ナリ官位ニヨリテ色カハルナリ委ハ蓬生ノ卷ニシルスヘシ）

【四二オ】

故ニコレキル馬ニ乗ル時デナケレバナイ也今朝著ヤウ様ナケレドモコケイノ

馬ニノル時ニキルヲ例ニシテフト書也必竟露アル故長バカマハ勝テアシイ故ニ是ヲキセテヤリヤハリ御息処ノ召遣童女トミルコトサラメクガ字眼也童女ニコトサラメイテキセタト云コト也
十二丁ウ二月朔日

○おほかたに一ハ一サフラヒワラハノ一エニカ、マホシゲ也是ハ御息処ノモトヨリ朝ヲ帰ガケノモヤウ也是カラ草子ノ地ナリ作者源氏ノ事ヲ評番シテカク也大方ノ一恋路ノ事ヲハナレセ間テイニカノ源氏ヲ打ミル也好色ハナレテモア、ウルハシイ御生付ト思ハヌ人ナヒ也物ノ一山ガツハ無心ナ者ニシテアル風流ナ事ナヒ者也モノシラヌ山ガツデモ同シ休ムモ花ノカゲデ休ミタガアル也是ハ古今ノ序ニ薪◇（抄ニ引ナリ）一トアルソノ詞ヲ用也ニヤト此ヤノ字心ニ持テアルベシ先デ入ルコト也此一此源氏ノ光ヲミ奉ルアタリハ程々ニツケテ高ハ

（○太子后ハ行（ケ）ケイ也行幸ハ天子ニ限也院ハ御（ケ）行ト云也ゴカウトヨム）
（○心シメノシメ如何曰シメハシミック心也シエムキミ也）

【四二ウ】

高昇ハ昇通り身分ノ程々ニ付テ分際相応ニ我一可アイガリイトヲシガル女ヲ源氏へ御奉公サシタク思也カナシト思ハフビンニ思フ女也或ハ口惜カラズトソノ様ニ思フ妹モチテアル人ハ也テアタニカヘル也タトヘムズシキ奉公スルトモ也賤イ奉公デナクトモ也身分賤ユヘイヤシイナリトモ御奉公ニアリツケタク思也ヨイ妹ヲ持者モソウ皆思也彼花ノカゲニハ一ニヤ思ヒヨラヌハナカリケリト云文ノツゞキ也ナカニハサラ、アル也花ノカゲニハ一ハタトヘ也山ガツガ源氏へ奉公スルニ非ス山ガツサヘ休ニハ花ノカゲニ休故宜イ女妹

モツ者ハ分ザイ相応ニ御奉公サセタク思ハヌハナカリケリ也マシテソウシ
夕程隔タ者サへ御奉公願也マシテ況サリヌベキソフ応ニソウアルベイ時節
ニヲ詞カ、ル人也源氏ノヲ詞ナツカシウ物和二被仰ヲ詞ヲ聞ソノ御ヤウス
見ル人ハ也少シ初メ心ナキタグイ云故ソレニ對シテ少シ也心ナヒサへ

（○カナシノジ明ナラス如何曰源氏ニ限ラス外ニモ多者也観音ノ慈悲ト云ツ
ライコトナシアハレムキミ也其者フビンニ思ハ吾心イタメルナリ）

（○イカンキニテモノ詞前ノ程々ニ付テノ処ヘカケミルヤ曰然リ賤女ナラネ
ハイヤシクハツカイ玉又道理也）

（○抄ニ打見ト云ハ前ノ大方一又ハナシヨリ此マシテトツ、クニ似タリ師
説ハ前ノニヤヨリツ、クト如何曰打ミヨリ此マシテヘハ打ミルサヘナレハ
マシテケサウシ玉バトツ、ク也又前ノニヤト云ハ山ガツハタトヘ也ニヤソレ
ヨリ段々ノ人アル思ヒヨラヌハナカリケリトツ、ク也源氏物語ハ皆源氏ノミ
ホメアル此ラソレナク其外ハ多ク女ヲホメアル者也）

【四三才】

ソレ故少シ物ノ心シル人ハ如何源氏ヲ愚ニ思ハシ皆女妹ヲ御奉公サシタク思
也アケクレ一今モ云人々ガ葵ノ上ハ葵ノ上紫ノ上ハ紫ノ上源氏ノ一処ニヲラ
ヌ也方々ヘアルク也皆人々ドウナサルゾト脇ヨリ心モトナク評バンシテ思ハ
ント也マコトヤ一是カラ夕顔ノ上ノ事也誠ヤハ此物語ノナライデ前ノ事ヲ又
思ヒ出シテ筆オコシテ書ム誠（マコト）ヤト云也今日テイニ世間ノ事ヲハナ
シテマコトニソレホンニソレヤト云ト同事也惟光ハ源氏ノヨミ付ヲ乳兄弟也
常住ヲ側（ソバ）ハナレヌ人也夕顔ノ宿ヘヲ供シテ行人也アヅカリハ惟光ガ
ウケ持人也堂上ニ加茂ノ預（アヅカ）リハ鴨ノアヅカリアル加茂ノ事請持人
ヲ加茂ノ預リト云也其外ヨシ清（キヨ）承（ウケタマ）ハルト方々ノ手ワケ

シテアルト見ユイト夕顔ノ事也問聞（トヒキケ）ト前ニモ被仰故カノアヅ
カリノ事ミトリテ申也トナリカラミル様也終トアン内ヲトナリ故惟光ミシリ
申也申ハ申上もクハシウミレトモタレトハ知レヌ也

（○オハスハ如何曰在ノジノ心也訓ハシラズコザノ心也コザルノキミ也）

（○誠ヤノヤ如何曰ヤハ心ナシコトニヨリ誠ニヤト処ニヨリ疑ノ方ヘユカン
ステヤデハナイ也コ、モノレナク是源氏ノ例也作者疑キミ也）

【四三ウ】

夕顔ハ頭ノ中将ノモトヌケテ乳兄弟ガ楊咄（名）介ト兄弟故ソコニカクレア
ル也其家ニモカクス故ドウモエ思ヒ付タ也アチカラハ元ヨリ云ヌ也今ハキツ
ウイミカクス也其女ガツレノニサミシイ故ニ南一源氏ノマヘカドミルハジ
トミ長（）ヤハ物見（モノミ）◇（ヤウ）也オクヲ隔アルサヒシサニ出ヲ
クル也長（）ヤハ今日ヲイノ長ヤ也ソトニアル中ヤハ臺処（）ヨリアガ
リ奥（オク）ヘノ取次（トリツギ）ノ間デ爰元ニモ家中ニ中居ト云アルソレ
也両説也長ヤヨイ也長ヤハ外（ソト）ニアルモノミノヤウ也オクヨリキツ、
也門（カド）ヲ車ナド通ハ公家衆通ハ召ツカイノゾキミル也此シウ一其女中
ガ車通ハミルガコノ主人ハ夕顔也ハイハ這（ハフニ）非ス忍デコツソリトク
ル也ハベメルハ侍ルト云コト也形一スダレ杯隔ミル故惟光モ久シウエミヌ也
幽ニミルニカハイラシウミエル也一日アル日一日先ヲ追（ヲフ）テケイヒ
ツシテ通ル車アル内ノコシテロノゾキテ也ワラワベハ内ノノゾク女也右一夕
顔ノ乳母ノヲチ兄弟也是ガ夕顔ニ付バン當ル也メノ童ガケイヒ

【四四才】

ツスル車見テ右近ノ君ト呼カケ云也平生ハコソハ助字詞ノ字也此様ニ右近ノ

君―見タマヘト呼立ルハ願フ心アル倍シツスル心アル也尊敬シテ少シ願フ心アル也万葉ニコソト云字ニ今モ書ヤシロト云字ヲ書テコソトヨマスモヤシロハモノ願ウ故ニ願ニシタ詞也処ニヨリ違ドモソフ云処アルコヽラソレ也マア外ノ事ヤメ右近ニミセル也通ル車ハ前夕顔ノ御亭主デアル頭ノ中将也葵上ノ兄ゴ也箒木(ハヽキヽ)ノ卷ニアル頭ノ中将カタライ行衛ナフナル也中将―件ノ頭ノ中将ゾト云也又―ソフワラハ云故ニ宜シキオトナハアマレワルウナヒ中位ノ女也前モ云宜也是右近也アナ―メノワラハガ声高也ヤドヘ聞テハ家来聞テモタ顔ガコヽニ隠レアルト知テハルイ故アヽナアヤカマシイ也手カク―ハ手ヲ以テ右ヨリ左ヘヤルハカク様也セイトウスルキミ也シヅメヽドウシテ頭ノ中将トハ知ルゾト也イデハドレヤミントテ右近モ忍テコソリトミル也

〔四四ウ〕
 (○私考曰右近トハ中藤ナル女ノヨヒ名也)
 (○中将殿コソノコソ如何曰常ノコトバ也)

打橋―奥ヨリ長ヤヘクル間ニ打橋ハ箒木ノ卷デモ云チヨツトカケル橋也ダツハ打橋メク者也イソギ―ハハヤウ見ントテ走リクル也此モノト云字聞エニクイ也シヤモノニスレバ急(イソギ)クル者ト云ドモ古来ヨリ物語ニ見ル先ニモアル也赤石ノ卷ニ行(ゲウ)道()スルモノトアルタゞ心ナイ也主人ニ仕ル右近故ウヘニ打カケシテアルソレガビラヽシテアルヨロホヒ―ハコケル也打橋ヨリ急テ落ソウナ也イデトハ発語ノ詞也コノカツラキノ―ハ橋作ル縁デ云也彼古イ哥ニ「岩橋ノ夜(ヨル)ノ契モ絶ヌベシアクルワビシキ葛城(カヅラキ)ノ神ト云哥アル是ハ彼縁ノ行者()ガ大和ノ山々行フ時金峯山(キンフゼン)カラ葛城(カヅラキ)ヘ大山ヲ隔テ通ニクイ故橋カケ心安

ク通ラントテ諸神ニ云付サス也葛城ノ神ニ一言主(ヒトコトヌシ)ト云アル顔色ミ苦故我ハ夜(ヨル)橋ヲカケント云昼ハ引込出来ヌ也縁ノ行者シバリ置ト云来事也ソレ故葛城ノ神アクレバエ出ヌ又故ヨル橋作ル故橋作ル大工ヲ云ナリ

〔四五オ〕
 (○行道ハ佛道ヲシユ行スル也)
 (○岩橋ノ―後拾遺千載ノ間ノ人ノ哥也朝ノ哥也アクルヲイヤガル哥也コヨイ限ジャト云主意アル哥ナラン詞書アルベシ一言(ヒトコト)主モアケテハ橋カケズソレ故橋絶タ也ソノ如ト也)

必竟大工ノ事也コケル様ニシテ置テト大工ヲハルウ云也ムツカルハ立腹スル也モノヲ伺ハ心モ立腹デサメタ也是ハ書デモ大事ナヒ事ナレドモモノ語ノモヤウ也君ハ―サテ其通ル車ノヤウス惟光モミル頭ノ中将ハ車ニ召シテナヲ召(メス)也ナヲシハ袍ノ仕立ト同シ冬ハ白夏ハ紗ノ花田也花田ハ花色ノ様也公卿以上ハ紋アル以下ハモン無也無紋ハ清華羽林家ハ中将少将ノ時キル宰相以上御免カラ紋アリキル羽林家名家モ御免デキル中将故御隨身ゼヒアル也メノワラハガアレハタレソレ是ハタレソレト云也ナニソレヲワケル也是ハタレソレト云ワケル也頭ノ中将ノ頭ノ中将ノ召ツレル隨身也頭ノ中将ハ頭ノ中将ト云也其小舎人―ハ隨身ヲ目當ニ云コドネリワラハヲシルシニ頭ノ中将ジヤト云也慥ニ其車ヲミイデ頭ノ中将ナリシカト源氏被仰也若―コ女(メ)房ガ頭ノ中将ト云惟光モ頭ノ中将トミシル故頭ノ中将ト申上也若―ハ品定ノ時ニ頭ノ中将ノアハレニ思フガ行エナヒト云也

(○十四丁ヲサメヌメリト云メリト云ハ推量ノ詞歟曰サメタ也秋モイヌメリ

ト同事也

（○）ナヲシ撰清羽林ハ御免ナケレバ紋アルハキラレズ宰相以下ハ御免ナヒ故
モンアルハキラレズ

（○）クレトソレト通ヤ曰不然ナニクレヲ分也ナニヤカヤト云コト也

（○）其小舎人ノ其ハ上ノ隨身ヲ承テ云ヤ曰頭中将ニ當ル也

（○）小舎人必付ヤ何者ゾ曰ヨイ衆ニハ必ツク也小ドモ也セウ東別ニナリ隨身
ノ外ナリ

【四五ウ】

ソレカト思ヒ合ス也コノアハレハ頭中将（ノ）アハレニ思也オボシハ思
ヒヨル也ソレナラント思ヒヨル也イトゾツコンシリタイト思フ源氏ノヨウ
ス惟光ミ届（ト、ケル）也私イト中身（シラマホシミ）テソコデ我
身ノ事カタル也我モ夕顔ノ召遣ノ中ニケサウスル也ケサウハヲモヒカケル也
元ヨリ夕顔ノ中（ウチ）ノ官女ニ密通スル故案内モ残事ナクシルタゞ主人ハ
ナフテ唯也我ホウバイ同士ノ様ニシラセテ主人ハナフテ皆我タグイノ様ニ云
テオモトハ女ノ事ヲ云オモト人トモ云也惟光ノ好色ノ相手也惟光トボケ夕顔
デ主人ナフテ惟光ガ好色ノ相手ノ類迄ノ様ニシテアルヲハカ（ハカラレ）
―ダマサレテアル様也イトイトヨフ内ノ者トモニモカクシタリト思也コ
（△）ノ思ハ惟光思也チイサキ―ヨクカクシテト見エテ少サイコドモアルガ
取ハツシテ詞ノ誤ニ主アイシライニスル惟光ガ相手ノ女ガ主人デナヒ様ニ云
ナス也又―ハ主人ハ外ニ無同類トシラス也人ナキハ主人也笑ハダマセドモコ
チハシルニト先ノシ様笑也尼―其方ノ母ノミ舞

（○）私考曰小舎人ワラハハ中少将タル人ノ召具セラル、ヨシ也左近ニ親近
セルヲトネリトイフ

（○）若キオモト抄ニ両説アリ如何曰官女ヨシ

（○）（△）兼道按此思ハ官女ガ思也抄ノ説ヨシ

【四六オ】

ニ行序ニ我ニモ見セヨ也カリニテモ―是ハ源氏ノヲ心也チヨツトカリナ処ト
見ユコレ―是コソ馬ノカミナドノアナヅル下ノ下ナル下ボンノ品ナラン上品
（ヒン）ナレバカリニモコンナ処ヘクマイ也其中ニ―若其下ガ下ノ中ニ面白
風流ナルガアラハ面白カラシトハアラハ面白カラシ是モ箒木ノ巻ニサビ
シクトアリ抄ニモ引也惟光―源氏ノヲ心ニイサ、カナ事モ違マイト思也己
モ残処ナク曲（クマ）々ヘユキワタル好色ノ心也コノタバカリハ知謀出ス也
ヒソカニ源氏ヲ夕顔ノモトヘ通フ様ニ拵ヘ立也此程―コノ間源氏ヲソコヘコ
ザル様ニ手クバリシテ段々サ、イナ事故ニ例ノ―此例ハ一部ヘカ、ル桐壺ニ
ヲトナニナリ玉テ二三年ノ事ユメル類也サマ、年紀シテ源氏ヲ夕顔ヘ通
様ニハシタ也女―女ノ名ヲ指シテタレゾト問又也大概頭中将被仰ナデシコノ
女トハシル源モ元ヨリナノラヌ也イト―キツウ至極ヲ形ヤツシテ衣裳カヘル
也平生ノ様ニハナクテキツウ夕顔ノ事ニ心入レヲク心（ヲ）尽オリ立ハ身
ヲ入テソ

（○）コレコソノコソ物語敷曰常ノコソナリ

【四六ウ】

コヘコザル也ヲ志フカヒト惟光ミレハ我馬ニノセ行也我ハカチニナリ行也夕
顔ノモトヘ通事也ケ想今―是ハ惟光ガ源氏ヘ云詞也タハムレニ云也私モ内ノ
官女ニケソウシテ通也我モケソウスル人故ニ此様ニカチデヲトモスル下作ナ
者ト見付ラレバ迷惑ナ者ト云也是ハタハムレニ云ナリ人ニ―惟光ツラガレト

モ人ニシラセズ忍テ行故ニカノ夕顔折テクル隨身トサテハ―タレミテモム下
 ニ一向二人シラヌワラハト三人ツレ行也若―若源氏ジャト思ヒヨランカトテ
 隣ハ惟光也メノトヘヨレバ源トシル故也女モ―ソコデ女モアヤシウドナタナ
 ラント思也源氏ヨリ使アレハアトカラ人ツケテドコヘ行トミヨト云也アカ月
 ―源ヲ帰カケ暁ニドコヘヲ帰ト御アリカ尋サス也ソコハカト―ソコトモシレ
 ズ思ヒモヨラヌ処ヘハ入ルアチヨリ人ツケル事アラン故ニ也使(ツカイ)ニ
 モソウ云付也サスガニ―ソノ様ニアリカシラセズ名モナノラネバ疎略ナ様ナ
 レドモサスガニ哀―アルマジク

也
 (○ヨリ立ト云ハ歩タ行スル様也如何日身ヲ入レテ走りマハル也カチデモ行
 也)

【四七才】

思召也サスガハ悪フナル様デヨウナリヨウナル様デ悪フナルアトヘ戻ルテニ
 ハ也夕顔ミネバヲカレヌ様也此人ノ―夕顔心ニカ、ル也ビンナクタヨリナヒ
 様ニスルカロ、シイ事ト思召ス心カヘシテモカヘサレヌ也イト―サヒ、
 ヲ出ナサル也カ、ル―カウシタ好色ノスヂハ昔カラ賢者モ乱ル、者アル者也
 マメビトハ実テイナ者也イト―平生ノ御身持脇カラ見安也ヲ心シヅメラレ
 人ノトガメル様ナ好色ノフルマイセヌ也アヤシキ―アヤシウメンヨウフシギ
 ナ事也ツイニカウシタ事ナヒ也夕顔ノモトヨリ帰ル朝ノ中ハヤナツカシイ也
 昼ノ間ヲボツカナフ逢タク思也ヤツハ―源氏ノ心ニモカツハ是ハ狂気ノ様ナ
 ハイト思也サマテ―是程迄也コレ程ニ心止ルベキ夕顔ニ非スイミシク―キツ
 ウ心ヲ思ヒサマシテミレドモヤメラレヌ也人―是ヨリ夕顔ノテイ也アサマシ
 クトハ人フビンナ事云様ナレドモサニ非スタ顔ノアツサリトシテナンノ思慮
 分別ナヒ惟アサイコト也

(○カツハ如何日スコシハ也又ハノキミモアル也)

【四七ウ】

和―ヲ、ヤウニ和也モノ―モノ、深ノ重ノト云方ハ次也一向ニ若ビ夕顔十
 九歳也マダ男ナレヌト云様ナ者デモナヒ一旦縁ニモ付様ナリイト―レキ、
 トハ見エヌ也元ヨリ三位(サンミ)ノ中将ノ女也中将ハ清華羽林家ナレドモ
 レキ、ナレドモ一タイノ生付モノフカク―故ニレキ、ト見エヌ也源推量
 也ドコニ心止ゾト思カヘス也前ニモサマデ心ノトマルベキサマニモアラズト
 アル思ヒサマシテ思ヒカヘシ、テミレドモ止メラレヌ也イト―源氏ノ通フ
 御ヤウスガイト―コトサラメキテハワザト也平生メサヌ様ナ疎略ナ者キル也
 カリ―ハ狩衣也カリ衣ハ馳驅ノ為ニスルトアル身ガルナ為ニスル也衣冠ノヲ
 シハト角重々シウスル也カリギヌハカル、シウスル者故ヲ忍アルキノヤツ
 シ姿ニハヨイ者也御ソハギヨ衣也フク面シテ顔モロクニミセヌホノカニモミ
 セヌ也夜フカイ程ニ夜フケ行キ早フカヘル故ニ昔―是モヘンゲトアレドモ
 ヘンゲトヨミテヨイ也

(○私考曰ヤツシタルカリノ御衣ハ御ナヲシヲ狩衣ニヤツシ玉フトノ心也ト
 イヘリ)

【四八才】

日本(ニホン)紀()ニモ天神御先祖()ノノミノ宿弥(スクネ)相撲
 (スモウ)ノ相手ニ小野(ヲノ)蹶(ケ)速(バヤ)ト云アルクヘハヤト
 点付日本紀ノ点ハ故事記ニ依リ付日本紀ノ点ハ慥ナ者也ソレニクヘハヤト付
 是モクヘハヤトアレドモケバヤノケヲノベテクヘト云也ヨム時ハケ也名ハナ

ノラズ夜フケ来夜フケ帰故昔シアリケレハ三輪ノ明神ノタトヘ也夜フケテ
 曉カヘル能人ノシル故事也ウタテ思ヒナゲドモ人ノゴヤウスハ源氏
 ノヨウスハハタハ助字也テサグリニモ貴人トハミエル也シルキハイチジルイ
 也誰ドウシタ官ナラドウシタ位ナラドレ程デアラント思也猶誰バカ
 リニカハアラントハ疑ドモ猶疑ハスレドモ猶心アテニハ惟光ハ夕顔ノ内ノ官
 女ニ密通シテ通故コレミツシ出ス事トハ推量也惟光ハ五位故大夫也抄ニモ民
 部ノ大兼(輔)故車ヘン書ト云説アシイ也民部ノ大輔ニハ後ニナル也此時ハ
 民部大輔ニナラズ惟五位故夫(づ)ノ字テヨイ也コレミツカラト疑ナリ

〈○夕顔ノ卷ノ末ニケンゾクヲクヘンソクト書アル也〉

〈○日本紀ハモト古事記ニヨリ書故其心デ訓点ヲ付也古事記ハ日本紀ノ如ニ
 文カザル者ニ非ズ〉

〈○十七丁ヲ誰ハカリニカハノカハハ歟也疑也ハハ付字也故テニハナリ〉

〈○セメテハ如何曰キツウ也〉

〈○カケテハ心ニモ詞ニモカケテ也〉

〈○タユマズハ上ヲ承ヤ曰下ヘツク也我モタユマズ好色シマワル也〉

【四八ウ】

アチラハ疑ドモ惟光ハセメテキビシウ顔色ニモアラハサヌ也ツレナクハ不変
 ト書也中々ソレハシラヌト云也中々心ノハシニモカケテシラヌゾ也油断モナ
 フ也タユマズアザレアリケバ大夫ヲ疑ナガラ惟光ハシラヌト云故如何ナル事
 ニヤト心得難トツバク隔句也源氏ノ方ニモ誰トモシレニクイ女ノ方ニモシレ
 ズカウタガヒ一女ノ方カラ思ヒスル心ユキスクナヒトテモノ思ヒスレドモ源
 氏ハヨフ通ヘドモ世間トハ違タモノ思ヒスル也君モ源氏ノ思召ヨリモカク
 ノ如クウラ表モナク我ニ打ナビイタ様也我ヲ油断サシテ何方トナクハイモ

ハイワタルト同様也コツソリトヌケテイナバ何クヲハカリト尋シランカト思
 也カリカウシテ来テ居ルハカリソメニフルトミユハタハ助字也イツカタニ
 モーイツ方ヘ移テ行日ヲイツトシラヌ故心モトナイ也ヲヒ一ヲヒ失(ウシナ
 フ)テト云様也ソフデヨイハト十分ツライトモ思ハヌ也カバカリハカクバカ
 リ也ソフ思ベケレドモソフ思ハレヌ也サウシテイナシテ

〈○アザレハザレアルク也アニ心ナシ〉

〈○君モカクト句ヲ切也ウラナクハ夕顔ウラナクタユメテ也油断サシテ也〉

〈○私考曰タイフハ大輔ニシテ是モ中藤ノ女ノヨヒ名ナリ兼道按師説トカハ
 レリ一説也〉

【四九オ】

スゴサントモ思ハレヌ残多カラント也人目アル故毎晩ハエ行ヌ也イトコラ
 ヘ難勘忍シニクイ也猶心クルシウ思故此ウヘナガラヲノレノヤシキヘツレ
 ユカント思也タレトモシラセズ二条一若一帝ヘモ聞エ葬上左大臣殿ヘ聞エテ
 モビン一タヨリモナヱ(イ)ワルイ首尾ニナラントモソレモソノハヅノ因縁
 ナラント思召様也我心ナガラカヘリミミルニカクノ如ク人ニシムコトナヒニ
 イカナル縁ト思也イザイザイト心安イコンナサハガシウナヒ処ヘツレユカ
 ン静ニ物語デモセント也猶合点ユカヌ也下地サヘ合点ユカヌニツレ行ント云
 ハ猶也ヨノ方ヘセ間ノ方ヘツカヌ也ヲマヘノハセ間トハ違名ハナノラズ
 顔ハミセズヲソシウバケ物ノ様ニ思ト若ヤカニ云也尤ト源思也ケニソフ
 云ヤルハ其方ガキツネ歟ワレ狐歟我ウカノト来テ迷サルハ其方ガ狐歟我カ
 狐歟トチラ狐ゾシラヌ也ナハ助字也タゞ我ニバカサレヨト源

〈○イザ清(スム)トイヘドモソレデハ聞エヌ也人ヲサソイ立詞故イザナリ〉

【四九ウ】

云也女モキツウ源ニナビキドコヘナリトモユカント思也ヨニ源ノ心ニカウシタコトハ世ニ類(タクイ)ナクカタクナ也頑愚ナ事ナリトモヒタ一向ニ従ハフビンゲン人也猶一哀ゲナモノ和ナ人トミルニツケ猶一頭ノ中将ウラミシラヌサマニ云トアル也トコナツハ夕顔ノヨム哥ヲ頭中将カタルコトアル也夕顔ノトコナツノ哥ヨムヲ取出シテモノ語シテトコナツノ哥ヨム女ナラント疑也頭中将カタラレタ心ザマヤウスヲ夕顔ミルト思出サレ心アタル也忍一サゾカクス子細アツテカクサント思故強テ問又ナリケシキバミテ夕顔ノ頭中将ニハニゲタレドモケシキニ立テコソムキニゲテイヌルトハ我ニハソウハミヘヌ也カレワガカレニシテトダエ通ズハ心一此方ニ心カハラズハ夕顔ハカハルマイ若我心ウツロウコトアリ夕顔イヤナリ脇へ心ウツロハハ一也若我心サヘトアノサヘデイヤウ夕顔ヲ思事フカイ也八月十五夜一比ハ八月十五夜也ソウ

【五〇オ】

タイ道家(ケ)ニハ陰陽會合ノ忌日アリ八月十五夜ハ忌日也男女會合スレバ必命短ト也立春除夜二季ノ社日夏至冬至秋分春分十五日晦日朔日イクカノ日女ニ會合スレバ五年ノ命チム三年ノ命四年ノ命チムト云也別シテ八月十五夜也然ニコンヤ會合也夕顔死ナンハシ也クマナイ月ユヘニソマツナ家故ニヒマノ多アル板ヤ也月ガ板ヤノ中へ入ル也源氏ノソウシタ処見習又也珍イ也暁一昨夜故ナルベシ也スイ量也月アル故シレネドモ暁ニナツタソウナ也隣一五条下京故トナリカルシイ賤居ル家也目サマス故暁近ナリニケルナルベシト源推量也八月十五(夜サム)ノ時分也コトシコ年ハ商売ナイ也此註ニ田島ノ作りモノ也トアルコレハ田島ノ事ニ非スナンデモシヨサ也是ハアキンドト(ト)見エ井ナカ一是デミレバアキンド也田舎(イナ

カ)ヘカヤウ心アテナヒトクヤム也イト一也北一

○事林廣記二道家會合ノ忌日故書テアリ十卷アリ和本也

【五〇ウ】

隣ゴシニ咄(ハナシ)スル也北ドノヲ女房ヲ北堂ト云故女房ニ對シテ云トイヘドモソレハアシイ也カベゴシニ咄スル也イト一己同土ガ壁隔テ商買ノ咄スル也夜アケル故オキ抜シテソヨトサハグ也程一ハ源ノヲク処へ近也女夕顔ノナニヤラキノドクナ事云トハヅカシイ也エン一風流立六条ノ御息処ト云様ナハキエ入様ニツライワビシイ也サフデハアレドモ夕顔ハノドヤカ也ツ一源ノ顔カクシ名ナノランハツライ也カタハラ一隣ノ用意ナヒブ遠リヨモ苦ニナラヌ也我一夕顔ノモテナシアリサマハイトアテハカニヨイ也コノコハ巨(キヨ)ノ字也ヲヤウ也又タグイナヒ隣ノブエンリヨノテイヲイカナルドウシタ事ヤラシラヌヤウス也中々ソレヲ恥ヲ隣ワビシイトテ恥シガルヨリマシジャト也ハチカヤクハハヂルヲ色へ出ス也コホト一モハヤ四方夜アケル故米フム也是モゴボト濁ル説アレトモアシイ也ヨミクセハスム也イカ様ゴウト云

○北ドノノドノハ今云殿(殿)様ノ殿敷日シカリ前ノ中将殿コソノドノト同アガマヘルキミ也

○コソハ如何日先ノウコンノキミコソノコソト同コト也キタマフヤハコチヨリ云ヲキタマウヤト云コト歟日然リ

【五一オ】

様ナ音ナレドモヨミクセハスム也カミナリヨリゲウサン也枕ノ近邊ニフム様

二聞エル也アナー夕顔ヲ氣ニ入故外ノ事ヲ耳ニ入ラン也此カラウスノ音ハイヤジヤト思召也ナニノ音カシラヌ也源氏アタリデカラウス聞事ナヒ也イトアヤシウフシギナゲウサンナ也ヲトナヒハ唯音也クダ／＼ソレヨリサ、イナ事段々アル此家下作ナ事多也クダ／＼ハ少サヒ事也

十九丁ウ二月六日會

△白妙の―カウ／＼―八月十五夜ノ事也前ヤ隣同土モノ語ス聞ニクイコトアレドモ源氏ソフ思召ス是ニハ耳カシマシイト思召コトト元ヨリ聞ニクイヒコトモ夕顔ニ心フカヒ故ニナントモ思召サヌ也ハ耳ヤカマシイ也クダ／＼シキ事多クアル也ク・ア・カニツ・ム也クダハチヒサイ事也白妙ノ―初ノトナリ同土モノ語ハ近也コノキヌタ雁ノ声ハ遠方ニ聞エキヌタハ八月十五夜カラ打モノト古来ヨリ云侍也コヨヒハ十五夜故歟又ソウナウテモ宜イ時ハ前ヨリモ打ベシ衣(キヌ)ハ正色(セフシキ)ハ白也キヌハ白故

〔○クダ／＼ハクタケルノ心歟曰イ伊物デクハシク云クダカケト哥ニアル也少サヒユクダト云也クダケルモコレカラ出トミユ漢書張熹傳二碎ヲクダシト点ス然ハクダケルヨリ出歟併一禪クダハチヒサイ者故トアル也〕

【五一ウ】

白妙ノキヌタナレドモ是ハモヤウニ白妙ト書也アチラニモ聞エコチラニモ聞ク也空―ナニヤカヤ忍―ハ堪忍シニクイ也秋事故バ処ガラデ忍ガタイ事多アル也ハシ近キ―夕顔ノヤドハシ近処故ニ源氏ノコザ被成処ハ高ヤリ戸ハ七尺五寸間大キフテ源氏杯ノ手ニアハヌ也是ハ小サイ手ニ叶フ処故◇(自)ヒキアケ玉フ也夕顔トゴ在処屋ノヤウス見ワタシテアル也程―夕顔ノ家故屋ヒロフナヒ也ザレハ風流ナ所也シナヘタ処風流ニミコト也ザレタルハヤセタル也瘦サラバウ也両説也ウヘゴミニ置露ハ源氏常ニミル大ナ屋モカ様ナ処モ同コ

ト也虫―松虫鈴虫杯サマ／＼鳴ソロハヌ者故ミタリガハシ也カベノ―此デキリ／＼スト云コウロギ也平生児ドモ云キリ／＼スニ非ス七月野ニアリ八月◇(宇)ノ井ニアリ九月◇(戸)ニアリ十月)床ニ入ルトアリ詩経ノ蟋蟀ト云ガコウロギ也冬宜フナル程次第二近ク入りカベニスガリ鳴者也十月床ニ入ト云ソレ故カベノナカノキリ／＼スト云也源氏ノヲル処ハ近フヨラ

〔○私考曰白キアハセハキヌニシテ薄色ノナヨ、カナルトハウハ著ナリト先註ニ見エタリ其ウス色トハ必ウス紫ヲイフ只紫トシルセルハコキ紫ト心得ル也ウス色ニモ織モノ染色ノニヤウアルナリ織物ハ経(タチ)ムラサキ緯(ヌキ)白ナルヲウスイロトイフ〕

【五二オ】

ヌ者也小家デナケレバ近フ鳴ヌ也コ、モトハ夕顔ノ宿故近フ聞エルソノ指アテタ処ニ近ク鳴モ中々ハ却テ也ケツクヨウスカワリ面白ト思召也御―夕顔ヘノヲ志フカヒ故ソウシタクダ／＼シイ事モ却アハレトモ思召ハ夕顔ヘヲ志フカイ故ニ也白―夕顔ノ其夜ノセウ束也夏ナレバヒトエカサネキレドモ冷シフナリ夜陰ノ事故白キヌノアハセ也是ハ下著(シタギ)デ上ニキルハウス色ノ―也上(ウハ)ギ也云バカイ取(ドリ)ノ様也処ニヨレバ紅(クレナヒ)ナレドモカウシタ処ハ紫也是モ紫ト見ユナヨ、カナルハナヨ／＼トシテトナレタ様也花ヤカ―ト云デウス色ガ紫ト見エル也紅(クレナヒ)ハ花ヤカ也ハナヤカナ出立ナラネトモイト宜見エル也アヘカハアズカ(ナヒ)井ミ也夕顔容儀キツトウルハシイヨイト云デモナヒ也ホソヤカニ―ホツソリトシテタヲ／＼トシテタハム井ミ也和ナ事也モノ―モノ云テイガアナーモチツトハツキリト云タラヨカランカイナヒ也(ト)思様也源氏ノ脇ヨリキテモ笑

（○廿丁ヲコノカシモ心ナシヤ曰然リドコデモ疑コトナシ）
（○廿丁ヲケハヒ如何字ハ衆勢カトドコニモ書ナリ訓ハシラスケシキノケナ
ランケシキケハイ氣ナラン）

【五二ウ】

止ナ様也云ニクソウニ云也アマレ和ナ故ニ心バミハケシキバミナドノバミ也
チツトシツカリトシタ処ソヘタラバ也猶ソレトモニ猶打トケ後トユルリト
久長フモノ能タクム隔ナヒ様ニシテミタイ也イザイザハサソウ也イザコザ
レ是ガ六条河原ノ院ヘ御同道ノ心デカウ云也コハハラウガハシイ也近キヤ
敷ヘ行コヨヒ明サント也カ様ナ処ハヨルハ夜フケテ来朝疾カヘレバ心苦イ也
イカデカ―イカデカコン晩急ニハ参ラレマイガトノドヤカニソツシリト云也
コノヨ―今生バカリニ非ス未来迄ノ契也頼メハ約束ノキミ也先ヘ頼ミニサス
也モトノ訓ハ頼ミナレドモタノメト云ハ約束也頼メテ約束スル也謡（ウタイ）
ニウタウモコレ也元ハ頼ミ也タノメハ頼ミニサス也打―夕顔モ打トケ源氏シ
第二サス也セ間ノ人ノ様ニナヒ也アズナヒ人故セ間ノ人トハヨウス違合点ユ
カヌ様ニ打トケル也源顔カホミセヌニ未来カケテ契ハハヤ打トケルハセ間ト
違也ヨナレタル―アイラシウ見ユレドモ男ナドニ逢タ

（○タノメハ哥ニモ多アル也）

【五三オ】

人トモミエヌ也縁ニ付トミエヌ也サレドモ頭中将ニ逢子迄アル人也人ノ―セ
間ノ人ノ評判モエハバカラヌ也右近―メノトノ子也乳兄弟也隨身ハノシノ車
ニツクケ来也右近ニ隨身ヨビテコイト云也隨身ヨビソレニ車コチヘ入レヨト
云也ミ出ス処ノ表ノヲマシ処コウランノキハヘ入也此―ハ夕顔ノモトニ居ル

女中方ガカ様ニ源ノ親切ニ思召ヲ慥ニミ届ル故合点ユカヌ顔ミセズ名ヲナノ
ラネドモ先貴人ト見エコトニ志フカウ思故ニ也明―アケ方近ナリ巳ニ夕顔同
道セントスル也六条河原ノ院ハ今ノ柳ノ馬場下京（シモゲウ）故近辺ニ家ナ
ク鳥ノ声モ聞エヌ也是ハ夕顔ノヤド也ミタケサウシノ声ト鳥ノ声ト對（ツイ）
シテ鳥ノ声ハ聞エネドモミタケサウシノ聲ハ聞ユト書アハシタ者也ミタケサ
ウシハ山上（）参也金峯山（キンブセン）ヘ参ルハ千日セウジン修（シユ）
行シテ参也ミタケサウシハカネノミタケソウジト云心也ソレソウナ也老人メ
ク聲也ヌカヅクハ仏ライ拜スル事也ヌカヅクト◇（抄ニ引）万葉ニモ

【五三ウ】

ヨム額（ヒタイ）ヲヌカト訓ズルヒタイヲヌカト云ソウ也ツクハ突ト云字也
額（ヒタイ）デ坐（ザ）ニツク也スレバ頭（カシラ）地ニ付事也タチキ―オ
キナビタル聲故老人故タチタリ居タリ礼拜（ライハイ）スルソウ也辛勞ソウ
也コタヘニクソウニ聞エル也朝露ノ様ナ身ナルニ殊ニ老人ナルニ後世ノ事
貪（ムサボル）歟命ムサボル歟ト聞ニナム―金峯山ハ藏王（ザヲウ）権現也
藏王権現ハ本地（）ハ弥勒（ミロク）也ミロク菩（ボサツ）ハ薊（當）来
ノ導師トテセ間出来テ衆生濟渡（サイド）スル仏也後ノセカイニ出ル仏故當
来ハマサニ来ルベシトヨム未来セ界也南無（ナム）ハ歸（キ）命（メウ）ト
翻（ホン）ズナムキメウハ重ル也南無ハ我ヲ助ケ玉ヘト云事也カレ―ソコデ
源氏被仰ハアレカレ五音通ス前ノ聲ヲアレキ、玉ヘコノ老人行モ尤現當二世
ノ祈デモアランガ先コノヨトノミハ―セ界ノカハル処迄頼カケント云也
「○ウバソクガ―源氏ノヲ哥也ウバ塞トハ四種ノ佛弟子トテ俗デ佛道

（○廿一丁ヲ唯オキナヒ―タバハ如何曰鳥ノ聲ハ聞エデ唯也）
（○帰命ハウチマカスキミ也ナムキメウハ重ヲ云ナリ）

【五四オ】

修行スル人ヲ男ヲウバソクト云女ヲウバイト云隣（トナリ）ノ人俗デ山上（一）参スル故ウバソクト云也隣ノ老人未来カケテ祈ヲ聞コンドノ世クルトモ契タガウナト夕顔へ被仰也長一是ハ玄宗皇帝ト楊貴妃ト長生殿デ天ニ在テハ願（クハ）作ニ比翼鳥在レ地願作「連理枝」ト契ハイマ／＼シクテ也死ヌル故也長生殿ノ契比翼鳥連理枝ナレドモソレハアシイ故ソフハ契ラズ五百生ノ末ノ世迄契迷マイト也久事ヲカネ玉ハ今生ト先トヲ両方カネル也是カラサキ未来迄ト也イトーヲビタ、シイ也ツイ生（イキ）カハルト云事デナク五百生ヲ契ハヲビタ、シイ也

一〇先ノヨノ夕顔ノ返哥也先世（センゼ）ノ宿業（ガウ）故ワビシイ処ニ居ル様ニヲチムレアル現世（一）見テ過去未来ヲ知ルト云事アル故今我ウイヲ以テミレバ先ノヨモシラレル今生沈アレバ未来沈ハシレタ事也行末ノ事モ頼ミガタナヒ也現ゼヲ思ウ来セラシル（レ）故也カヤウノカウシタ哥ヨムモ心モトナヒ也

（〇五百六十七万歳ノ後ニ弥勒出ト也釈迦ノ時分ヨリ也）

（〇コチタシノ訓如何日シラス古語也今云又詞也抄ニ万ヲ引事疼トアリ如何日疼ハ風ヲイタミハキツイコトキツイハ大キヒ事ニモ通也）

【五四ウ】

是ハ明晩十六日ノ夜死ヌル人故コンナ哥ヨムモ前ヒヤウ也ソフアレバ也イザヨフ一先イザヨイノ月ハ十六日ナレドモ必十六日ニ限ズナンデモモノ猶ヨシテタメラウハイザヨフ也今夜（コヨイ）ハ十五日也イザヨイ出難ニ非ス月ハ山へ入ルニ入りニクイ也十六日ニハ出難キミデイザヨイト云也「武士ノト◇（抄ニ引）ト万葉ニヨムモヤスラウ事也ユクリハ訓ハユヘクル也アテドナ

カムセウニユク事也カクガレンハアコガレニケルト云コト也アハ発端ノ詞ムネイタメムセウニ出シヤト也心火ヨリ出ル訓也ウカ／＼出ヲ云也源氏ニ多詞也トコへ行ヤラシラヌ故女ヤスラウ也トカク一ハ源トカク進ル也是ヲ女ハトアルヲ女モト云本アル月モイザヨウ故女モイザヨウト云説アレドモソレアシイ也月ハ景氣也ヤスラウハ女也別（ベツ）々ノ事也段々ヲ進ナサル中ニハカ二月山ノハへ入ル風流ニ面白也一向ニアカク成ヲハフソウ也忍（ビ）車故也例一イツモ急デ夕顔ノ宿ハ出故ニカノ車ハコウランへ付アル故カロ

（〇ユクリナクハ不意ニ也思ヒガケナウ也訓如何師説面白ナシソノユヘヲクリ出シモセズニ也コレヨイヤシラズ）

【五五オ】

ラカニ一也平生ノ車ハシバニ乗レドモ貴人ノセルハコウランヘヨセル也夕顔カローラカナ人故コガルイ人故ニ源氏ヒンダカヘノセル也右近モツイテノル也夕顔ノ宿ハ五条也六条ノ河原ノ院ヘツレユク故近也ナニガシ一名ヲ指ヌ也今タレカレガト云ト同事也ソンゼウソコノ院也融（トヲル）公ゴザル河原ノ院ナリソノ心ヨセデ書也アヅカリ一彼六条ノコ殿アツカツテ居ル人也門（カド）ニシバラク付テ看テソトノヨウスミル門ナドスム人ナクテシノブ草ノキニシゲル也シノブハコケ也高イ家ノ古ウナリシノブ草シゲルヲミアゲミレバ也タトシヘノシハ助字也タトヘナクタレ枝ヲロス者ナククライ也霧一朝ノケ色也八月ノ時分ナレバ霧モフカク露ケキ也スダレ一モノミノスダレアゲミル也霧ヤ露デ袖ヌレル也マダ一源ノ詞（コトハ）也カウシタコトニツイニアハヌ也心ヲ尽シテ苦勞スルコト也此詞ハスグニ哥ヘツケテ「古ヘモ一古人モ此様ナ戀ニハ迷歟少シ疑也此ヤハハカリヤ也

（○私考曰拾芥抄河原院六條坊門南萬里小路東八町云也融大臣ノ家也後寛平法皇御*所本四町京極ノ西号ニ東六條院ニ）

【五五ウ】

イツモノヤハト違也古ノ人ハカウシタコトアツタカ也ソコ元ハカウシタコトニナレタカト云女一夕顔モ元ヨリ十九ノワカヒ人デアハヌハヅ故也一説ハ迷ヒケント云ヲ頭中将ニアテソコ元ハ頭ノ中将モカウシタコトアルカト云故ニ恥ト云トモアシイ也惟カウシタコトニナレルカト云故ニ恥ル也アケ方ユヘニ山ノハノ一也

○「山ノハノ心モ一山ノハノ心モハ源氏ニアテ云也山ノハハ源月ハワレ也山ノハノ心ガドウシテ心底シレヌ心底迷ハワレハキエテ山ノハヘエ入ルマイ也是モドウヤライマノシイ哥也前ニカウ也心一ヤシキノサマズザマシウ大ナヤシキアレタ処故ニ心一也カノ一夕顔ノ宿デセバイ処デ大勢ヲル故ニカウシタ●（処）ヲソレント思也御車一御車ヲ引入レテ西一ナトゴラン作ハ南向ニシテ車ノ臺西ノ臺トテソヘタ家立ル者也本ヤハ母（モ）ヤト云武ケノシヨエン也ソレニ

（○哥ノワガヲワレト云テハアシキヤ曰ワガトハワレガト云コト也）

（○哥此カゲモ即月ヲ指ヤ曰然リ常ノ夜ノカゲト云ハ光コモリアル月カゲトヨメバ光コモリアル也箒木ノカゲウサマレルモノカラノカケハ影バカリ也此カケハ光ハアレトモ光センニナラズ此八月テイニナク影ニ非ヤ曰然レドモシヒテ分ズトモ下ノカゲモ即月也）

【五六オ】

西ノ臺東ノ臺ソヘルソコニシバラク立コト也右近一右近心ニマンゾクニ思也

カウシタケツコウナ処へ誘引ナサル故エンナ風流ナト思也頭ノ中将ノコト思出ソレヨリマダケツコウナ事ト思也アヅカリハヤシキアヅカリ也ケイハハツハト云テ源ニハイマハル也命ツ、シムト書被仰付ヲウヤマウ也コノ一源ト云コトヲ右近モ夕顔モ後トシル也ハテヌハ終ルト云コト也ホノノ一モノミヘル時車ヨリヲリル也カリソメ一急ナコトナレドモキレイニヤシキモリスル也フビン一是カラハ与リノヤシキ指云コト也ヲ供二人スクナヒ也ビンナヒコトジヤト云也ソフ云者ハ源ヘムツマシイ源ノヒ官也両方ケン帯シテ与フル也惟ハケイシトヨム下（シモ）トアル故ゲイシト云也ヤシキアヅカル人也シモケイシデソウシタ源ニ仕ヘ此トノハ葵ノ上大臣殿ヘモ出入スル者也源ノソバヘヨリテタレソレタレソレヲヨビニ遣サンヤト申ハジキニエ云ズ右近デモ頼言云也人

（○私考曰シモケイシハ下家*司ナリ古ヘハ當官ノ三位以上ニハ家*司（ケイシ）下家*司大*従少*従大書吏小書吏ヲタマフト云々）

【五六ウ】

ハイランソレ故ワザトコ、求テクル也コトサラニ此（其）方カ一心ヨリ外ヘモラシテクレナ也御カユナト一古ハ惟今（イマ）ノ様ニ朝カラ飯（メシ）クフ事無也貴人ハカユ喰晝ニモナリコハメシト云◇（コレ）今日ノメシ也早天故ニカユ也カノヤシキモリコシラヘカユ上也貴人ヘハ配膳トテ下ヨリ上ル者取ツグ者キウジノ者段々アレドモコト人故取ツグ者コトタラヌ也カウシタコトニマダアハヌ旅ネ也オキ中川ノ一是ハ抄ニモアルフルキ哥也鳩鳥（ニヲトリ）トハ今云イツラウツブリ也小イ鳥也人音スレバ水ヘハ入者也鳩鳥ヲキトツ、ケレバヲキハイキ也日本紀ニイキヲキトヨム神武天皇名ヲ「」ト書ヲキ「」ミコト、ヨムイツラウツブリハ水ニハ入息長者故息ノ長（ナガイ）

トウケオキ中川ト云也沖中川ハドウシタ者ナレバ或ハ大ナ川ガ山ノフモトニ流レアルニ其中(ナカ)へ谷川流テ落ル潮(シホ)川デモ水川デモ也谷ヨリ落ハ一筋立ヲ落也初ノハ潮(シホ)デモ落ルハ沖ノナカ迄モマ水ニナリ流レ行是ヲ沖中川ト云也

○鴉鳥トスムニ心ナシヤ曰イ、ツケ也引哥君ニカタラウト云ハカタラウハ語歟曰相カタラウ也語ルガ体ハ体ナレドモカタルノミニ非ス夫婦ノカタライ也サレトモ詞ハ語ルヨリ出ナリ

【五七オ】

是ハカミカラハ谷ヨリ落テクル水故絶ルコトナヒ川也ソレハ若絶テモ君トカタラウコトハ絶マイト云タトへ也末デカハルマイ此方ハト云コト也日一先ヲ出ナサレ早速ギヨシンナリ日タクル時ニナル也人ナヒ故ニ格子手ヅカラアゲル也イト一元ヨリ人スマヌ処故アレタル也庭ノケ色遠処ハハル()ト見ユコダチ一人スマヌ処ナレバウトンジタイ也イヤ也モノフルアル也遠処ハ猶ソウ見エル也草ハヘヌ方也ケ近一ツイソバニアル草木ハ秋ノ野ラデ色カハル也池ノ水草トリステル者ナヒ也ミクサハ水草也源氏被仰詞也人ゲノウトイモノサビシイ也別納一別納ト云ハ御殿ハ御殿デ引ノキ間五間十間モ置別ニモノ納メル処デモノヲキ也ソレニツ、ケ長ヤヲシテヤシキモリノ子ヤ妻ヲル也サウシハヘヤ也コナタハ一源ノヲル処ハトバナレテアル也源被仰ハケ色ウトウ成タ也亡殿ノジブン宇多天皇モラウ時ハニギハシイガ今ハヲウトウナルサリトモカウシテアレタ処ニハ狐フクロウ

○抄筋カ河ノ説トハ如何曰覺エズ何分非説也

○ノラノラハ付ジ歟曰然リ惟野也此引哥ハ古今也僧正遍昭也

○テンハ心ナシヤ曰然リ見ユルスナラント云コト也ミテンシテンナド多アル詞也ミナ心ナシ

【五七ウ】

コタマスムトイヘドモ我ヲバ一夕顔ニ落ツカサントテ被仰詞也天子ノヲ子ナレバ也顔ハ一是迄フク面シテ面ミセヌ也女ノ一夕顔ノ怨シ也是◇(ホド)迄ニナルニヲ隠シナサルトテ怨也是程迄ニナリ隔ル様ナヒ也カバカリハカクバカリ也ワケ違タ様ニナリカクソウ様ナヒ也

○夕露に一ヒモトクガフク面トルヲ花開クニタトヘ云也花開ヲヒモトクト云ソレヲフク面トルニタトヘ云也五条ノ夕顔ノ宿デ道行ブリニ夕顔ミルソレガ縁ニナル也玉ボコハ道ノコト也今カウハヨマレヌ也玉ボコトノミ云也道ノコトニナラヌ也露ノ光一ハ聞エニクイ也露ノ光カトカニシテミレバ能聞ユ其時分ノ心アテニト云哥扇ニ書テ出ル心ヲ源ノ被仰ハ其時分ノ光ソヘタル夕顔ノ露ト云其光トハトウゾソウハ見(ミ)ヌカ也シリメニ一ハサスガニハジライミヌ顔シテミル心也

○光アリト一是ムツカシイハ最初ノ心アテニ一ノ哥ヲ抄ニ夕顔ノ哥

○光ヤト云モ光ナルヤト云詞ハ同コトナレドモ今デモノノ時ノ光カト云ハ通易也光ヤト云テハ聞エヌ様也ヤトカトカハルコトハナケレトモ聞エニクイ也

○ミヲコセテハ如何曰アチヨリコチヘ見ヲコス也目ヲヲコス也

【五八オ】

トアレドモ官女ノ哥也此光アリトトハ其時分ノ光トヨム其露光トハドウゾト初ノ哥ニカケテミレバ初ノ哥モ夕顔ノ哥ノ様也サニ非ス光ハ初ノ哥ニカケ

ズタトへ官女ノヨミテモ夕顔へ談合スベキ也最初源ノ車立時モ夕顔ミ又事ナ
ヒ也是ハ初ノ光ソヘタルノ哥ヲハナレソレハソラメ也今ミレバウルハシイ也
其時分ニミルハタヅ(ソ)カレ時デソラメ也今日ミルハウルハシイ也ヲカシ
ハ風流ナエンナト思召也ゲニトハ哥ニソレハタソカレ也今日拝スレバウルハ
シイト云ヲ承テゲニ哥ニ云返源ノ御ヨウスハサビシイ人少ナヒ処デハマイテ
ハマシテ也忌(イマ)ノシイ程ヲソレ多迄ミエ玉フ也モノ、ミ入レアル程
ミゴト也ツキセズ一夕顔ニ源被仰ハ夕顔モ名ヲカクス故此方ニモ腹立故私モ
顔ミスマイト思也此方顔アラハシテアル程ニ今ダニ名ナノレト云也ムクツケ
イハヲソロシイキミ也ムクツケイハ虫ノ土ツキアゲル様也蠢ト云(字)也
ムクノスル也アマノトカクソレデモ

〔○ソラメハミゾコナヒノ事也字ハ空ノ字也〕

〔○処カラハ凶宅ニテサビシイ処也荒ハテ久スザマシイ処也ヨイ人居ラヌ処
ニヨイ人居ル故ニ猶ヨイ也〕

〔○マイテハマシテ也イトシト通也〕

【五八ウ】

名ノラヌ也万葉ノ哥ニ白波ノトヨム哥アルソレ承ケアマノ子ナレバ宿(ヤ
ド)ナヒト云ヲ承宿ナヒトハカルイ者ト云コト也モノ和ナ生付ナレドモナン
ボデモノノラヌナレバサスガニ也アイダレハアマヘル事也此モトデハ云又詞
ナレドモ上方ニテハアマヘタヲアイダレ者メガトテシカル事也ヨシコレモ
ワレハ源ガモトカクシタ故ワレカラ也ワレカラハモニスム虫ノ哥ノ心テアマ
ノ子ノカケ合也ウラミ一ウラミタリモノカタリシテソノ日クラシタ也惟光一
惟光アトカラ尋キテ菓子(クハシ)ナド上ゲル也右近一ハ惟光ヨクミシル惟
光ガ己ガ恋ノ様ニシテ夕顔へ云ヨリ源通ソレ程ノ事カクスト右近ウラミン

カトテ源ノソバヘエ近ヨラヌ也ヨレバ右近ヲル故也カク迄一コレ程ニ源ノ夕
顔ニツキマハリアルクヲ氣ニ入ソウナト悦也サモ一夕顔ヨウキヨヒト思ナリ
我一我(ワガ)初メカラ夕顔ニ云ヨリ付ベキニ源ニユツリテ心一ハ心ハヒロ
ウナリサツハリトシタ也メサマ一デ惟光スコシザン念ナキミアル也タトシヘ
一

〔○カタライハモノカタリ敷外ノ事ニ遣コトナシヤ曰コ、ハモノ語也サレド
モモノ語ソノ中ニモノアル也語ノジカク如何日モノ云ジナレバヨシソノ中ニ
話ノジヨイ也〕

〔○イトヲシケレバトハ初右近ソ侍故笑止ナキミ也カナ物語ニ源氏ナド処ニ
ヨリチツト氣ツケミヨイトヲシト云(イ)今デモフビンナコトニモナリア
ノイトヲシト云テ笑止ナ事ニモナル也〕

〔○ハシノスダレ如何〕

【五九オ】

十六日ノ夕榮也タトヘナク也物ニクラベラレヌ処故也ヒロイ家デ人少ナヒ故
奥ノ処ハ女恐ロシガル也一処ニソイフシテヲル也夕バヘ一カ様ニ源ノ召ツレ
ルヲ源トハシラズフシギデ源デアツタト思也万一万ノ事忘レ源ノヨウスミテ
万事忘也ツトトハ今云ズツトヨリテヲル也大ナヤシキデサビシイ故也ワカウ
アツナフミエル也格子一格子ロクニ暮レヌウチカラヲロシテ御トナブラハラ
ントノ井油也禁中ニハロウソクナリ竹三本ヲ足(アシ)ニシテソレニ油火イ
クツモトボス也源ノ打トケテヲノシノ事ヲナノル也猶コレ程ニナツテサヘ其
方ノ心隔カクスト怨ル也内ニ一源ノ心ニ禁中ニ親ゴ様ヲ尋ナサレンイツコニ
一ドコヘ尋ネルナラント是源ノ御孝行也且ハ我心底ガテンユカヌ事(コト)
也六条一サゾ六条アタリ御息処久ク夕顔ニ居ル故カレノニナル也マチワビ

ンサゾ怨ミラレンソレモ理リ也久ク行ヌ故也笑止ナトハ御息処ノ事モ思召也
何心一夕顔ナンノ心ナクアハ／＼シウ和也アマレ一

（○エンガハノスダレ也ソヒフシハタゞネコロビハナス也）

（○廿五丁ウムツカシイハイヤラシイ也）

（○廿六丁ヲイトヲシハ笑止ナ事也委ク云ハ御息所イトヲシクアハレニ思也
イトヲシイハイタマシイ也）

【五九ウ】

夕顔ノヨウスガ物和ニナンノフカイモノ包ナドミエヌテイ也夕顔ノヨウス愛
スルマヽニアマリ一ハ御息処ノ事也脇ヨリミテモナンギ也アチヲラストコチ
ヲトリ取捨スル也夕顔ノ和ナヲステ御息処ノ心フカイヲ取御息処ノ心ブカイ
ヲステ夕顔ノ和ナヲトル也ヨヒ一ソコデヨヒスグル時分源モ夕顔モネル源ノ
枕ノ辺（ホトリ）ニ是六条ノ御息処ノヲン霊（レウ）也ツヽクリト居テ己
（ヲノガ）ハ私ガ也私ガヲマヘヲ目出タフ大切ニ存ヲ私ヲ尋ラレセズカクノ
如クナンジヤカワル事ナヒ人ヲ時ニ逢様ニ夕顔ヲモテハヤスハ残念ナコト也
ネテアル夕顔ヲヒンダキヲコサントユメニユル也モノ一ユメ也ソノユメサ
メルニヲ目サメミレハ火一灯キヘル也其ウタテク思フ大ト刀◇（ノミヲ）ヌ
キノバニヲク也メノトノ右近ヲコス也モフルイ／＼クルケシキ違タ故也
廿六丁ウ 二月十一日

△わた殿一スコシ一源ヲ休ミネラルヽ処ニヲン霊ハ御息処ノヲンリヤウ生霊
也私大切ニ存ヲ尋ズヲ心ニカケラレヌ也カク一カクノ如ク

（○異按夕顔ヲ専ヨシトシテ御息処ヲヲトシ思ニ非ヤ如何マヽト云ニ當レハ
ソノ様ニ見ユ如何日マヽト云ニカラアル故フビンニ思故コレデモナヒモチツ

ト心ブカイヲソヘタク思也両方故捨カヌル也両方過不及ナリトリステルトツ
ヽケ書ヌ也）

（○廿六丁ウウタテハウタヽカ曰ウタテハ悪シ也是ハケシカラヌト思也）

（○私考曰太刀コヽニイヘル野太刀ナルヘシ衛府ノ人ハ衣冠直衣狩衣ノ時
野大刀ヲ帯セラル衛府ノ太刀トモ号ス云々）

【六〇オ】

顔カ如キ者ヲ也コノ一トリコロサントテ也夕顔ヲツカミヲコサントユメニミ
玉フ也モノニ一ユメサメタ也ウタテハ悪イキミ也悪ヲソロシク思玉フ也太刀
一太刀ノミヲヌキノバニ置也右近ハ夕顔ノメノト也ヲン霊出ヤシラネドモ
一タイノケ色アレタヤシキニ人少ナニナル故ヲソロシイ也ワタ殿一源ノ右近
二次ノマノ廊下ノコト也ソウタイ禁裏方ノゾウシハ廊下前ニアテアル也ワ
タ殿ナルハワタ殿口ニシテ奥ニ部屋（ヘヤ）建（タツル）也女中方ソレ也男
子ノモソレ也廊下前ニアル也コヨヒヲ供ニ参ル人也是ハ元ヨリヲトコ也火ト
ボシテコイト云ヘト也右近ニ被仰付也ヲソロシイ故エユカヌト云也火キヘフ
アン内ニヲソロシイト云也アナ一源ハ動テンセヌ也右近ワカ／＼シイナニガ
ヲソロシイト云也手ヲタヽケバヲ次ノ廊下ニネル人ヲキテコントテ也山ビコ
ハ山ニ限ラズ大カノ大ナ家ニハ山違テモヒバクドコデモ山ビコト云也コタマ
モ木ノタマシヒト云様ナレドモ木ニ限ラズ大

（○ソソクヲサシテ敷又ソソクサシ敷日サシニカラナヒ也人ニサシテト云ハ
ムサイ也指上ルト云サシノルイ也サシツケルニ非スサシ上テサシツケテノサ
シ也指出ストモ云也）

【六〇ウ】

ナ家デ手タ、ケバ山ビコタマト云也。是ハマへハ柳ノ馬場通也。山へ遠処也。イトコチヨリウトミタイ也。皆ネテアル。大ナヤシキデネテアル也。コタマヒビキアチへモ通セン也。此夕顔ハフルハレル也。元ヨリヲソロシク思ニ。此夜ノケハイ火キヘル故。マトフハ迷也。是ハドウセウト思也。汗ヲソレル時ハカウシタ者也。シトハシツトリト也。夕顔キ取失ハレ目マハンカト恐也。モノ右近詞也。夕顔ノヨウス源へ申上也。元ヨリモノヲジキツウスル生付ナリ。此本性ノセウニ箒木ノ卷ニモ上(一)ト云此上(一)ノ字書ガヨイ也。性ノ字ナレドモヨミクセホンセイノホンセウノトヨムウルサイ故。上ト書ゼウトヨマネバナラン定家ノ青表紙ノウツシ末々ノ者ノ為也。ソレシラ又定家ニ非ズ上(一)トヨマサン為也。古今ノナニハノミヅニヤクシホノト云モ三(ミツ)ト云ベキナレトモミヅトヨミクセ故。水ト書置也。是ヲ後ノ宗匠アリガタキ御ヲシヘト云也。是也。元ヨリヲクビヤウナ生付也。如何思ト云也。イト源ノ右

（○ハテハドコトモシレヌ也。五条ヨリ上ハ昔ノ通也。筋ハ違ヌ也。松原通へ昔ノ五条通也。昔ノ橋グヒソコニアル也。牛若干人切ト云処也。名跡志ニテカ様ノコト委也。名勝志ハ猶ヨイ也）

（○有カタキヲ、ン願ニコソトアルハ空蟬敷今忘レタリ安適師ト常ニ是ヲ称ス余コレヲ以テヲシテミレバ此本上モソレ也）

【六一オ】

近へ被仰ハ夕顔ハ生付ヨハイ也。カヨハクハカニ心ナヒ也。◇（源氏ニ多アル也）カヤスイトモ云也。夕ヨハイモ同コト也。ヒルモウカノト空バカリネテアル也。抄ニ病者ノ死ノ相（ソウ）見エ夕顔コヨヒ死ヌル故。前表デ空（ソウ）ミルト非也。病氣ナヒ也。是ハ平生モノ思ヒアルハ頭ノ中将ヨリハナレ源ニ從テモ名ナ

ノラズムスメハアルモノ思ヒアル故。ウカノソラミル也。是源ノ心也。我源ノ人ヲヲコシテコント也。コ、ニ右近ニ夕顔ノソバニトギセヨト右近ノ手ヲ取ヒキヨセヲク也。西ノ夕顔ノヲル処ハオクフカヒ処ヲソロシガルトマヘニアル南ノ方ノ正面ニムキ縁ガハノ方ニモロトモニネテアル。西ノ方ニハ格子スクナヒ也。正面ノ方ハ格子ニシ西東ハ格子スクナヒ故。此戸ハカツテへ近キ戸也。廊下ヲ出ナサレミテモソコモ火キへアル也。風皆サマシイテイ也。人ハ少ナク而モ風ハフキ灯ハキへ人ハ少ナク而モ皆ネイツテアルコノ院ノ初源ノ夕顔同道ノ時ニ出ル者。此院ノアツカリノ子也。源へモ

（○廿七丁ヲモノヲニヲ恐敷シカラサレハ源ノ詞ニナラズゲンノ心ニナルニ似タリ如何日モノヲ迄源ノ詞也。イトヲシヨリ源ノ心也）

（○同ウルサシノ訓如何日イヤナ事也。トハンモツラシ問モウルサシハツライコト也。訓ハウルヲイアル処ハキタナイカラ云也。又ウルハシト云モウルヲイナケレバヨフナヒ也）

【六一ウ】

葵上へモ出入スル者也。諸大夫也。此老人ノ子也。親出入ハ子モ出入スル源ムツマシフ仕事也。又ウへ童トハ源召遣ワラハ也。レキノ子也。殿上モスル者也。親ハレキノ也。例ハ前夕顔ヲ折扇ニスエクル也。イツモヲ供ニ召遣（ツレ）ラル故。レイノ也。三人皆オキヌ也。源ノコリヤノト被仰也。源ノ被仰ハシソクトボシテコイ隨身ニモツルウチセヨ也。ツル打ノヲトニハ物ノレイヲジル故。鳴弦スルヒキメイルタグイ也。惣体明来レハ暗カクル陽来ハ陰カクル也。弦打シコハヅクレハ自然ニソソナ者退ク道理也。此隨身ハ滝ノ口兼帯ト見ユ滝口ハ禁中ノケイ固故ゼウジウ弓箭（キウセン）ヲタイスル也。隨身デ滝口兼帯スル也。オホセヨハソウ云へ也。カウシタ供マワリ少イ処ニヲノシガ如ニ心トケテイヌル者

カトヲシカリノテイ也惟光コヨヒモコヌガトウシタゾトヲ尋也残リアルサム
ライ申ハナル程参レドモ何ノ御用モナサソウ也暁一我モ自分ニ用アル故朝ヲ
迎ニコント好色人故忍ビアルキニ帰ル也コノ一

（○廿七丁ヲ抄ノ引哥夢ダニモ一云心ハユメニ見エレドモサマ／＼思ラレバ
何ゾシレヌトナリナンゾ来歴アル事ナラン）

（○私考曰ウヘワラハハ侍ワラハナリ上ニイヘル侍ワラハ小舎人ワラハモ皆
同シ）

（○同ツルウチハユツルヲナラシテツカヘキマヌラシラシムル也）

（○曰滝口トハ清涼殿ノ良ニアル所ノ名也一説ニ御溝ノ流来ル水ノ口ノヨシ
也此所ニ宿衛スル侍ナレハ其名ニヨリテ滝口ト称ス是寛平ノ御時ヨリ始テ
ヲカレ藏人処ノ被接ノ職タリ是此河原院ニ宿侍スヘカラス似例ノ一体ナルヘ
シ云々）

【六二オ】

滝口兼帯也滝口ハ武士也院へ御奉公ヲ北面ト云東宮ヲ帶刀（タテワキ）ト
云禁中ノヲ滝口ト云清涼殿ニ滝口（ノ）ノ口ト云アルゼウジウアルニハノ脇
也御用アレバニハカラ往来スル滝口ニナル故滝口ト云也位ハ四位也三位ニ
ハナリニクイ也頼政（ヨリマサ）北面デ三位ニナルテウデウ四位也五位六位
モアル也今モ四位五位アル也源ノオホセ故ツキ／＼シウヨウスヨク鳴（ナラ）
ス也火一火モテコイトノ玉故火ハナヒ也院モリアヅカリノ方ヘ参ル也火ノ用
心ヨバハリニ行也イヌルハイキヌルナリ門バンノヘ屋ノ方ヘ火モライニ行也
内一源ノヲ心ニキン中ノコト思召也名一名對面トハ亥ノ刻夜（ヨル）ノ四ニ
ナレバ禁中ノソウ体ノ御（ミ）格子ヲリルヲリルト名對面始ル也名對面ハ殿
上ニトノ井ノ四位五位ノ人々殿上ノ貫首ハ藏人ノ頭也殿上髓（スイ）一ノ人

也今晩ノトノ井ノ名ギンミセヨトアルト藏人ノ頭ガ出クル也殿上ニアル藏人
頭初メタレ

（○抄ノ貫首ハ藏人ノ頭也拜賀ノ時滝口ヲ召ツレル也院ハ別也滝口ヲ院へ持
取テ武者処ト云ニ非ス）

（○ツキ／＼シウハツキノヨイト云ツキ歟曰ヨリツキヨイ人ナト、云ツキ也）

【六二ウ】

／＼ト名乗ル是名對面也ソレモ六位ノ藏人ノ頭也其次ニ又六位ノ藏人ガ滝口
ノ二行テタレ／＼ト問也初殿上ノ人次ニ地下ノ人ノ名問也名對面ハ殿上ノ人
名乗也滝口ノトノ井申ハ地下ノ者ノ名問事也トノ井申ハトノ井致ト申上也四
過故マダフケヌ也ソフ被仰付テヲ帰ナサレモトノ処ヘ入テミル也女一夕顔也
サナガラハモトノ処ニ伏シテアル死シテアル也サナガラハ本ノマ、デ也右近
ハ夕顔ノ死ガシラネドモ己ガ気分アシイ故ニフシテアル也コハトハコレハ
ドウジヤゾアナー、ナアモノクルヲシキモノヲジヤソナ事アル者カ也ア
レタル一カウシテアレタ人ノスマヌ処ハ狐ヤウノモノ人ヲソシガラセン
トテ出様ニシテミセルナランマロ一我ヲレハソソナ者ニヲドサレヌ也我ハ天
子ノ子ナレバサ様ノ者ニハヲドサレヌト右近ニ氣ヲ付玉フ也右近ウツブス故
引ヲコス也右近答ニ氣色アシクナル故ニ當分ウツ伏ニナリ氣ヲヤスメマルト
也オマヘニコソ一ハコ、デハ夕顔ヲ指テオマヘト云也

（○私考曰名タイメントハ名謁トカク也殿上ニトノ井スル侍臣互ニ名ヲ問レ
テナノルコト也滝口ノトノ井申モ名謁ト同シコト也コレヲ滝口ノ問籍トモ云
侍中群要又禁秘御抄ヲ引云々）

【六三才】

セン方ナヒキミニハ思召アラント夕顔ノ事源ニ申上也ソヨハナル程其通ナラ
 ン右近端ヨリニヲル故ソフ被仰付也ソレヨノレヲ略スナセニカウシテアルト
 カイ一夕顔火ナヒ故手デカキサグル也引一息モセヌ故源ノ夕顔引動シミレバ
 ナヨ／＼一死シテアル故グニヤ／＼シテアル夕顔返答ナヒ也イト一源ノヲ心
 也キツウヲソビヤウナ人故コヨヒノ靈ニアチヘ氣トラル、也シソク一ト云中
 (ウ)ニ滝口ガシソク持クル也右近キ色アシクヲソロシイ故ニエ動ヌ也近一
 タキグチ火トモシクル近フエヨラヌ也夕顔直(ジキ)ニミセル事女中事故ナ
 ラヌ故夕顔ノカコヒニナサル、也キ帳ヲ引ヨセ夕顔ヲ滝口ミン様ニシテモチ
 ツトサキヘヨレト被仰也例一平生ニ前近クヨル事ナヒ也惟光ナド取次アルツ
 イニ参リツケタ事ナヒ故ニナリナゲシ一敷井ゴシニソノ一間ヘエ入ン也シキ
 井コエ同ジ間ヘエハ入ラヌ也ソウシテアレドモ大事ナヒコヤノヤハ下辞也処
 ニ一処ニヨリ礼義サ法イレ

【六三ウ】

コヨヒハソレイラヌ也メシ一火ソク召シミレバ灯ニヨリ靈消ル也タバー夕顔
 ノネテアル枕ノ近辺也源ノ先程キヨシンナル夢ニミタ女也面影一チラリトカ
 ゲノ様ニミエ消タ也昔一昔ノ物語ニコソカウアルトハ聞ケ近フ聞ヌ也ムク一
 ハムク／＼トヲソロシイ也此昔物語ハ抄ニモ引寛平ノ法皇時平女ノ女シテ京
 極ノ御息処ヲツレ八月十五夜二月ミル為ニ河原院ヘ往ニカウランカラ鬼(ヲ
 ニ)来御息処ヲトラウ其方ハタレゾト云バ我ハ融(トホル)ノ靈也ト云◇(汝
 ハ臣也)我ハ天子也ソレニナゼニカクスルト云ニ靈引コム也ソレニヲヂ御息
 処タヘ入ル其ヨリ祈禱スル事岷江ニ永ク書也是ハ十六夜也昔ハ十五夜ナレド
 モ似タ事故引合也彼ハ融ノ靈是ハ御息処ノ靈也ヲノレモヲソロシケレドモタ
 顔ガ死カトヲ心サハギニヲノシノヲ身ノ上ノヲソロシコハイダンニ非ズンバ

ヘヨリヤア／＼トヨブ也ゼン／＼ニ冷ル也ナニ被仰様ナヒ也タノモシク一タ
 レニ談合スル者ナヒ也法師一カウシタ時分ニ宿主ア

〈○ヒヘエヒヘ入テト重ハツヨク云ヤ曰然リ今モ云事也何ヤラニ惟ニナキニ
 ナキテトアリ又今モミニモミテト云様ナリ〉

〈○兼道按岷江入楚引ニ江談抄ニテ尤クハシ〉

〈○又按岷江ニモ氣ハひ物うとくと書けり湖月抄も其通ニかく也〉

【六四才】

ツテ加*持スレバカラニナル也ベケレド無(ナヒ)ト入レテ見ル也前ニ頼も
 シキ人モナヒト云又法師モナヒト御定スルコレラナシト入レテミネバナラヌ
 也サコソ一ハ我ハ天子ノ子ナルトソレ程心ゾヨクナサレテモナンボヲタシカ
 ニゾンシテモモノニナレヌ故ドウセウカウセウト云ハナンボ知恵アツテモナ
 ラヌ也ナサレ方ナクツトイダキ付アガ一ハワガ君トソクケウシテ云也ワレニ
 コンナイミジキメミセテクレナ也ト云テモヒヘ入タ也ケハイ一死シタ人ハ我
 シンセキモキミヨフナヒ也情ヲ以親イ人ハ親ケレバ親イ程ヲソロシウナル也
 色ヲ以親ミ情ケ以テ親ム程猶ヲソロシフナル也魂ト云タマシヒノコトナレバ
 魄ト云玉シヒアル是ガヲソロシクナル也コノモノウクガスマヌ事也ケハイモ
 ノウトク也是ハ書ソコナウ事ソウ也ドウデモトノ字落ル也ウイ事カナヒ也ウ
 ト／＼シクナル也右近ハ我ヲソロシク思事ハ主人死スルウヘハ我身ノダンデ
 ナヒ故也南殿一事ハ抄ニ委クミユ貞信(一)

〈○廿九丁ウヘイ生モノウイト云ハ別ノコト歟曰ヘイ生モノウイト云ハタバ
 ツライコト也是ハヲソロシクス也〉

【六四ウ】

公ガ延喜ノ時分勅ウケテ陣ノ座ヘ往時ニ刀ノ石ヅキトラウルモノコリ我ハ勅
ゼウウケ往ニ為(タメ)ナルマイト云勅ノコエデノクト云也コノオトバハ貞
信公也此時心ツヨイ事ナヒ也貞信公ヲビヤカシタレドモ害ナカリシ我ハ天子
ノ子ナレバ害アルマヒト思召也我(ワレ)ガアレバ夕顔モ徒ニナルマヒサリ
トモハヨシノ靈アルトモ也ヨルノ聲ハヲドロ／＼シフ聞エル者也人ノヲト也ロ
ク者ト云也ソシテナクナ也ト右近イサメル也人イサメテモヲノシノ心
サハグ也此一滝・口ヲ召シテコ、ニアル程ニタゞ今一ソレ隨身イケニ非ズ
隨身ノ又者也イヘトイフテヤレ也隨身ガケ来ニイケト云付ヨ也ナニカシノ
前ニモ出ヲバカ死時ニクル惟光ガ兄(アニ)エイ山ノ僧也モ・スルハソコニ
ヲルナラバ也尼君ハ惟光ガ母源ノヲメノト也カウシタ忍アルキユルサヌ人ジ
ヤ程ニトタシカニモノ被仰様ナレドモ此人一元ヨリドウテンアル也夕顔シナ
レルヲナゲカシク思召也大方一ソウタイモ

【六五オ】

ノヲソロシイ事タトヘン方ナヒ也夕顔死シタアト故段々ノ中ニ夜中(ヨナカ)
スギ也風アラ／＼シウ吹タルハト此ハヲサマラヌハ也風アラ／＼シク吹ヌル
ハ夜ナカモスギニケンカシト是モテンドウ也マシテ一大ナヤ敷ノモノ古リ人
スマヌ故元ヨリ大ナ松モアルケ色一(ヒト)ケ色モ様違鳥ナリカラ一カラ
ビタ聲デ鳴フクロウノ聲イヤラシイ者也人間ノコドモノナク様也源フクロウ
ツイニ聞事ナヒ也段々シアンシテミル程人ゲ近辺ニナヒ也ナトテ一ナゼニカ
ウシタヤドリトルゾト悔(クヤミ)也右近一前後忘却也ツトソイヨリアル也
又一右近シナンカト思召ジツトトラヘタシカニ思ヘト被仰様也我一外二人
ナク近処ヘヨル者ナヒ故前後忘却ノテイ也火ハ一滝・口持クル火也モヤハタ
顔ノモノヲジスル故エンガハニ居ル故エンガハトヲモヤトノ間ニ屏風ヲ以タ

テ切ル大ナ家ユヘ也屏風ノカミカラ出ゾウ也クマ／＼ハカクレタ処也

〔○カシハカハ疑也シハ付字也風アラ／＼吹タルハト云ハヲサマラヌ也隔句
ニスレハスムナリ風アラ／＼シウ吹タルハヨナカモスキニケンカシトミル
也〕

【六五ウ】

何(ナニ)ヤラ出ソウニ見エル也物ノ一コ、デハ出ネドモヒシ／＼ノ様ニ思
ハル、也抄ニ大人ノ足音(ヲト)ヲ聞トアレドモソレアシイ也出ネドモ大ナ
ヤシキデメキ／＼フミ鳴シテクル様也後ロ一ウシロカラツカミ付様ニ思ハ
必カウシタ者也惟光早クコイト思召ドモ忍ビアルキニヲラヌ夜ノフケルヲ
待ハ千夜一ツニシタ類也カラウシテ一ヤウ／＼トシテ鳥モナク也命一コ靈故
チトウレシゲツク也夕顔死ルアトデ源モシナンヤラシレヌ也ドウシタ契テカ
ウシタメミルチト覚アルカウシテ好色ノスヂニオホケナクハフソウ應也藤壺
へ密通ノ事ツライ時ハ色々ノ悪事思出ス者也ナイ／＼ヲソロシイト思ガツラ
イ時ニハ出也必ソウデナケレドモ人情也カクノ如ニ後ノヨ迄(マデ)ノタメ
シニナル事出来クベキ也カクト切キシ方昔ニモユク末ニモタメシトナル事有
(カクアル)ナンメリト隔句ナリ忍トモ一ナンボカクシテモセカイニアル事
知レヌ事ナヒ也夕顔ツレ

〔○オホケナクハオホズルケノナヒ也〕

〔○兼道按カクアルナンメリトツゞケテ聞也〕

【六六オ】

死ナレタト云事セ間ノ人モフヲチト思ヒコトノハニカケテ云ハンワラハベノ

—京ワランベ也アリ／＼當分ハシルマイガ末々ハ此事一ハイニナラント也ヤ
ウ／＼トシテ惟光キタ也ヨナカノ暁ノシカ前ナリ源ノソバハナレ又出頭也コ
ヨヒシモニカラアルコヨヒニ限テ居(ヲラ)デ叶ヌバンニヲラン故シモ也サ
ノミ悪(ニク)カラネドモヲノシツライ故ニクシト思召ドモ外ニ人ナヒ故ニ
クシト思ナガラ也急ニ云様ナヒ也アヘナキニハアヘテンハタサン又云ハタサ
レヌ様ニ面目ナヒ也急ニヲ詞出ヌ也右近—右近惟光ガ聲聞初テ惟光ガ源ノケ
来ト知ル也右近ヲモテニナツテ源ヘ引合官女ト密通シテアルコレヲ初メカラ
惟光テ謀(タバリ)シテ源ニアハス其事也君—源モ思ニ堪(タヘ)ラレヌ也
惟光コヌサキハ我独ダタ顔ダキアル也此人ニ—ソレ迄ハヲナゲキノ段デナヒ
夕顔トラヘドウカコウカト思アル也惟光クル故ホツト大*息シテクツログ故
ニカナシキ—

【六六ウ】

ソレヨリ中ハト方ニクアレアル惟光クルトヲ心定ル故是ハイタハシイ事シタト
思召也抄ニ杜詩引アル様也ツライ時ハアハレナ事知ヌ也

卅二丁ヲ二月十六日會

△とばかり—

惟光ヤウ／＼トシテキタ也此人ニ—惟光コヌ中ハヲ取込テ動テン故悲ノ様デ
ハナヒ也惟光来故一アンドシテ心ヲチツク／＼ハタ顔死ヌル事悲シク思也初
テ悲ミ覺ラレタ也トバカリハ少シノ間ノ事也先惟光ニ被仰事アレドモ先急ニ
惟光ニ心ユクル故悲生シテナク也ヤ、—心シヅメ涙ヲサヘテ也コ、ニ—惟光
ニ物語シテ聞ス也アサマシト云ニモ餘リアル事也ラン靈出タ事怪イ也カ、ル
—トミハ頓(トン)ノ字也急ナ事云也◇(抄ニ引)伊物ニシハスバカリニ—
トアル長岡ノ段ニアル急ナ事也カウシタ急ナヲン靈(リヤウ)様ノ事ニハ加
持ナドサセン為ニ願—ソ生ノ為佛へ願立ントテ也アザリハ惟光ノ兄弟也先達

テ源惟光ガ母ミマイニ行時看病ニキテアル

【六七オ】

僧也エイ山ノ僧也物ニ心ナヒ也上承ル也アザリ參也ト云事也アザリ—ヤリツ
ルハト云ハノ下(シタ)ニハドウシタゾト云心アル也其アザリハドウシタゾ
參ル歟參ラヌ歟如何シタゾト大分心アマル也昨日—其アザリハサク日エイ山
へ歸タ也コヨヒモノテン／＼()スル也惟光サヘ遅ク僧モヲラヌ是夕顔死
ナレソウ也カネテ病氣ニアルカ也モ隔句也カネテ御心チノ例ナラズモノセ
サセ玉フコトヤ侍リツラント立事也サル—ソウシタ事モナカリシト被仰又ナ
ク也ミ奉ル人ガ即惟光也源ノナク御ヨウス見テ也ヲノレモ—惟光モヲウ／＼
トナク也大和物語ニ◇(抄ニ引)君ニヨリ—ト云哥アル古イ哥也ヨ、ハヨウ
／＼トナク事也見ヨナキ玉フサマイトオカシケニラウタクト云是源也コレ
源ホメイデモ大事ナヒ処ナレドモ源氏故コンナ処テモホメラウタクト書ソ
ウタイ此様ニ書テアル也源ヨイ様ニ／＼ト書アル也サイヘト—作者ノ詞也源
モ

【六七ウ】

惟光モ御發明也人ニハスグレラレタナレドモソフハイヘドモ也年—ネビハ今
云ヒネル也ヨノナカノトアル事カ、ル事ニモノナレテコソ功者ツケヲ知恵ア
レドモナレヌ也トカクモノナレタコソカウシテハ頼も敷也イツレ／＼モ—皆
御才知アレドモ何レモデ惟光源アレドモ何レモ／＼ト云デ右近モ也何ドウセ
ウト云事皆ナヒ也此院—是カラ惟光ガ詞也先知恵ヲ出ス也先達テ源入時ケイ
メイシアルク此院アヅカリ也イト—ソレハ反テアシイ也此一人ハ元ヨリ源へ
御家来葵上ノ方ヘモヲ出入スル者故是ハ親也宿(ヤド)モリノ老人コソ云マ
イブレ云モラスケンゾク立マジリアル也先—何分此院ハ脇ヘヲ帰ナサレテヨ

カラント也扱―ソコデ惟光ソウ云故源ノソウデハアルコレヨリ人少ナ、ル処
ハドコニアランゾ也惟光又返答ニサウジテアランカノ―若人少ナ、トテ夕顔
ノ故、里ヘ夕顔ノ死ガイヲ持テ行バ其家来ノ女ドモ悲ミナキマドヒ町ナカ故
隣シ

【六八才】

ゲク聞(キ、)トガメトウシタ事ゾト云者多カランソウアラバヲ名モルベキ
也山―ドコゾ山守様ガ脇カラ死ガイヲクリ紛(マギ)ルベキ也思―惟光キツ
トシアンシツケタ也昔―惟光カ父ノ乳母(メノト)ノ老人尼ニナリテヲル也
東山ニヲルソコヘウツサント也惟光自身ニ云ハ惟光―三輪クムト八年ヨル
ト両方ノヒザ立ヒザニシテヲトガイソコヘツキ込故カナヘノ足ノ様ニナル三
(ミツ)ノワクム様也ミツハメノ神ト云神代ノ巻ニアルソレト云非ナリ老人
ノツリバウヲ云也アタリ―病室()ナドナラベアル故イト―ナンボ人繁テ
モ山守故モノ静也カゴカハ俗ニカンゴクト云也明―ソフタイ人帰ル時分也此
人ヲ―初メ夕顔ノ宿デ夕顔車ニノスルハ源手ヅカラノスルトアレドモ夕顔死
ヌル故惟光ウハムシロニ包デ車ニノセタ也ウハムシロハ丁ドウスベリノ様ウ
ゲンベリトテキヌノ織モンアル者也ケツカウナ者也イト―夕顔ノヨウスチヒ
サヤカ也死シタ人ハアシイニソウナヒ也シタ、カ―

(○ウハムシロトハキヌベリ付ウスベリノ様也チヨツト敷者也常住ヌ者ニ非
ス纏綱(ウゲン)ヘリトテヘリトル也ウゲンハキヌ也キリモンアル者也キヌ
ノ名也)

【六八ウ】

是ヲ聞エタ也ナンボ死人デモモノ和ナ死人故也カミハ―ガイニエセヌ故ウハ

ムシロノ脇ヨリ出也メクレ―ソレヲ源ミテハ目モクラミ心迷テ―也ナリハテ
ン―シニハテタト云テイヲ東山ノ山守ヘミ送り見ント也惟光ガ早御馬ニ召シ
テ二条院ヘカヘレト馬奉也是ハ源ノ家也人―程ニトテガ上ヘモカ、ル也源ニ
早御馬ニ召シテカヘレモ人サハガシクナリ侍ラヌ程ニ也又右近ヲ死人ノ車ニ
ノセルニモカ、ル也君ニ―我参ヲイタ馬ハ初メニ御馬トアル故奉ト云也ワレ
ハ―我ハ馬ナヒ故ニワレハカチニ成テ也「山城ノ―ト云哥モカチヨリシテ也
カチデ行也ク、リ―俗ニク、リバカマト云ンモ長者也キヤハンノヒボ結処ヲ
ク、リキル者ノスソ全フクレル也ク、リ引アゲルハ平生ノ処ヨリクツトアゲ
ルハアルキ馬キ様ニ引アゲル也具―惟光モ大夫故ヨソ人ハヲクク又様也合点
ユカヌ送リナレドモ源ノヲ笑止ミテハ惟光下官ノ様ニナリタク也惟光ハコレ
ニ付アチヘ

(○私考曰ク、リハ指貫ノサンニサシタルク、リ也下結(ゲク、リ)ニシ
タルヲカイ、シク上結結ニ引アケ玉フナラン)

【六九才】

ユキ源ハ忘却シテ我ヤラシラヌ様也オハシ―御殿ヘ帰也人々―源ノ家来衆也
ナヤマシ―イヘド、云テ御返答モ被成タ也ミ帳―コ、ラ面白テイ也人シレヌ
ミ帳ノ中ニ入テ也夕顔ノ事思ヒメグラシミルニ也ナゼニ車ニ一処ニ乗り行カ
ザツタゾイタヲヨカリシニナセナレバ夕顔生カヘル時ニイカナル―若蘇生セ
バ我ミステ、二条院ヘ帰ルト我ヲツラウラメシク思ハント心マドヒ―ソレ
程ソツ然トシタ中ニモ若怨ミンヤト云事ハ思也ムネセキアゲル也御―ヲ頭痛
也身熱出来也イト―心ヲイタメ身ヲイタメル故也苦心也カクハカナヒサマデ
我モ夕顔ニヒツ付シスル事ヲ徒(イタツラ)ト云身ノ徒ニナリヌベキ哉ト百
人(ニン)シユニアル也此頭痛身ノ熱モヲン靈残也日―四ニナリ九ニナレド

モヲキヌ也ソ、ノカスハ進事也古ハ貴人ハ朝ハ粥(カユ)也コハ飯(メシ)トテヒル飯(メシ)クウ也時節ノカユソ、ノカシ進ドモアカラレヌ也クルシイ故也イトーヲ頭痛ヲ熱

【六九ウ】

故カユマイラレズクルシイ也禁中ヨリヲ勅使クルキノウモ一日尋レドモ一六条院ニ在故也勅使ノ詞也大殿ノ一勅使ノ外ニ大殿ハ葵上ノ兄弟衆クル也大勢打ツレ兄弟衆クレドモ頭中將一是ハ葵上一ツバラデ品定ニ出合人也コレモミスゴシニ御アイサツ也メノト一是ハ惟光母ノ事也出家シ戒ヲ看ツシルシニヤ一旦病氣快氣シタ也此比一是カラ源ノウソ也病ヲコリハセヌ也モ一ド弔クレミマイクレトメノト云也イトキナキ一幼(イトケ)ナヒ時分カラ源ムツンダ也今ハ死ヌルト云キザミニユカズハムゴイト思ハント罷越(マカリコス)也其一其第二ノ乳母ミマイニ行其家来死シタ也エイデアヘテハ貴人ノ久ヲ出歟主人ノ家内ニ病人アレハ家来ハ其家死ズ脇へ出ス也アトヘイミブクカ、ラヌ様ニス又病人アレハ猶ソレ思也ニハカニ死シタ故隠シテオヂーハ源ノヲ出ヲオジハバカルト云一説又主人ガ病人故病人ニ死人シラスハ氣ニ

【七〇オ】

カケル故ニオチハバカルト両説也アチヨリ隠レタレドモ源ノ聞也キカネバ穢(ケガレ)ナイ也神一時ハ八月十七日也カンワザナル比トハ九月十一日ガ天照太神ヘレイ幣(ヘイ)トテ毎年九月十廿(二)日ニ勅使立其時分ハ神事也ケウヂウ服(一)ノ者不レ可レ入ト云礼禁中ニ違ツソレ故源参内ナラヌソウシタ服(一)ハ三十日ノブクカ、ル来月十一日ニサ、ハル故カシヨマリーハキンリヲソレル也参内セヌ也此曉一其上今朝ヨリ風ナド引シハブキヤミハ咳(セク)事也頭痛シテクルシイ也イトームライハミスゴシニ云ハ無(一)礼

也吳音ニムライ也中將一然ハ其服キンリヘ云ハント也奏シ侍ラメトカウ云ヘドモ勅使ニ非ズ勅使ハ外ニアル也夜辺モ一夜前モヨアソビニ也夜遊ハクハゲン杯也ヲソレ多程源ヲ尋也御一ドコへ行ゾ居リ処シレヌトテ天子ノ御キゲンアシイ也立カヘリ一初メ一通立カヘリカラ頭中將ノザレ也ドウシタヲ行ブレゾウシタ事デハ

【七〇ウ】

アルマイガトサレ者故尋也イキブレハユキカ、リ其忌(イミ)ニフレル又一説ハケガレタキニカ、ル也ノベヤラセ一今陳ジラレルハ実デハアラジト也ナシゾヲミニ外事ナラント也ムネ一キカクト胸ニコタヘル也カク一ト頭中將ニセメラレテモ云ガ、リノウソ云ネバナラヌ也カ様ニ第貳ノ乳母ガ◇(下部)事ナド久シクハ云ズトモ只不慮ニ穢レタト云ヘイト一天子ヘモヲソレヲ、イ也ツレナク一頭中將ノ立カヘリテドウシタ事ゾト云ヲモヤハリ不変也変セヌ也ウソ云テアル也心ノ中ニハ一ロデハソフ云ドモ心ノ中ニハ夕顔カナシミ実ニミ心チアシイ故人ニ対面セズ引込アル也藏人一ト云モ此弁モ今ヲ物語アル頭中將ノ弟葵上ノ弟也第二ノ乳母ノシモベノ死事云也此人実ノ勅使ト見エル也大殿一カウシタケガレアル故エ行ヌトフミデモ事ツケデ云也日暮一十木(七)日クレ惟光クル也人スクナヒ故惟光ヲヨブ也イカニ一夕顔ハドウゾスレト死シ逢

〈〇一説ハ穢氣(エキ)ブレ●ト云コト也先エキガヨイ也〉
 〈〇私考曰イキフレトハ觸穢ノコトナリトイヘリ今按コレ物ノアヤシキ氣ニフレ玉フコトナランカ假令神武天皇ノ熊野ノ荒波ノ津ニテアシキ神ノ毒(アシキ)氣(イキ)ニフレタマヒヌ日本武ノ尊ノコロシ玉ヒシ信濃国ノ山神カ白鹿ニ化シタル氣ノ類ヲイフナルベシ日本紀神武卷云々同景行卷云々〉

【七一オ】

ミハテハ見極タカ也惟光モナク、モハヤ限トミユル蘇生ハナヒ也私モ此ケ
 ガライデ永々コモリアルモ便ナヒ事也トカク、古ハソレ也今モソレ也日ニヨ
 リ葬又也五ム日ニ葬レハ五（イツ）、アトデ墓コシラヘル巳（ミ）ノ日ハ葬
 又ト云事也トカクノコトトニスルカクスルト云事イト、私シル故ソレニ云
 也ソヒタリツル、右近也ソレモエ生（イク）マイ也ワレ、右近云ハモハヤ主
 人死スレバワレモ、ケサハ既ニ谷ヘ身ヲモナゲソウ也、ト云事カラ也カノ、
 右近云ハ夕顔ノ宿ヘ此ヨウス告ヤラント云也シバシ、惟光云也先待（マテ）
 云テヤリ様ヲシ（ア）（アン）シテモヨウアルベキ也コシラヘハスカシダマシ
 テ心ナグサメヲク也源ノ心ニモフビン也ソレデノシモヲ氣色アシイ也我モ死
 ソウナト惟光ニ被仰也ナニカ、ナゼニ其様ニヲナゲキナサルソトイサメル也
 サル、是モ過去ノ因縁ナラン元ヨリ万ノ事サルベキ也人ニ、モトヨリカウシ
 タ事人ニモモラスマイト思故オ

（○私考曰藏人ノ弁ニ至ル二三ノ道アリト云々）

（○五ムハ五ノハカト云事ランニヤウケニ云コト也巳ノ日ノコトハシラズホ
 キニ註シタ者ニアルベキ也）

【七一ウ】

リ立ハ身ヲ入テ万タンシハイスルト云也サカシハ其通ジヤ也因縁ジヤト云ヲ
 サカシ也サミナ、ソウ人々思ヒナセドモウカミ、源氏ノカル、シイナグサ
 ミノ心ヨリ夕顔死ナシタ也カゴト、夕顔ノ残ル里人ガ我ヲカコタン也カラ
 キハ辛苦ナ事也少将、惟光ガ妹也源ミマイニ行時ムコノ参河（ミカハ）ノ守
 トアル妻（サイ）也尼、母尼君ニモ聞スナンカウシタアダ、シイアルキラ
 異見スル人也シラシテハ心恥シカラント口ヲ堅メル也サラヌ、尼君ナドニハ

元ヨリ聞サヌソフナイ聞シテモクルシウナヒ法師、ハコヨヒノ事ヲ取行法師
 バラ也イ、ナスサマ名前ニシテ夕顔ト云ハヌ也ソレデチトカナリガケ也ヲ心
 ヤスカル也今デモカ、ツタ事ナヒト云ウラ也コレデカ、ツテユク也夕顔事ウ
 ドヤキサ、ヤク故ソレヲホノカニ聞家来衆ナニ事ゾケガラハシイ事アルト云
 参内セズ苦トサ、ヤキナゲク也ホノカニ弔シガル也更、惟光ニ更ニ被仰ハア
 マレゲウサンニスナ也抄ニナンノ難クセナヒ様ニセ

（○私考曰少将ハ中藤ノ女ノ呼名也命婦ノコトハ桐壺ノ卷ニシルシオハリヌ）

【七二オ】

ヨトアルアレモランミツニセヨ也其程ノ、其程ノシヤウノ玉フ也アノドガ其
 様ニ慥ニ被仰ドモ惟光ガ立テ行ガカナシクト隔句也更ニコトナリト被仰御
 返答ニナニカト云テ立ガイトカナシク也ビン、是カラ源ノヲ心也惟光ヘ被
 仰事也タヨリナヒ宜（ヨロシウ）ナヒ事ト其方思ハント云ヲ心テモ又被仰テ
 モ也夕顔ナヒカラシガイヲ見タイ也馬デ行カウト也イト、退ガマシイ事ト思
 フ進マヌ也ト云テモソフ思召ハ了見ナヒ也早ヲ出ナサレヲ早フヲ帰ナサレ也
 此比、此比夕顔ノ宿ヘ通フ為ニ拵ルザツトシタセウゾク也御、カキクラシテ
 タヘ難也カウシタ道ヲ鳥部野迄行ハ又六条院ノ様ナ事アランカト止メフカト
 思ドモ猶、カナシサヤル方ナフ思也タ、今ノ、是ラ面白也イツノヨニ夕顔ノ
 ヨウスミヤウゾ也タマシヒハ生カハレバ縁ニフレテナヒ処ニ生ト云ドモ形ハ
 今生切也ドウセウ止ンカト思ドモイヤ、行ント念

【七二ウ】

ズル也例ノ、夕顔ノ宿ヘ行隨身也道、ヨルノ事ナリヲソロシイ故道遠ク覺ユ
 ル也十七日、十七日ノ事故月指出也十七日ノ月ハ五過也加茂川ノハタ也忍ビ

ノヲ道故源ハ六条カラ加茂川へ出カハラ道行也サキハ挑灯ノ心デ松明トボサシテユク忍故一ツ位也鳥一人葬ル処故イヤラシイ也ソレモナントモ思又也ヲソロシク思タ也心カキ乱ル心シテアヤシノアン実(へ)へ入也アタリ山寺故アタリスゴキ也カクベツニドウタテ佛イトナミスカノアマ也ミアカシ板屋ノ方ノ火也シガイノソバニトホス火也板屋ノカケヨリスキ見エルタイ処ニハ女独一是ハ右近也死人ニ付アル也トノソトノ方也ダイ処ノカツラノ方ニハ右近ヲ法師ハヒトマ隔ツトノ方ニ居ル也ワサトノ一葬ル前ニハ無言念佛(ムゴンネンフツ)トテ聲立ヌネブツ云へハヨイト抄ニアル寺々寺々ノエモスグイトカネバラノ鳴(ナレ)バニギハシケレドモ休(ヤメ)タ故ヒツソリトシテ清水近也コ

【七三オ】

ヨヒ十七日ナレバ観音ノエ日也此一尼ノ子也モ法師デソコヘキテアル大トコハ房主(ボウヅ)ノ惣名也ソレガ経ヲヨミヲルニ五体ノ涙ノコリナフ出ル様也入一其板屋へ源入ミレバカタワキヘクラウシテ死ガイトノ隔ニシテアル此火源入故ニ火トリソムケテト云初(ハツ)カラ也火トリソムケテ右近ナキヲル也サヅツラカラント源思也オソロシ一夕顔シナレタテイミルニヲソロシイトモ思召サヌ也マダ死シテモンソウガ生タ通也夕(ユウベ)ノ事故間ナヒ也源アハレナ事也生カヘルコトハアルベカラズトモセメテナゴリノ聲ヲカワシテクレヨドウシタ宿縁ニテカザシ時ノ間ニ契ガアハレニ思大徳一カノ尼ノ子ノ法師又大臣二三人ト云衆源トモ夕顔トモシラズ何分アハレナ事ト思也卅九丁ヲ二月廿一日

△右近一(へ)源山寺へ夕顔ノ死ガイ見ニ行処也今一タビ聲ヲダニ聞セタマヘトヲナゲキデソレヲ見ル出家モタレトハシラレズアハレ催スナリ

〈○私考曰大徳日本紀持統卷ニホウシトヨメリ事物紀原僧號ノ処ニ大徳ノ号アリ〉

【七三ウ】

右近ヲ一其ナゲキノナカデモ右近ニ被仰ハ二条ノヤシキヘコイ也イザハサソウ詞也二条院ヘト、云ハコイト被仰ト也ト、云ハナカニ心アル也年比一右近返事也年来幼少ナ時分カラ片時モハナレヌ也イヅコニカドコヘカヘランヤ主人ハナレテハ主人ナヒ也イカニ一夕顔ノ供シテクルト云テ行サキヲ夕顔ノ宿耜(ニ)モ云ズニクル右近附テクル故慥ナ事ト朋輩モ思事也(フニ)カウナリハテ玉フコト也手前ノカナシミハサル物一ハソフアル者ソノ通ナルガソレハ其ハズナルガ人ニ一朋輩トモガ其方附ユキコンナ事アル者カト云ハレン同シ煙ニモヤカレ死シタイ也コトハリ一源ノ詞也其方云通ナレドモヨノナカハソウアル者ヲソレ先過ナライ也世ノ中ハアルト句切也死別ニカナシウナヒハナヒ也抄ニ生前一杜詩引アルアシイ也死前バカリ也死前ニ悲ナヒ事ナヒ也トアルモ一先へ死スルモアトカラ死スルモ末ノ露本ノシヅク云様也思ヒ一方ガ此タビノナゲキハ尤ナレドモ心ユルウ思テ行末我ヲ思頼ノ様ニ我ヲ頼メ也コシラへ一慰ル也

【七四オ】

カクイフ一カクノ如ク云我モ此タビノナゲキニハイキトマルマジキ心地スレトノ玉フ也頼モシゲ一作者ノ詞也ソフ被仰モナントモ右近ヘツケテモ頼モシゲナヒ事被仰也ヤハステヤ也惟光一右近ニサ様ニモノカズバ被仰中ニ夜明ハ見苦シカラント也カヘリミ一惟光ソフ云故立帰ドモ夕顔ノナゴリアル故カヘリミノスルヲナゲキデ胸スツトフサガル也出玉(フ)ハアンジツ出也道イト一景氣也秋ノ夜アケ比ハ月中比ナレバ露モ霧モフカイ時節也イヅコトモナ

ク朝霧ハ道ヲマドハス者ナルニ夕顔ノナゲキデイヨ／＼心ドウテンスル故霧ニツキ猶也アリシハ源山里デ死ニ非山里デアリシナカラニ非六条ノ院デ見タマ、デコ、デモ死シテネテアル体也生タ時ノ様ニネテアル也打源ト六条院デモロトモニネテアレバ互ニキルモノキセル也源ノキルモノキセテアツタ也源ハソノキルモノステヲキ人ヨヒ玉フマニヨ／＼絶入故源ノキル者キセナガラソノマ、

【七四ウ】

ウハムシロニ包デキタ也兩人互ニキタ故打カハス也是モワガハ源也我紅ノヲ、ンゾノ打カハシキラレタル也テンドウ也キラレハ打カハシテキルモノキテアル也打カハシタヲ今モキテアル也一説ハヲ、ンゾノ切ラレト云也妻死時ハ男子ノキルモノ、袖切送葬ノ棺ノナカヘ入ト云説アル切ト云字ニ見ル切テソヘテアルソヘル者故也ト出説アシイ也打カハシテキタヲ、ンゾ夕顔ヘ付スコト也切(キ)ラレニ非ズ著(キ)ラレ也イカナリシ我キルモノモ死スル迄キセヤルドウシタ契ゾト道デ静ニ思也御馬御馬ニノレドモ御不自由(ナ)ヤラカズナヒ故惟光死人ハ捨ヲキ又ヲ供スル京ヘカヘリ玉ハス也堤忍ヒノ道故京ナカヲ通ナサレズ五条六条ヨリ加茂川堤ヲカヘル也下ハ七条九条迄アレドモカミハカモ故上(カミ)ハ皆カモ也鳥部野ヨリ二条院ヘ帰ル間カハノ辺カモ川也是ハ公儀カラ防鴨河司(ハウカワカシ)トテカモ川ノツ、ミツク事也堤ナケレバ田地ヲクツス也

(○防鴨河())司ト云ハ官ノ名也是カブ行ヒナリ行テツカス也今ハ武家カラ也今ハ所司代ヨリツク也古トカク崩タ故板倉スワウ殿ノ時残ツカミ取ニサス両方ニテツカムニ多ツカマレヌ者ト云也セイ出セヨトテ也ソレヨリトマル也スワウ故シヨシダイヲシテアル時也)

【七五オ】

今ハ人家出来テ石多ケレドモ古ハ皆堤也落馬也口ハ惟光トルナライ馬ニハ非サレドモ御ドウテン愁故ニ落ル也ソレカラ心ハケモノナフナル也カ、ル源氏ノヲ詞也道ノ哥ハ途中デ也ハフレヌベキハ放埒(ハウラツ)ニナリ死ナンカト云コト也古今ノ俳諧ノ部(抄二引)ニ身ハステツトアル也更ニドウテ二条院ヘハエ行ツクマヒト被仰也惟光モ光モニハカニ動テンスル也我ナンボヲ出ナサレント被仰テモ我シツカリトセバ無人デヲ供スマイニト今氣ツク也サノ玉フトモ也キテハ御同道シタ也下(シモ)ハ出也カモ川ノ水デ手洗清水ノ観音ヲ念スル也今日十七日ノ事也殊ニ近処也スベナクセン方ナク光ノ心トハウ失様也主人コンナ処デ絶死シテハ也君君ハ源也シヒテ一心クルシウ弱ヲ我ト我デニムリニカラツケ是デハスマヌゼヒイナント思也又立カヘリ馬ニ乗トシタリカクシタリシテ光ニ助ラレ二条院ヘカヘル也アヤシウ是ヨリ二条院ノ人々ノ心也カツランユカヌ夜アルキ也ナレトモ宜ナヒナサレ方也此比()夕顔ニ付例ヨリヨ

【七五ウ】

ナ／＼アルク也シバ／＼シキリ／＼ニコザル也昨日六条院ヨリ夕顔ハ山路ヘヤルノシハ帰ル時ゴ病氣ヲシウ見エルニイカデ昨日ヲスグシナサレヌテイデハアルクマイニトナゲク也マコトニハ初ハ御病氣ニ非ドモ病氣ノ様ニシテ引込也御息処ノレイ残ヤ実ニ御病氣ヅク也是ハ夕顔ナゲキノ外ニ御息処ノヲン靈ノコル也二三日ノ間(アイダ)ニヨハリツク也スマヌ様ニナル心モトナフナル也天子モ聞玉ヒソレハキノドクト思召也御祈リカタ／＼ガ下ニアルマツリハラヘスホウ也マツリハラヘハ神()事()也ズホウハ佛神ニツケ祈禱アルソレハ祭シタリズホウナドスル也世源ノ事ナレバ世間ニモタグイナクイマ／＼シイ程ソウ明天下無求(ズイーノ)ノ人故ニ御短命ニアラン

カ也コ、ラアメノ下ト入モ源ノ物語故源ノ事トカクゲウサンニ書也天下サハ
 グ也天子ノ事デモカウゲウサンニハナヒ也京中ト書時ハアメガシタナド、ゲ
 ウサンニ書也病氣ナヤム中ニモ右近―ヲソバ近ク御

【七六オ】

奉公サセラル光モ心サハクハ源ノヲナヤミアル故若モノ事アランカト胸サハ
 グ也ソコロシツハリト心シヅメテコノ人ノ―此人ハ右近也二条院ヘキテモ右
 近ハ知タ人ナク新参ノ事故ウト、シイ也モテナシ―色々ニキツケテ御奉公
 サス也君ハ―御病氣宜時御病氣ノヒマ也右近召出テ遣也程ナヒ中ゴ奉公ナレ
 外ノ朋輩トモ心易アル也ブクイトクロウ―是六ヶ敷事也先ブクイトクロウシ
 テト濁(ニゴル)ハ主人ノ夕顔シヌル故服()衣也服衣ハスミゾメノ衣也
 ソレニモ色々アル恩アツイ主人ノ親ノソ母ノト云階級アル恩ノアツイ程服
 ()衣ノ衣スミノ衣クロクス浅ハネズミ也先ネヅミ也ネヅミノ色クロイス
 ミゾメ也恩ウスイ程ウスク(ナル)也右近ノ為ニハ夕顔ハ御恩アツイ故
 ニ服クロクスル也右近生付スグレタニハ非ドモ中々カタクナニ見苦ニ非ズ大
 ガイ相応ナ奉公人ト也源ノ夕顔死シケガライニアフハヲ身ニカ、ルト御サタ
 ナクニ

【七六ウ】

条院デモ流布セン事也悪カクシタ也右近新参者デ来テアルニ服衣キテ新参者
 コウ様ナヒ也服()ニ非スフクリト黒也リトイト五音通スフツクリト◇(ソ
 也)黒也フツクリトフトリ色黒也夕顔ノ死ヲカクシ殊ニ新参ノ右近服衣キマ
 イト云事也段々説アル事也チカユキノ源中最秘抄ニモ久シクアル事也先程夕
 顔ノ死ハカクシテアル事也ヲ身ニカ、ルケガレデハナヒ様ニ云テアル殊ニ新
 参ノ者ニ服衣キル者召カ、ヘマイ也枕草子ニモフクイトクロキ男ノ白帳キタ

ルトアリセ間デヨリフトル者フク、シイ者ト云フツクリトシタ也略シテ云
 ハフツクリヲフクト云ハサカナイヲサカノ久シイヲヒサノト云様ノ類也コノ
 通り也モトガ物語故ソノシヤ前ナヒ也右近ハ夕顔ノ為ニシンキンノ者故ニヤ
 ハリ服衣キテ奉公スル也俊成卿ノ女杯コノ説シンカウ也師説モソレナリ御物
 語故服衣(ブクエ)トミルガ習也コンナ事ハ習ウケネバナラヌ事也

【七七オ】

大程服衣モヨケレドモ習デフク也アヤシウ―源ノ右近ニ被仰ハ此様ニ合点ユ
 カ又契ニヒカサレ我モトモニ付テ行様ニ思也年比()ノ―年比()ノ主
 人ジヤト思ニ失ヒ心ボソカラシ若我命長ハ万端其方カイホウセント思ニ程―
 夕顔ニタチソイ源モトモニシヌヘキガ口オシクハザン念也ヨハクニモ御病氣
 ノテイ也云―右近心ニ我(ワガ)ハゴクマレルト云イ、ガイナヒ事ハ二段ノ
 事ニシテアナタモシモノ事アツテハト思也殿―葵上ノ方ノ人ニ条院ノ人也ア
 シヲ―ハ足ヲサカサマニスル様ニアフトモソレニ非ヲチツカ又也心ソラ也土
 ハフメトモト云哥ノ様也心ヲチツカ又也コクウアルク様也ト云事也内ヨリ―
 ヲ見マイノ使雨ノアシヨリシゲイ也思シ―◇(天子ニモ)源ノ病氣聞玉ヒテ
 也聞玉フハ源ノキク也モツタイナク源ノ思也セメテ―是ハワケモナヒ事ジヤ
 ト無理ニ物デモクハレヌヲ喰ヒ立(タ、)又処立テミル也大殿―葵上ノヲヤ
 ゴシウト殿也ケイハツ、シミメイハ命也

【七七ウ】

源ノ被仰事ヲドウナサルカウナサルト源ノ心遣キ、アノ通ニスル大臣殿日々
 ヲ見マイ也祈タリカジタリスル也廿ヨ日―物ケ杯ノコリデワズラヘドモカク
 前ニアトヘノコル事ナク大ガイヨクマダ残リアル也ケカラヒ―死人ノケガラ
 ヒ也八月十七日ノ事ナルガ此様ナ死ノケガレハ大ナ神事ハ三十日也九月十七

八日比ト見エヒトツニミチヌル世ナレバ夜ナレバ両説也下ノ内ノ御トノ牛処ニ参給ナンドストアルハ夜ヨイ也ヒトツニ三十日ノケガレ也世ハ和ナレドモ夜カ下ヘ親イ也オホツナガラセフハ天子ノ心也御心ヲリナクハ源ノセシ方ナイ也内ノ給なとす是隔句也ヒトツニミチヌルヨナレバ内ノ御給なとす也ナカニオボツカナカラセ(ナントス也)●ツ、キハーツヨナレバ内ノデ早ク聞エル也内ノ天子ヘユク様ニナケレドモ参内スレバ先ヲヘヤへ行セウゾクシテ行也其上デ参内也内ノナントスガ即参内ノ事也大殿ソレカラ参内スミコ、ラ参

【七八オ】

内ミエネトモ内ノデ参内スミ大殿―葵上ノヲヤ也ノシノ車ヤリ源迎也御物―ケガライ或モノ、ケ故セウシンキビシクスルキトウ色々也ナニヤカヤデ御祈禱ハライ也ムツト異本マトアルソレハ非也ムツカシウ也モノイミナド書ツケテ六ヶ敷スル也カガヨイ也我―源御快気故シヤバヘニタビ立帰様也ウツカリトスル也一旦ラン霊様ノキニアフ故前ノヨデナヒ様也ウツカリトスル也九月―前ニコトナルナゴリノコラズコタリサマニエタマフコタリサマハ大ガイヨイ也コ、デ九月―ハ八月十七日ヨリ三十日スギマヘハコタリサマニミユト云大ガイヨクコ、ハ長月廿日ノホドハズントヨイ也ヲ瘦ハマダアル也中々ハ却テ也ヲヤセナサレタガ猶ヨイ也源ノ物語故願バヨリヲナゲキアレバ御容儀ヨイト云也ソノテイナマメカシウテハ風流也眺―ハモノ思ヒカチニ也ネヲノミ―ハ聲立ナクニ非サタンノ御聲出也

【七八ウ】

夕顔ノ嗟嘆也見奉―此事若紫ノ巻ニアル倉馬へ行ハラハヤミノマジナヒニ行ニアチノ出家ヲ、ン物ノ怪(ケ)ト申スト哥アルアチノ大トコ云コトアルソ

コラノ事也見奉―ハ源ノコノタビ御快気ナレドモミ奉―ハクラマデ出家云タグイ也右近―弥御快気ノ上デ右近ヲ召出イトノドヤカナ夕暮()ニ物語シテガテン行又事也ナゼニ我ニ其夕顔ノ由緒シラン様ニカクシタゾ也カクイハカクシ也イトシト五音通也誠―初メニアマノ子ナレバヤドモサダメズト云グイ哥デアマノ子ナレバト云故ソレ承ケモトヨリアマノ子デアアラウ様ナケレドモ実ニアマノ子ナリトモワレコレ程ニ思ノニ也ナトテカ―右近詞也ナゼニソノ様ニフカウカクサン様ナヒ也イツノ程―ヤウヤク六月比ノ事故ソレ程ナジミナヒ也マノナヒ事故数ナラヌ三位ノ中将ノ事故ナニバカリノ大系図デモナヒニドウモ申上程ノ事デモナヒト卑下也初―通ヒ初ハ惟光ハヤレドモソレハ物語ニ書ヌナレ

【七九オ】

初ヨリカクシタヨウス也ヲモヒカケヌ也ウツ、―現在ノ様ニ思ハヌ夢ノ様ニ思ト右近ヘ夕顔ノ云也御名―源ノ名被仰ヌモサバカリ―ハ是バカリノ事デツイ一通ノヲ志デアトナヒ事故ト平生モ被仰ト也ナヲサリ―ヲ志故マギラハシテ名モナノナランナランウイ事ト夕顔思也コノナガラガスマヌ也思ヒタマヒナガラモ下(シモ)ノ猶(ナヲサリ)々―タマフラメモ同事也アノナガラ無(ノウ)テモ也ナガラツ、也ツ、ト云ネバナラヌ也一説ハサゾ源デハアラント思召トモツイザラリノ一通ナラント云ハヨリ聞エレドモ是ハ源トシラヌ也始終フク面シテミセズアチラモタレハカクナラント人付ツスル故源ジヤトハ思ナカラトハ云レヌ也ソレ程ノヲ志ト思ヒナガラト云テハスマヌ也ツ、ニシテ見レハ聞エル也先ツ、也アイナカリケル―サテハソフデアアルカコチカラハソチニカクスト思ヒアチカラハコチニカクスト思也アヒナカリケルハフソウ也我ハ其様ニカクススキニ非源カクス子細ハ父帝(ミカド)左大臣世間カラモホメタリソシルハ人多也内―天子ノ御カンゲン初メ左

【七九ウ】

大臣殿へモツム也カリソメニツイ云（イフ）タハムレモ処セマウ我事云立ル也ウルサキツライ身故ニハカナカリシガ惟光引合シテタ顔ミルタベヨリ合点ユカズ心ニカ、ル也アナガチユカレヌ処モ通様也カ、ルヘキカウ短ウシテ縁切レルハヅテアルヤ也又打此又打カヘシモ聞エニクイ也此ハヅデ短ハヅテフカウ心ニカ、ルナラント思也カウシテミジカヒ契故ニテアルカトイヨ、夕顔事哀ニ思也又打返ハカウ長カルマジフアラハコレ程ニ親切ニ思ハンガヨカラント思也ナドサシキ（猶）委細ニ夕顔ノ事ヲ云フ也今此上カクス事アルマイ也七日、のハ七々四十九日ノ間七ケノ七体也ソレカラムカハリ三年十七年二十五年三十三年トツモリ十三仏ヲ三十三年迄ニクヨウスル也ソレカラ七々ヨリツモル也一普賢（）二釈迦ト云様ニカゾヘアル事也十三佛也エコウモシ仏カ、セテモタレガ為トカ心

【八〇オ】

ト右近ニ云聞ス也ナニカハ只今ニ至リナンノカクサント也自私ノカクスシサイナケレドモ自ハ夕顔ノ自身ニ被仰ズスグスヲナキ御ウシロハナキアト也夕顔カクスヲ死後ニ私云ガキノドク也ハヤクニナン申サント少シノコス也親親タチト云ハ両説也其ヲヤハ三位ノ中将也イトフビンガリカハイガル也我三位ノ中将故官位高ニ非ス三位故夕顔ヲ天子ノミヤヅカヘニモト云也三位中将位デハ（ト）官位ヒゲシテアル也命サヘコタヘズ死也ハカナキ死ナレテ心ボソクアル時ハカナキツイソレ程ノ媒（バイ）シカリト云程ノ事ナクカル、シイ者ノナカ立ニテ頭中将ノ中将ハ此卷デ葵ノ上ノアニゴナレドモ夕顔ニアハンサキハマダ少将也アマヨノシナ定ノ時ハマダ少将也其時夕顔遂電（チクテン）シテ物語アル其事也三年ソレカラ少ノ程デ通シテ志フカフ

（○私考曰三位中将ハヨキ家ノ子息ナラテハ任叙シタマハヌヨシナリ先ニ中将ニ任シ後ニ三位ニ叙シテ猶中将元ノコトクナルヲイヘリ是ヨリ参儀ニ任セス直ニ中納言ニ任シ玉フカ故ニ規模ノ事ナリ官職秘抄至三二位三位ノ中将者非執柄子息一世源氏者不レ（會）留之ニ而實能公始為三位中将也

【八〇ウ】

見エルニコゾノ秋コレガ夕顔へ頭中将ノ通フ三年目也カノ頭ノ中将ノシウト弘（コ）キ殿ノアク后ノヲヤゴ也悪后ノ妹ガ頭中将ノ妻ニナリアル此妻ノ方ヨリトカクアライ事云也イトト之殺サンノ尼ニセンノト云也物夕顔ハモノ和ナ人也セン方ドウセント恐也高家故ニナンラノ事モナル家也西夕顔ノヲチノ人西ノ京ニアルソレモ家ノワルイニスミワビテ山里ドコソ去ヌル山里也コノ山里ガ西ノ京ヨリ方角アシイ也鬼門三年ノフタガリナランコトシヨリハフタカリト云ハ三年ノフサガリ也タガフ方（カタ）違ストテ夕顔ノ宿ヘシバラクキテアル也ミアラハサレコンナミ苦処ニヨリ源ニミツケラレト夕顔ク（ヤ）ミアル也コノシハ過去（クハコ）ノシ也ヨノ人ニ七間ノ人トハ違トカク初カクシモノ云事アラン人也人ニ頭中将ニツキアカ

【八一オ】

ヌナカ別レ殊ニ子アル人也段々モノ思ヒアル人也ソコヲモノ思ヒナヒ顔シテアルモノ思ヒアルヲナヒカホシテ源ニ御覽ハ源ニ也サレハソウデアラントソコカネテ思ガサレバヨハ俗ニ云ソレヤコソ也イヨ、フビンニ思也幼チヒサイ子アル様ニ頭中将ノ咄ガ也マドハシハ失タ也ソウシタ人ガアル也シカハ先程ソノ通也ヲト年ノ春生也是ハ玉カツラノ内侍也サテソレハドコニアルゾ也人ニラレニクレタト云ズトモ我ニクレヨ也アト夕顔死スル故ハカ

ハ助字也アトモナク苦思也カタミニ見バウレシカラン也◇(カノ)頭中将ニソノ姫アル事云ベケレドモ玉カヅラナゼニソウシタ事モレハ我ニシラサントカコタレン也是ハ頭中将ト源トノゴアイサツ故コンナ事ナレバ云ネバナラネドモ夕顔ニアフウヘ故シラサレヌ也シラサネハウラミラル也云カイナヒ故ニ云レヌトアトヘモドリミル也トザマ―頭中将ノ

【八一ウ】

子デモハナレヌ中也又夕顔ノ子デモハナレヌ中ノ子也玉カヅラノメノトニモ我ト云ズクレヨ也其アランハ附テアラン也初ハ心ナヒ也サラハ―右近返答ニサ様ニアラバカタジケナイ也西―西京デ生(ヲヒ)出サスハ心苦也ハカノ―コレ聞エヌ也カシコニ―聞エヌ也ナゼナレバ源ノ初ニイヅコニソトアルドコニアルト尋也トサマ―クレヨト云返答也ドコニアルゾト云ニソノ処云ヌ也書ヲカント云返答カサラハ―也ドコニアルト云返答セズ西ノ京―ト云テハ聞エヌ也此カシコニナシガ返答也先ヘ云テアトヘ残ス故聞エヌ也謹行ハ聞キ(エ)レトモ文ノセンギスレバ聞エヌ也第廿(一)云ハ西ノ京ニハカノシウ異人ナヒ故ニ置テアルト云コト也

四十五丁ウ二月廿六日會

△夕暮の―(ハ)源ノ右近ヲ召ヨセラレテ夕顔ノゾクセウ尋(タツヌ)ルコトデ西ノ京ニ玉カヅラノヲサナイ子アル事申コト也ハカノ―ハ頭中将ノ女メ

【八二オ】

夕顔ノウム子也後ニ玉蔓(タマカヅラ)ノ内侍ニナル也ソレヨリ夕暮―右近ヲ召ヨセラレ物語アル時ノ景也夕暮ノモノ哀フクモアル時秋ナレバ猶也才前ノ―秋ノ末故カレノ也秋ノ末ナレバ虫ノネモナキカレテ也紅葉―ジ節(セ

ツ)也絵―源ノ二条院ノヲ庭ノ景氣也ミ―右近ノミ涙ス也心―右近ガ思モヨラヌ事也ケツカウナ処ヘ参リカノ夕顔ノモノムツカシイ処ニアルヲナニト思召サントカリノヤドリナレドモ恥カシイト也竹―二条院大ナ御殿故竹モアラシ家―ハ平生寺林ニスカケルネズミ色ノ鳥也人ノナク様ニトシヨリコヒノト云様也常ノ聲デナヒ也フツ、カ也カノ―ハ六条院也前ニ六条院デ鳩ナクト云事ナケレドモコ、デ有シ―ト云バサゾ其時ニハト鳴ナランソレヲ聞ツケン故夕顔ヲヂルナラン是文法也初メナヒ事アル様ニ書イクラモアル也ソレヲミル様ニイタハシク思召出也年ハ―年ハイクツニナルゾアヘカハヨハノシク

【八二ウ】

和也アイラシイキミ也此様ニ長フナヒ早フシナン為也是ヲイトアヘカニアアルガソレデ年イクツニナルゾト尋ト云ソレニ非ズ別也アヘカト年イクツソト云ハ其序ニ問也アヘカニアアルガ年ハイクツト云ニ非也十九―是カラ右近返答也乳兄弟故シカト十九トシレドモ貴人ヘモノ云上ル心遣也右近ハ―自云也メノトノ子デ乳兄弟也三位―ハ三位ノ中将デ夕顔ノ父也夕顔ヲフビンガル也夕顔近ク召遣ゼウジウ右近ソバニ置イタル也ヲ、シハソダテルキミ也思―思ヒ出ハ三位ノテマヘ夕顔ノテ前ニ付テイカニ生テヲラレヌ也「イトシモ―其古哥ノ如ク今アル也人大切ニ思トテキツウナレマイ者也ソレヲ習テミネバ恋シヒ故アマレナレンガヨイゾ也「思フトテ―哥ヲ心ニ持テイトシモ人ニナレテハ逢ズニラレバコヒシイト云哥ノ心也物―夕顔ノ様ナモノハカナヒ心弱心ボソイ人ヲ頼ニシテ夕顔ヲ頼ニシテ年比―ソウシテキタト身ノ上咄(ウヘハナス)也

【八三オ】

ハカナヒ―其方ハカナヒト云ガ女ハソレガヨイ也カシコク―知恵才覚アツテ

人ニナビカヌハツキナヒハルイト也自一是ハ源ノ我ヲ身ノ上ヘスクヨカニシツカリトシタ事ナヒ心ノナライニ女ハ一和ナガヨフテトリソコナフテハ人ニダマサル様ニアツテモトヨリ和ナ生付ナレバ人ニダマサレンサスガニ一モノヅ、ミシ人ノソバヘモヨラヌ也ミン一夫(ヲツト)ノ心ニハ從ンハ哀ニテ我心ノ一ソウ和ナ生付ナレバヲトコノ心ノマ、ニワルイコトハヲシヘ立ハイトフビンニ思ベキ也此一是ハ右近ガ返答也ソウ被仰ニ付テハソフ云ヲ好ニハナル程ソフ応シテハナレズ宜ヲ心ニ叶ベキ也ソラノ一ジ節秋ノ末ナレバ風ヒヤ、カ也

「○見シ人ノ一是ハ夕顔ノ事也死ナレタ煙元ヨリ雲ニ似タ者故煙ヲ雲ニシテ今ノ雲ミレバ其人ノ煙ノナツタ雲ト見ハ其人ノ倂(ヲモカゲ)アツテナツカシイ也一本ムツカシキ哉トモアル同事也ムツカシキト云ハモノムツカシウ

【八三ウ】

ソレ心ニカ、リ夕顔事忘レラヌ也下チヘ云テモ夕顔シタウ心也称名院三度講ズ初ハムツマシヒ二トメハムツカシイ又三ド目ハ又ムツマシイトヨム親ゴノ遣遙院ハムツカシイトヨムト也独一右近新参者故ハバカリエ返答セント云ドモ実ニ右近ハエ哥ヨマヌ故宇治十帖(デウ)ノ中ノウキ船ノ巻ニ右近ト云哥ヨム者アル夕顔ノ右近ハ哥エヨマヌト源被仰事アルトカク哥エヨマナシダ也此ラ二条院ヘ我マイル様ニ夕顔ヲ出アラバウレシカラント思モムネツブレル也耳一夕顔ノ宿デキヌタノ音耳ヤカマシカリシモ思ヒ出時節(ジセツ)秋故正ニ一是ハ文集ニ八月◇(抄ニ引)一ナントキヌタノ事作ル詩アル其事思召出サレ是ヲ吟也カノ一是カラ筆テンシテ夕顔ノ事ハシバラクヲキ空蟬ノ事也カノ一ハ伊予ノ守ガ家ノ也小君ハ源ノ空蟬ヘ通時召ツレラレシ空蟬ノ弟也シバラク打タヘ源ノ方カラ空蟬ヲトヅレナヒ也コトニハ各別也ウシト一空蟬ノ心也ワガツレナフスル故ソレヲツレナヒト思召シテ

「○ムツマシイハシタシヒ心也ムツカシイト面動ナ事也コンナコトハ志レンコレ故ト面動也心ハ同事也称名院殿三度コレヲヨムニ初二ハムツマシヒ二トメハムツカシヒ三度目ハ又ムツマシイトヨムト也親ノハヨミ様アシイ也トサレトモ遣遙院殿ノ云事アシイコトナシサレトモ本文ニ從ガ先常ナリ」

【八四オ】

ヲ笑止シナ事ト空蟬思也カク一ハ夕顔ヲン靈ニテ源ニモヲン靈ノザンアリ煩事前アル也サスカニ一ヲメニカ、ルマイト思ドモ源ノ事ワスレラレヌ行テモドルテニハ也遠一ハ伊予ノ守下テ空蟬ツレテユカント云カラ下ル也京ニ居テモヲメニカ、ラン心ナレドモサスカニ京ニアレバヲトヅレアル也ソレイクタビモ空蟬ノ心ハサスガ也オホシ一源ノモシ思召忘ル、カト思ハ久音ヅレナイ故也御病氣ノテイ承心ヲナヤマス也一ツ詞ニ非ズ承リテノ字入レテミル也詞(コトバ)ニ出テヨミマイハエ申サヌト也

「○問ハヌヲモ一前ノ詞書(コトバガキ)ニコトニイデ、ハエコソニツバクミル也御病氣ヲナント、問事セヌ也此方カラ問ヌヲナセニ問ヌゾトヲ尋ナヒ也ヲ尋ナク久ク月日ヘル故此方ハイカバカリカハ思ヒ乱ルト也益田一古イ哥ノ詞ヲ以テ云タ也拾遺ノ哥也一ネヌナハノ一ネヌナハハ

【八四ウ】

蓴菜(ジユンサイ)ノ事也蓴菜ハ長フツルノ様ニハヘル者故クルノ縁アル也クルシカルラン君トハ源ノ煩事也コ、ノ詞ニ似タ哥也クルシイ煩ト聞ガソレ承ル我ハ猶イケルカイナク苦ト也増田(マスダ)ノ地ト云アルソレヲマスニイ、カケルクルシミマスト承ケルマス田ノ池ソノ心ヲ用テマス田ト云古イ哥アルガマコトニ我身ノ上ヘト也メツラシキニ一久ブリニ空蟬ヨリフミクル

故也コレモハ夕顔事忘レズ是モ也イケル―我ゾマス田ノイケルカヒナキト云
 哥ノ詞ダイケルカヒナシト云ガソレハ我方カラ云詞也其方カラ云事ニ非ス也
 「○空蟬の―是モヤハリ面ハセミノモヌケノ心フクミテ也詞ハ衣(キヌ)ノ
 事フクミアレドモ全体ノ心ハセ間ハウイ者ト思フ命ハ定メラレヌ者ト思テヲ
 ルガ又―其方ノ尋テクレル詞ニカ、リ又イキソウ也是モ詞ニカ、ル詞也トカ
 クヨハウイ者ト思ガ其方ノ詞ニヨリサテハカナヒ命ゾト也御病後故テフルウ
 也乱―ハチラシ書ニスルテイ也猶―

【八五才】

五モジニ空蟬トアル故ノシガ裳(モ)置ヌケルソレヲ思召テ五モヂニ置(ヲ
 ク)ト思也ソレヲヲ笑止ニモヲカシウモ思也コノヲカシハ面白シウ也カ様―
 空蟬ノ心也カ様ニ哥ヲクリ御返答ミレドモカハスハ相互ニ通レトモ中々哥フ
 ミヲマヘノ様ニ指上ントハ思ハヌ也サスガニ―又サスガ也トカクヲメニカ、
 ルマイト思ドモ一向フ通ニハスマイト思也イカニモ云カイナフニミえ奉りて
 ソレ切ニ止ント思也カノ―ハ空蟬トゴヲ打テアル軒バノ萩也伊予ノ守カ女メ
 空蟬マ、ムスメ也蔵人―前ニ出。ダレトモシレズ軒ハノ萩ノムコ也アヤシヤ
 ―源ノヲ心ニ一ド逢萩故少将ノ方ヘイテモ少将ソレヲシルカシラバ笑止也又
 ―軒バノ萩ノ事モユカシウ思バ小君―我病氣ナレドモシニカヘリ生ハソノ方
 ニモ一ド逢ントテ生カヘルソレシルカト也
 ○「ほのかにも―ホノカニ一タビゴヲ打テアル夜逢テホノカニモ―猶

(○四十八丁ヲさすかにいふかひなからすはミえ奉りてヤミなんと思ふなり
 けりの詞備弁たらず猶諸抄考へ合すコト兼道云)

【八五ウ】

ト被仰也結トハ露ノ縁也露ハ結者故萩ニ露結ト也ソレデ心ハ一タビ契結ズハ
 也今カウシテ萩カコツケニシテ云テヤルモソウシタ事ナクバカウシタ通口モ
 ナルマイ也カゴトハカコツケ也露ノ―ハツユケノチツトバカリ也高―元ヨリ
 哥萩故萩ヲ別ノ心ニシテ萩ニ付テ遣サル也タカラカナルデ萩ハ高サ八尺モ九
 尺モアル者也其枝ニ付テ遣也高ラカナルト云ハオクニ少將其フミ見附テモ我
 ト知テモツミユルサントオクニアル故ハバカラズ高ヲギト云ソレニ非ズ是ハ
 物語也前ノブクイト黒ト同事也萩ノ哥故ニ萩ニ付也元ヨリコ、ニ忍デワタセ
 トアレバ忍バヌニ非也ソフ云ドモ小君取アヤマリ少将ミルトモ源トシラバサ
 リトモハソウアリトモ也ヲトコアル女ニトハ思ハソレトモ我―好色ノ我也
 ト云一説ト源ハ宮(ミヤ)故ト一説也アイナ―フソウ応ナ思召ヨリジャソウ
 ナヒハズト也少将ルスニモテ行ミセル也心―平生萩ヘハフ通口也元ヨリ一ド
 ノ契

【八六才】

デ絶テアル怨ミル心アル也カク―少シヲ怨メシフ思ドモカク思召出サンヲフ
 ミ下サルハウラメシケレドモ又フミ下サルハサスガ也早速ニ御返答云故哥ハ
 ヨウナイト云事也

○「ほのめかす―ホノメカスハ打カスメラレ軒(ノキ)ハノ萩ヲ結スハ―カ
 ケマシト被仰下ヲホノ／＼心ヲ尽シテモ也コチラデハ萩ニ風ガソヨ／＼吹ガ
 ホノメカス風ニツケテモ也キビシウ吹ズカル／＼吹ハ御返答ウス／＼アルニ
 付テモ也付テモト云字カラ也平生ヲ尋ナヒト思トモヲトヅレノ風ニ付半ハ―
 半分ハヲウラメシウモ思ヒ半分ハ辱(カタジケ)ナヒ也露ハ秋ノ末ナレバ元
 ヨリスル也ムスホ、レルモ露ノ縁デ云也下(シタ)萩ハタゞハ云ニクヒ也元
 ノキバノ萩ト云テアル故ヨム也惟今ハナンゾモノトラヘテマナケレバヨマレ

又也テハ―手ハヨフナヒ也ソレヲハルイヲマギラシテ書也ツクロフヲ作者シカル也シナナクハルイ也ナンノシナモナヒ也ホカガハ火(ヒ)カゲ也ゴ打時也

【八六ウ】

◇(コノ)ウチトケテ―ハ少将ノ事也少将夫婦ニナリ向テアレバエ―フビンニアランソウミエタヨウスデアツタト也抄ニハ向―荻ハソウナヒ也空蟬ハエウトミハツマジキサマ也ト云非也今少将ガ妻ニナリアルエウトミハツ(ハツ)マシキ(マシキ)ヨウスデアツタト云コト也ナニ―ナンノ思ヒナク用意ナクアルケシキモナクザハノトニギハシクシテアル也ニクカラズ思召サレバ初ノ少将ガ向ヒ居タラバエウトムマヒ也猶―夕顔ニヲコリモナサレズ也コリハヲ名出ソウナニモコリズニ也コリスマノマニ心ナヒ也コリズニ也惟ハ哥ニヨミニクイ也スマノ浦杯ニカケネバヨミニクイ也古イ哥也「コリスマニ―スマヘバト云詞コ、ヘ取タ者也カノ人ノ―是カラ夕顔へ立帰テ夕顔ノ法事也四十九丁ウ 三月朔會

△カノ人ノ―(一) 此前ニ空蟬軒ハノ荻ノ哥ヲ以文ヲテンシテソレカラ又夕顔へ立帰リカノ人ハ即夕顔也夕顔ノ七々日ノ法事ト云事也

【八七オ】

エイ山ノホケ堂ニテセウ略ナク式々ニ被仰奉也ヒエイ山ノ法ヶ堂ハ本尊薬師也先日モ云通十三佛ヲ以法事ノタビノニ當七(々)日ニ一佛百ヶ日ニ一佛ムカハリ三年十七年二十五年三十六年ト十三佛アテル也一不動二釈迦三文殊四普賢五地藏六弥勒七薬師也七々日ハ薬師ニ當ル是本尊薬師故エイ山ノ法華堂デ其法事被仰付也布施(フセ)料ニ女ノセウゾクヲ俣シテ遣サル也人ニ禁裏ヨリモノ被下事女ノセウ束◇(ソフナリ)僧デモ俗ニモ男子デモ女子デ

モソレ也是皆ヨイ也其次ハ卷キヌトテ卷モノ被下也ソレニモ段々不同アレドモ何分女ノセウ束ヨイ也卷キヌ腰ザシ杯ナニカク被下ヲコマカニ也経ヨマスフセニ被下也経仏―打シキ被下ノ佛ニ花手向香杯佛壇ノカザリ也ヲロカナラズハヲロソカナラズ也愚ニ非ス惟光―前ニ出エイ山ノ元ヨリ僧故別シテ出也ナクハフタツトモナクケツカウニ心入レシタ也御フミノ―源氏ノ学問ノ師匠ナリ

【八七ウ】

ムツマシウ源ノ思召也文章―モンゼウバカセトハ文章方ヘカ、ルヲモ役人也学文達シタ人ヲ云式部卿ノ被官紀傳道ノ髓一也文書儒書文章(ノ)書歴代ノ書ヲ以官ニ進也源ノ師匠也召シテト云テ句切也モンセウハカセ召シテ願文(クハンモン)作スト云様ナリソレニ非ス作ハ源作テミセ玉フ也ソノ人―タレトハナクテ哀―源ノフビンニ思人ノシナレタ事ヲハ也アミダ仏(ブツ)ナレドモアミダ仏(ホトケ)トヨム也ドノ佛デモ自(一)心開發(カイホツ)トテ自心ニ動シテ佛ニ引立モラウ也阿弥陀ハ自心ノ動ハイラズアミダノ號唱レハ撰取不捨(セツシユフシヤ)也浄土ヤ門徒ノ立也他力(タリキ)本願ト云門徒別シテコレ也文章ノナカノ文段(モンダン)事也タゞ―モンゼウハカセ見此通ニナサレモハヤ添削ニ及バヌト也侍―ハ侍ラズアルメリ也忍―文章博士ニ御落涙ミセマイトスレドモイミシウ―キツウ愁嘆スレバ是ハモンゼウノ心ニドウシタ人ゾ源ノコレ程御愁傷ナサル、ハ

〈○私考日文章博士(モンシヨウハカセ)ハ令外ノ官ナリ大学寮ノ被撰ノ官ニシテ神龜五年七月廿一日ニ始テ置ル是紀傳道ノ儒士ノ選ナリ管江ノ儒者日野南家ノ人兼任セラル、トイヘリ類聚国史三代実録ヲ引可考〉

【八八才】

世間ニ聞エ我ラモシルベキニソフナヒ也是程ニ源ヲナゲカシマス人ハドレ程ノ人ヅバカリハ程也スクセーハ過去ノ因縁ノカウ大ナ人ト云也忍一前ニサウゾクヨリ初テト云セウ束也夕顔ノ法事故内々忍デ拵サス女ノセウ束也テウゼサセハ調ハコシラヘル也ハカマハ女ノハカマ也

○「ナク／＼モ一ナク／＼我ユウ一ハハカマノヒホニ付ヲ下ヒホト云也我ユウト云ハ源今日書ニ非スユウト云ハ此哥書テハカマニユヒ付也ソレ故今日ユウ也イヅレノ一ユウト云トケルト云ヒボノエン也布セニ遣事也今日ヒボニ哥ヲユイ付ガ何レノ時ニ夕顔ニ逢ンゾ也一説ハ何レノヨニ解脱(ゲダツ)シテ亡者佛ニナランゾト云非也源ノ親ク思故對面センゾ也此程一七々日故ニ四十九日ハ生事定ラスト云極悪人極善人ハ死ト忽天上へ生ト云又極悪人ハ地極へ落中陰(チウイン)ナヒト云事也中道人ハ四十九日迄定ラスト也四十九日スギテシユラ・ガキ・畜生・人間ト生ル

(○日願文トハ四十九日ノ結願功德ノ願文也文章ハサタマラス本朝文粹ナトニモ見エタリ)

【八八ウ】

四十九日迄ハ生死定ラスト也イツレノ一カノ六道十界也ガキ畜生シユラ人間何レノ道ニ生ゾ也ネズムハケウヨマル、事也ジユズクリ経ヨム也必竟ネンジュ也頭中將一是デ法事スム也頭中將ハ葵ノ上ノアニゴ夕顔ノモトノナジミ玉カヅラト云子アル頭中將也頭中將ノ本妻ヨリヲドシヤル故夕顔五条へ忍アルヲ源ノツレカクレル也コチヨリミレバアノ人ツレアヒデ有タト思ヒアチニハソフ思又故フソウ応ナリ頭中將ミレバ胸フサガル也カノ一ハ夕顔ノウム也後ニハ玉カヅラノ内侍ト云也前ニアハレハカケヨナテシコノ花ト云哥アル故ナデ

シコト云也源ハヨクシル故ニ頭中將娘ハコレニアルトシラセタケレドモカゴトハカコツ也夕顔アリカ知ハトク知ラセクレデト云也打ハ助字也エ詞ニ出サヌ也カノ一五条ノ夕顔ノヤドリ也源ノ一夜ツレ出也ドコヘツレ行ゾニトハ何レノ方ニゴザルトアマル也其一イケルマ、ニエ尋アハヌ也右近一

【八九才】

右近ハモトヨリ音ヅレンハ其方ヲトモシテソナ処ヘイテト怨ミル故エ音ツレヌ故フシギナト云ヲル也タシカナラネド一アチノ女中ガ源ノツレ行バタシカニ源トハシラネドモイカ様源ナランカト内々女中方サ、メキハサ、ヤキ云ヲ源氏ノ君ナラント云ンテイヲル也元ヨリ惟光アン内シテ夕顔へ源引(ヒキ)付事故扱ハ源ノ君ナラントコニアルゾト問也イト一中々カケハナレシラント云ソウシタケ色ナヒ様ニシテミス猶マヘノ如ク夕顔ノ中ノ女中ニ好色シテ前ノ通カヨウ也イト、一惟光センギシテモシラント云故扱ハシランカスレバ源デモナヒカモシ一ジユ領也サヌキノカミ四年ツバイテ居ル今ノ国ノカミノ様ニ永代下ルニ非故カライ也ソレカツレテイニテ也頭中將ハ中將也撰家ノヲ子也御イセイ強故ソノマ、取カヘシテソノトガモシレン故ヤガテソノ俣(マ、)任国ノ親ノ下ル国ヘツレユクカ也イテハツレテ也此家一即夕顔ノメノト西京ニヲルト右近前云楊名ノ介ナル者也ソノメノトニ子三人アル一人ハ楊名ノ介ノ女房(ボ)

【八九ウ】

也一人ハ玉カヅラヘツレテ下リ一人ハ縁ニツキ一人ハ死トサキニアル也右近モ同◇(乳)兄弟ナレドモ西ノ京ノメノトノ同ジ娘ニ非カク別ノ人也アチハ三人右近ハ一人也同ジ乳兄弟ナレドモ右近ハ別人故夕顔ノミアリサマヲ心隔テ、ソレラニハキカセント怨ル也右近ハソフデナヒ也ハタハ助字也怨ミラル

ヲ思テ君―源也若君(ワカキミ)―隔句也右近ハタ―思ヒテ若君ノ―エキカ
ズ也右近モビンギシテコチラノヨウス云ヤレバナデシコノヨウス聞ドモ云サ
ハガルモツラシ源ノ実ニ思玉フコノニヲ相兼ル故ナデシコノ君ノ事モエキカ
又也若君ハナデシコ也女工ノ子デモ若君トモヒメ君キミトモドチラデモ大事
ナヒ也アサマシウ―アサマシウドウナランヤラ我身ノ上(ウヘ)源ノドウナ
サレ被下(被下)ヤシラン也源ハセメテタ顔ヲユメニモミタク思也此―此法
事シテ七々日ノ法事シテソノヨクバン也ホノカニゴランナサルユメニハ河原
院ニネル様也ソヒタリシハラン靈也ヲナジ様ハ河原院デミル様ニミル也アレ
タリシ―源ノ

【九〇オ】

思召ハ六条院ハアレタ処ニスム化生ノ者也コレハソコニスム者ニ非源ハ六条
院ニナル変化ノ者ト思召也我ニ―源ノ忍ヒアルキノヨハミニノツテミ入ル、
カト思召也ソノタヨリニタ顔ヲモカクノ如ニシナシタカ也ユ、シ―イマノ
シイ也伊予ノ助―空蟬ノヲトコ也カナン月必朔ニ非スハジメノ頃也サキニモ
見ユ九月ノ中トミユ朔ニ限ル事ニ非也女房―此タビ召ツレ下ト云故ニタムケ
ハハナムケ也念比ニシテ遣ス面立テ也ハナムケモタムケモ同事也今デモハナ
ムケト今人ニモノヤル事云ドモ旅立人送ルニハ馬ニノリ行馬ノハナヲ道祖神
ノ社ヘ引ムケ途中ノ難ナヒ様ニト云ヤル也ソレ故馬ノハナムケト云ソレ略シ
テハナムケト云也タムケハ道祖神ヘモノタムケルヲ云也ハナムケモタムケモ
同事也モノヤル事也又―表立テ伊予ノ守モトヘ其方女房ヘ遣下ルトテ其料下
サル内々又コマカハ御念比ニ也櫛ハ物ノト、コホリ解(トク)者故ニ也

(○私考曰クシハケツリクシ也スカシトヲスノ儀アレハ旅行スル人ニ玉ヘル
カアフキモ又アフヘキノ意ニヨセテヤリタマフナルヘシ事物紀原引「實録」曰

以レ木為レ之二十四齒取ニ跡通之義

【九〇ウ】

アフギハ重テ對面センノ心也又サハ道祖神ヲ祭ル為キ又歴々ナレバ錦(ニシ
キ)ヲコマカニ切又サ袋ニ入レヤルソレヲモライ道ノナンナヒ様ニト錦キ又
ヲ神前ニチラシテ行也カルイ者ハ紙ヲモ用也前ニハコ、元ノ春日祭ニサキヘ
籠(カゴ)シテナカニ五分四(コブヨ)方ノ紙切テ入レカゴノサキヲヒネレ
バカゴノ目カラ紙チル事アル是タムケ又サノ心ト見エル也カノ―モヌケ取テ
カヘル時打キノキ又今迄持テアレドモコノタビ遣ス也

○「逢マデノ―對面スル迄ノ形見トミシニツイニ對面セズモトスソレ故神ノ
クツル迄涙(ナミタ)カケアルゾト也コマヤカ―其外ヲクル文体コト外アレ
ドモゲウサンニ大分ノ事故事クドウアル故カ、又也此夕顔ノ巻ノ常例ト見ユ
前モ夕顔ノ宿ヘ惟光ノ通(カヨハ)ス処ニ◇(十五丁ヲ)此類ノ事クダノ
シケレバ例ノモラシツトアル此巻ノ例ノ略スル也下書文法見エル也御(ミ)
―表ムキノ伊予ノ介ヘ行使者ハ帰ル也小君―ナイセウデ

【九一オ】

方ノ小君シテ空蟬ノ方カラ内々デヲコス也
○「蟬ノ羽―セ・ミ・ハハ小ウチキノ事也前ニアル空蟬ノ哥ノ心也セミノ羽ノ
衣ハ夏ノ衣也五月六月ニキルウスモノ也セミノ羽ニ似タ者也是ハ九月下旬故
キカヘテアル也タツハ衣ノ縁也キ更ル事也カヘスモ衣ノ縁也ネモ蟬ノ縁カナ
シヒ事云也思ヘト―是カラ源ノヲ心也思ヘトハ思ヘドモ思ヘド扱々心強カツ
タ也コノ思下ハ心フカイ也ナンボモアル也伊物ニ思ヘドモ身ヲシワケネバ―
ト云是也玉カツラノ巻ニモ書出ニ思トモト書出是モ思トモノ―也心強カツタ
空蟬トクレノ―思ツバケルガ思ト也今日ハ立冬ノ日也伊予ノ方ヘ源ハナムケ

遣ス日也冬立ト哥イチジルイハヤ時雨(ル)ケ色也空―雨ナドフルテイ著
 (イチジル)シイ冬ノ景也終日モノ思シテソラ縁アル也
 ○「過にしも―過ニシハ夕顔ノ事也ケウ別ルハコ、デハ空蟬ノワカレト抄
 ニ見エレドモ兩説也空蟬ト見テハスミニクイ事アル是ハ秋ノ別レ也

【九一ウ】

ケウゾ冬タツ日ト云デ是別レ也夕顔ノ別レモ秋ノ別レモ也秋ノ暮デ見ヨケウ
 ハ冬立ト云詞アルニコ、ニ秋ノ暮ト云ハ九月ノツゴモリ位ノ立冬ト見ユケウ
 ハハナムケスレドモ空蟬ハ明朝ホカ立ヌ也前日ニハナムケ遣ス故空蟬ノ別
 (ワカ)レト云ニクイ也ヤハリ秋ノ別レ也猶―空蟬ヤ夕顔ノ如ク人シレヌ事
 ハハツキリト身ニシミ／＼トシラント也カヤウノ―是カラ跋也ソウタイ夕顔
 ノ巻ハ空蟬ノ巻ノウチ也前ニカクロヘ事ヲサヘ人ノモノイ、サカナサヨト箒
 木ノ巻ノ初ニアルソレハ序也是ハ跋也此跋デ箒木夕顔空蟬スム様也カ様ノ夕
 顔空蟬内々コマカナ事人アナガチニ源ノカクシ忍事モイトヲシク笑止ナレバ
 コンナ事モ書ズニヲツテ脇カラ誹(ヒ)バン也ナゼニ源ホメルバカリデナセ
 ヨイ様ナ事◇(バカリ)云ハ偽ノ様也ナセハルイ事モカ、ヌゾト云詞入レミ
 ル也ミン人―ミル人サヘソレヲ見ヲサヘマ帆ニ作モノ、様ニ見エル也ナゼニ
 帝后事トテホメ

【九二オ】

カチニ云ゾソレハ作者ノ様ニミエルト云ト也物シハアツタ也カミヲ指テ云也
 モノシタマフケレバナント云テナンコンナクダ／＼シヒ事モ書タ也此様ナサ
 ヰイナ空蟬夕顔ノ事モ書也書コトハカクガアマリ―ソノツミハサリガタイト
 也カ様ノクダ／＼ハ箒木ノサイ初カラミテハ跋也

【一】再聞録條々

○格子ハ井如レ此組テナカアク也ソレヲ紙ニテ張(ハル)也一枚物也下ヨリ
 アケレハアキ返ナク中ヘアゲル也半部ハ一枚ニ非ズ半分也コレハ板也組ニ非
 スツキアゲド也ソトヘアゲル也敬臺寺ノ方丈ニ格子アル也アゲ様アシイ也面
 向ノ正面ハ皆格子也横ニモアルコトハアル也先正面也
 ○薨ハ明テサヘ暖ヲヲ、ウトアルモノ故窓ノ蓋(フタ)也壁ニカ、ル者ニ非
 ズ―人働スル者也明テ陽キ日サストテ閉風入トテ閉テヨイ戸也物ヲ、ウ者
 也

○イトゲノ車今アリヤ曰アリ先年親王行啓初テ拝見ス中金屏風四季ノ極ザイ
 色ソトキヌ色原廿一寸程ニシテ是ヲ以葺(フク)也横ヘサガリ亀ノ甲ニ

【九二ウ】

結テ其ノサガリユツタリトスイトゲノ車ト云ハ必紫色唐糸五百斤「一斤百ノ
 六十目」モイラン直ニ拾貫目程入也此親王杯ハ今ノ天子様ナラン靈巖院様仙
 洞ノ時ヲ出アリ是ヲアルキゾシタ也間三四町程ツ、ク其間公家衆也皆七ヨリ
 出拜見スケツカウ至極也古ハ撰家清華モ家ニヨリ乗ル親王門跡モ人ニヨリ乗
 ル今ハ乗ル家筋モ造用入故ノラズ親王歟仙洞歟也仙洞様修学寺「ヲ女子ノヲ
 ル寺也」ヘヲ出ノ時ノミ也先年靈ケン院様関東ヨリユルシニテヲ出(イテ)
 也「ヒロウゲハ唐物地ニハヘル者也シユロノ毛ノ様也雨通サヌケツカウナ者
 也車其家々ノ法式ノ凶京ニテ見ル皆極サイ色也造用入故写サ、ル也
 ○三丁ヲ抄マカキスルヒダノ―タツキハ手斧(テウナ)也訓ハシラズ一禪哥
 林良村ニハ手をのトアルト覚ユ万葉ニハタツキトアリ
 ○十三丁ウ橘の寺の―万葉ノ哥ナラン橘寺ハ大和也寺ノ名也ウナヒハウナヒ
 ヲトメト云女ノコト也ハナリハシラズウナヒニ付タコトナラン
 ○十六丁ヲ小野宮右大臣好色事古今ニカ出名高事好色也
 ○十七ヲ除目ハ官下サルコト也ケ来ナヒニ名バカリヲ云故モラウ也カウシタ

ケ来年来切ツル丞ヤリ下サレド願ノ状也ソレヲ申(シ)文ト云我官ヲ望(ソム)ニ願ヲモ申文ト云
○十九丁昔ヨリ白キ衣一物ヲノヲ如何日モノヲナゼ白ヲ本体ニスルゾ也コノヲ名目如何日ナシ先カフルヲナリ

【九三才】

- 廿一ヲ朝モヨヒキ一朝モヘテヨイ木ト承ルト云コト也是ヨイト云コト也
- ウバソク ウトムトノ間ヲヨム梅馬ト同ジ
- 廿一ウウバソクガ行一下旬如何不聞事歟曰覺エズ万葉テイ也
- 梅有佳色ノ別ヨミ様如何日ホメレバヨイ也色ヲ云モ香ヲ云モクルシカラズ
- 廿七丁ウ頭貫首ハ藏人ノ頭也藏人ノ頭ハ滝口ヲ司配スル也
- 廿八丁ヲヲシハカリ給ふはノは如何日是ハ地也作者ガ云事也
- 内豎ハ職原抄ニアル也官ノ名也
- 卅ヲ抄ケサハ障ゲヲナスヲケサハラナストモ云也意ハシラズ
- 同ウ一吹タルハハ隔句也一吹タルハ夜中モ一ケンカシナリ
- 卅二ヲトバカリハ少シノマ前後モ弁ズナク也シバシト云ト同コト也
- 卅七ヲカ、リ給ふトハ今日モカ、ツタ事ナヒト云ア、先(マア)ソレデカ、ツタト少シクツログ事云也ソレ也
- 四十ヲウチカハシハ二人ネテハ一処ニアレハ互ニ打カハス也キラレハ先へキラレタ也今云キラレタニ非スソレデハ~~ハ~~(ソグ)也タゞキタ也

